

2026年度 学生募集要項

2026年度学生募集要項は、本学Webサイトでの公表となります。（冊子の配布は行っておりません。）
パソコンおよびスマートフォン・タブレットにてご覧ください。

名古屋芸術大学 Web サイト
www.nua.ac.jp



名古屋芸術大学 受験生サイト
www.nua.ac.jp/examinee/



芸術学部 芸術学科	音 楽 領 域
	舞台芸術領域
	美 術 領 域
	デザイン領域
	芸術教養領域
教 育 学 部	子 ども 学 科



名古屋芸術大学
NAGOYA UNIVERSITY OF THE ARTS

目次

建学の精神、目的、教育理念、目標	P2
アドミッション・ポリシー	P3
志願者・受験者の個人情報の取扱いについて	P4
障がいや疾病のある受験者への特別配慮	P4
入学試験の成績開示について	P4
学部学科一覧と募集定員	P5
入試日程・募集人員	P6
出願から入学手続まで	P7
STAGE 1 出願	P7
STAGE 2 受験の事前準備	P11
STAGE 3 受験当日の注意事項	P13
STAGE 4 合格発表	P15
STAGE 5 入学手続	P16
出願書類について	P19
外国人留学生の方へ	P20
入学試験概要	
総合型選抜	
【専願】体験授業型入学試験（エントリー制）	P23
【専願】自己PR型入学試験 ※学内併願可	P31
【専願】実技・プレゼン・小論文型入学試験	P33
【併願】実技・プレゼン・小論文型入学試験	P35
【併願】基礎学力検査型入学試験	P37
【併願】プロフェッショナルアーティスト入学試験 ※音楽領域のみ	P38
【併願】教育学部資格取得型特待入学試験 ※教育学部のみ	P39
【併願】エキスパート入学試験 ※芸術学部のみ	P40
【併願】オンライン入学試験 ※舞台芸術領域、芸術教養領域、教育学部のみ	P44
学校推薦型選抜	
【併願】一般推薦入学試験	P47
一般選抜	
【併願】一般入学試験	P51
【併願】大学入学共通テスト利用入学試験	P56
【併願】教育学部大学入学共通テスト利用型特待入学試験 ※教育学部のみ	P58
総合型選抜(特別枠)	
【併願】社会人&シニア入学試験	P60
【併願】海外帰国生徒入学試験	P63
【併願】外国人留学生入学試験	P66
【併願】〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験	P69
【併願】〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験	P72
【併願】〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験	P75
【専願】3年次編入学試験	P78
【専願】2年次編入学試験 ※教育学部のみ	P82
選抜方法詳細1 (音楽領域) ※総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入学試験)、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験・〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験・〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験・〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験	
	P84
選抜方法詳細2 (音楽領域) ※プロフェッショナルアーティスト入学試験・エキスパート入学試験	
	P97
選抜方法詳細3 (音楽領域) ※3年次編入学試験	
	P104
名古屋芸術大学 英語 資格・検定試験とCEFR対照表	
	P110
「プラスα加点」について	
	P111
採点基準・評価の観点等	
	P112
各種情報提供(過去問題、入試結果)	
	P114
問い合わせ先	
	P114

建学の精神

「し せ い ほ う し 至誠奉仕」

「誠実な心で、子どもを含む様々な人に接するとともに、自らの学問や技術を伸長させることで芸術や教養、教育・保育の力を養い、これをもって社会と文化に貢献する」

■大学の目的

本学は、教育基本法及び学校教育法の趣旨に則り、芸術に関する専門の学術技法及び人間発達に関する専門的知識を教授研究し、並びに広範な展望の下、歴史及び社会に位置づけるべき総合的教養を授け、もってわが国の芸術文化及び人間発達の創造発展に寄与しうる人材を養成することを目的とする。

■大学の教育理念と目標

本学は、知性と感性のバランスのとれた教育理念に基づき、分野横断的取組みによる新たな価値の創造を実現する。キャリア教育の取組みを強化し、自治体や企業との連携を進展させ、芸術による教育・研究を発展させ地域・社会に貢献する。

■各学部・部の目的

1. 芸術学部・部の目的

音楽領域、舞台芸術領域、美術領域、デザイン領域及び芸術教養領域における知識・能力を有する人材を養成するとともに、他者との協働に必要な言語力や論理的思考力、グローバル社会で必要とされる語学力等を有し、芸術を媒介としながら、主体的に社会へ参画していく能力を有する人材を養成する。

2. 教育学部・部の目的

保育・初等教育にかかわる理論ならびに技術の教授を通して、豊かな感性を備え、真に子どもの成長・発達を支えることのできる保育者・教育者を養成する。

■各学部・部の教育理念と目標

1. 芸術学部・部の教育理念と目標

芸術に関する専門の学術技法を教授し、歴史的・社会的視点にたった芸術教育を施すことにより、地域・社会に貢献しうる人格の形成を目標とする。

2. 教育学部・部の教育理念と目標

保育・教育の理論とスキルを学び、実習等の経験を積み上げ、芸術的感性を備え、教育・福祉の両面で、子どもの成長・発達を支える力を獲得し、地域に貢献できる保育士、幼稚園・小学校教諭を育てる。

アドミッション・ポリシー

芸術学部 芸術学科 アドミッション・ポリシー	
芸術に創造的な価値を見だし、自己の潜在能力を導きだし、それらを通じて社会に貢献することを志す人材を育成するため、学部が掲げる目的や教育理念と目標を理解し、かつ領域単位で掲げる以下の「求める学生像」が備わっている人材を求める。	
求める学生像	〔音楽領域〕 ・音楽への意欲と情熱、音楽の理論と実技・実践を学修する勤勉性と能力、芸術文化への幅広い視野と関心、音楽への発展を通じて文化的な社会を形成する視点を有していること。 〔舞台芸術領域〕 ・舞台芸術（音楽・演劇・舞踊）と社会におけるそれらの価値や役割に強い情熱と関心と学修意欲を持ち、豊かな創造力と想像力、コミュニケーション力を活かして、舞台芸術の発展と舞台芸術を通じた社会課題の解決に臨む意欲があること。 〔美術領域〕 ・美術に対する関心や探求心があり、制作や表現に対して創造的な価値を見だし、それらを通じて社会に貢献することを志す、幅広い視野と意欲が備わっていること。 〔デザイン領域〕 ・デザインに対する関心や探究心があり、モノづくりや思考を通じて、様々な問題を解決することで社会に貢献することを志す、幅広い視野と意欲が備わっていること。 〔芸術教養領域〕 ・芸術学部設置する各領域各分野をはじめ、現代の多様な文化や社会に関心があり、自らの発想と知恵、感覚をいかしつつ、地域と社会がかかえる課題を協働して解決していく意欲があること。
入学までに求める学習成果	・高等学校または中等教育学校の内容を幅広く学び得ており、かつ、専攻する分野については好奇心と意欲があること ・主体的に課題や目標に取り組む態度が備わっていること ・自分の意見や主張したい事柄を自己の表現で的確に表現できること
入学者選抜の基本方針	〔総合型選抜〕 ・芸術学部が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術や知識に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。また「エキスパート入学試験」では、芸術学部の各領域の教育を受けるために相応しい極めて卓越した知識や技能を身につけた優秀者を各領域・コース指定の課題を通じて総合的に評価します。 〔学校推薦型選抜〕 ・在卒学校の推薦に基づき、課題や作品および面接や書類審査等によって、基本となる学びに対する姿勢やその適性に関する評価を行います。 〔一般選抜〕 ・実技や作品、面接などを通じて総合的に評価を行います。また、学科試験を課すものについては、科目の学力を通じて各領域における学びの観点から総合的に評価を行います。 〔総合型選抜（特別枠）〕 ・芸術学部が求める学生像や学習成果に基づき、これまで経験した事柄や学習歴も含め、実技や作品、小論文などを通じて総合的に評価を行います。

教育学部 子ども学科 アドミッション・ポリシー	
高度な実践力を備えた保育士、幼稚園・小学校教諭、あるいは子どもたちとの様々な関わりを通して社会に貢献することを志す人材を育成するため、学部が掲げる目的や教育理念と目標を理解し、かつ以下の「求める学生像」が備わっている人材を求める。	
求める学生像	・子どもが好きであり、高い倫理観と豊かな人間性が備わっていること。 ・将来、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭などの保育・教育職、あるいは子どもたちに関わる各分野で活躍したいという意欲があること。 ・協調性を備え、高いコミュニケーション能力が身につけていること。 ・議論を通して学びを深めようとする好奇心や探求心があること。
入学までに求める学習成果	・高等学校または中等教育学校の内容を幅広く学び得ていること ・主体的に課題や目標に取り組む態度が備わっていること ・自分の意見や主張したい事柄を自分の言葉で論理的に表現できること ・探究的な学習やボランティアを通じて、子どもたちをはじめとする多様な人々とのコミュニケーションを経験していること
入学者選抜の基本方針	〔総合型選抜〕 ・教育学部が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。 〔学校推薦型選抜〕 ・在卒学校の推薦に基づき、面接や書類等によって、基本となる学びに対する姿勢やその適性に関する評価を行います。 〔一般選抜〕 ・教育学部が求める科目の学力について、個別筆記試験や全国一斉の共同試験、また英語については、指定の民間資格・検定結果などを活用して評価を行います。また「教育学部大学入学共通テスト利用型特待入試」では、教育学部の教育を受けるために相応しい極めて卓越した知識や技能を身につけた優秀者を主に大学入試共通テストの結果により総合的に評価します。 〔総合型選抜（特別枠）〕 ・教育学部が求める学生像や学習成果に基づき、これまで経験した事柄や学習歴も含め、面接や小論文を通じて総合的に評価を行います。

志願者・受験者の個人情報の取扱いについて

出願時に提供された志願者個人情報(氏名、住所等)は、本学における出願処理、出願内容確認等の場合の連絡、入学試験の実施、合格発表、合格された場合の入学手続関連書類の送付、合格者の入学後の教務・学生支援関連事務(学籍や健康管理、奨学金申請等)や授業料等に関する業務、および入学試験の改善や志望動向調査・研究を行うために利用いたします。

なお、出願内容について不備等があった場合、その確認や訂正・補完を速やかに行っていただく便宜から、志願者本人が本学を受験されること、および志願者自身の出願内容について不備等があったことを志願者の保護者等または志願者の出身(所属)学校に問い合わせる場合があります。

上記の業務は、その一部を名古屋芸術大学より当該業務の委託を受けた会社(以下、「受託会社」といいます。)において行うことがあります。業務委託にあたり、受託会社に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがありますので、予めご了承ください。

また、本学は、受験者の入試結果を出身(所属)学校長宛に通知します。(卒業見込者のみ)。

以上のことについて、本学への出願手続きを完了した時点で、志願者は上記事項を理解し、同意いただいたものとみなします。

障がいや疾病のある受験者への特別配慮

本学に入学を志願する者で、障がいや疾病を有する等、受験上および修学上、特別な配慮を必要とする場合は、必ず受験しようとする入試区分試験日の3週間前までに、申請書(任意の様式)および「医師の診断書」、「障がい者手帳」等のコピーを本学広報部学生募集チームまで提出してください。

なお、必要な場合には、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身(所属)学校関係者等との面談を行います。

[申請書(任意の様式)記載事項]

氏名、住所、電話番号、志望学部・学科(領域・コース)名、障がいや疾病の種類、受験および修学に特別な配慮を希望する内容、その他参考となる事項

入学試験の成績開示について

名古屋芸術大学では、入学試験受験者本人から請求があった場合に限り、本人が受験した入学試験の結果を開示します。開示を希望される場合は、郵送のみの受け付けとなりますので、以下の要領でお申し込みください。

1. 開示対象の試験区分と開示科目	総合型選抜基礎学力検査型入試、一般推薦入試:基礎学力検査の得点 一般入試:学科試験における科目別得点 大学入学共通テスト利用入試:換算後の科目別得点 「小論文」の得点(入試区分は問わない)
2. 開示申請期間	2026/4/6(月)～5/8(金) [最終日消印有効]
3. 開示方法	開示請求のあったものについて、一括処理後、郵送で出願時記載の住所に送付します。(2026年5月末予定)。転居等により出願時記載の住所と異なる場合は、現住所の住民票の写しを同封してください。
4. 申請者	受験者本人に限ります(代理人申請は不可)。本人確認のため、身分を証明する書類のコピー [*] を同封してください。 ※氏名と生年月日が表示されている書類(例:健康保険証、各種免許証、学生証など) ・提示していただいた個人情報は申請者の本人確認の目的にのみ使用します。
5. 申込方法	次の書類を任意の封筒に入れ、表面に「入学試験成績開示請求」と朱書きのうえ、「簡易書留」にて送付してください。 ●開示を希望する試験区分を明記した書類(任意様式) ●返信用封筒(長形3号 12cm×23.5cm) ※簡易書留料金含む郵便料金の切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を記入してください。 ●住民票の写し ※送付先が出願時記載の住所と異なる場合に必ず同封してください。
6. 書類の送付先・問い合わせ先	〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地 名古屋芸術大学広報部学生募集チーム TEL 0568-24-0318

学部学科一覧と募集定員

学部 学科	領域	コース		募集定員	
芸術学部 芸術学科 (485名)	音楽領域	ProA	プロフェッショナルアーティストコース	10名	140名
			声楽コース		
		Ⅰ類	鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)	20名	
			弦管打コース		
		Ⅱ類	ウインドアカデミーコース	20名	
			ポップス・ロック&パフォーマンスコース		
		Ⅲ類	ダンスパフォーマンスコース	30名	
			声優アクティングコース		
		Ⅳ類	サウンドメディア・コンポジションコース	60名	
			ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース		
	音楽ケアデザインコース				
	音楽総合コース				
	舞台芸術領域	入学時のコース選択はありません。 2年次に右記3コースからの選択制です。		舞台美術コース	50名
				演出空間コース	
				舞台プロデュースコース	
	美術領域	Ⅰ類	日本画コース	25名	100名
		Ⅱ類	洋画コース	25名	
			現代アートコース		
		Ⅲ類	コミュニケーションアートコース	25名	
			工芸コース		
		Ⅳ類	美術総合コース	25名	
	デザイン領域	ファンデーション 入学時のコース選択はありません。 2年次に右記9コースからの選択制です。 ※先端メディア表現コース、文芸・ライティング コースも選択可(ただし、定員に上限あり)	ヴィジュアルデザインコース	130名	170名
			イラストレーションコース		
			メディアコミュニケーションデザインコース		
			ライフスタイルデザインコース		
			スペースデザインコース		
インダストリアル&セラミックデザインコース					
カーデザインコース					
テキスタイルデザインコース					
工芸コース					
先端メディア表現コース		20名			
文芸・ライティングコース	20名				
芸術教養領域	リベラルアーツコース		25名		
教育学部 子ども学科 (100名)	入学時のコース選択はありません。 2年次に右記7コースからの選択制です。	子ども音楽コース	100名		
		子ども美術・造形コース			
		子どもICTコース			
		子ども英語コース			
		子ども健康・スポーツコース			
		子ども心理コース			
		子ども支援コース			

※芸術学部芸術学科音楽領域ミュージカルコースについては2026年度から募集を停止します。

入試日程・募集人員

試験区分		期	専願／併願可	科別枠	募集人員							スケジュール(期間:2025年9月～2026年3月)					
					芸術学部芸術学科(領域)					教育学部子ども学科	出願登録期間 【エントリー登録期間】 (開始日10:00～最終日17:00まで)	提出書類 郵送期限 (消印有効) ^{*7}	試験日	合格発表日 [出願許可通知日]	入学手続 締切日		
					音楽	舞台芸術	美術	デザイン	芸術教養								
総合型選抜	体験授業型入学試験	1期	—	共通	55	20	32	70	5	30	9月1日(月)～9月7日(日)	9月8日(月)	9月13日(土) ^{*8}	9月24日(水)	—		
	専願		9月26日(金)～10月9日(木)								10月10日(金)	学内選考のみ(来学不要)	11月1日(土)	12月18日(木)			
	専願 ^{*1}		9月26日(金)～10月9日(木)								10月10日(金)	10月18日(土)	11月1日(土)	12月18日(木)			
	専願																
	併願可																
	【併願】実技・プレゼン・小論文型入学試験	併願可															
	基礎学力検査型入学試験	併願可	2期	専願 ^{*1}	共通	11月17日(月)～12月4日(木)	12月5日(金)	12月13日(土)	12月18日(木)	1月21日(水)							
	自己PR型入学試験	専願															
	【専願】実技・プレゼン・小論文型入学試験	併願可															
	【併願】実技・プレゼン・小論文型入学試験	併願可															
	自己PR型入学試験	専願 ^{*1}		3期							専願	共通	各領域 若干名	若干名	1月6日(火)～1月27日(火)	1月28日(水)	2月7日(土)
	【専願】実技・プレゼン・小論文型入学試験	専願															
	自己PR型入学試験	専願 ^{*1}	4期	専願	共通	各領域 若干名	若干名	2月25日(水)～3月16日(月) ^{*9}	3月16日(月) ^{*10}	3月17日(火)	3月19日(木)	3月25日(水)					
	【専願】実技・プレゼン・小論文型入学試験	専願															
	プロフェッショナルアーティスト入学試験 ^{*4}	1期	併願可	共通	10	—	—	9月26日(金)～10月9日(木)	10月10日(金)	10月18日(土)	11月1日(土)	12月18日(木)					
		2期						11月17日(月)～12月4日(木)	12月5日(金)	12月13日(土)	12月18日(木)	1月21日(水)					
		3期						1月6日(火)～1月27日(火)	1月28日(水)	2月7日(土)	2月13日(金)	2月26日(木)					
	教育学部資格取得型特待入学試験	1期	併願可	共通	—	—	若干名	9月26日(金)～10月9日(木)	10月10日(金)	10月18日(土)	11月1日(土)	12月18日(木)					
		2期						11月17日(月)～12月4日(木)	12月5日(金)	12月13日(土)	12月18日(木)	1月21日(水)					
	3期	1月6日(火)～1月27日(火)						1月28日(水)	2月7日(土)	2月13日(金)	2月26日(木)						
芸術学部 エキスパート入学試験	—	併願可	共通	各領域 若干名					—	1月6日(火)～1月27日(火)	1月28日(水)	2月3日(火)	2月13日(金)	2月26日(木)			
オンライン入学試験 ^{*2}	1期	併願可	共通	—	若干名	—	若干名	若干名	11月17日(月)～12月4日(木)	12月5日(金)	12月13日(土)	12月18日(木)	1月21日(水)				
	2期								2月25日(水)～3月16日(月) ^{*9}	3月16日(月) ^{*10}	3月17日(火)	3月19日(木)	3月25日(水)				
学校推薦型選抜	一般推薦入学試験	—	併願可	普通科以外	12	2	8	8	2	5	11月1日(土)～11月10日(月)	11月11日(火)	11月15日(土)	12月2日(火)	12月18日(木)		
	指定校推薦入学試験 ^{*3}		専願	共通	16	4	12	19	3	20							
一般選抜	一般入学試験	1期	併願可	共通	29	15	20	45	8	25	1月6日(火)～1月27日(火)	1月28日(水)	2月3日(火)	2月13日(金)	2月26日(木)		
		2期			若干名	3	8	2	2	6	2月10日(火)～2月24日(火)	2月25日(水)	3月3日(火)	3月10日(火)	3月18日(水)		
	大学入学共通テスト利用入学試験	1期	併願可	共通	6	4	12	18	3	6	1月6日(火)～1月27日(火)	1月28日(水)	個別の 学力検査の 実施なし (来学不要)	2月13日(金)	2月26日(木)		
		2期			各領域 若干名					3	2月10日(火)～2月24日(火)	2月25日(水)		3月10日(火)	3月18日(水)		
		3期			各領域 若干名					若干名	2月25日(水)～3月16日(月) ^{*9}	3月16日(月) ^{*10}		3月19日(木)	3月25日(水)		
	教育学部 大学入学共通テスト利用型特待入試	—	併願可	共通	—					若干名	1月6日(火)～1月27日(火)	1月28日(水)	2月13日(金)	2月26日(木)			
総合型選抜(特別枠)	社会人&シニア入学試験	1期	併願可	共通	各領域 若干名					若干名	10月14日(火)～10月23日(木)	10月24日(金)	11月15日(土)	12月2日(火)	12月18日(木)		
	海外帰国生徒入学試験																
	外国人留学生入学試験																
	社会人&シニア入学試験																
	海外帰国生徒入学試験	2期	併願可	共通	各領域 若干名					若干名	1月6日(火)～1月15日(木)	1月16日(金)	2月7日(土)	2月13日(金)	2月26日(木)		
	外国人留学生入学試験																
	社会人&シニア入学試験(オンライン方式)	1期									併願可	共通	11月17日(月)～11月27日(木)	11月28日(金)	12月9日(火)～11日(木) ^{*11}	12月18日(木)	1月21日(水)
	海外帰国生徒入学試験(オンライン方式)																
	外国人留学生入学試験(オンライン方式)	2期	併願可	共通	2月10日(火)～2月19日(木)	2月20日(金)	3月3日(火)	3月10日(火)	3月18日(水)								
	社会人&シニア入学試験(オンライン方式)																
	海外帰国生徒入学試験(オンライン方式)																
	外国人留学生入学試験(オンライン方式)																
現地選抜型外国人特別入学試験(JPUe) ^{*5}	—	専願	共通	各領域 若干名					若干名	10月14日(火)～10月23日(木)	10月24日(金)	11月15日(土)	12月2日(火)	12月18日(木)			
3年次編入学試験	1期	専願	共通	15	若干名	10	10	若干名	4	10月14日(火)～10月23日(木)	10月24日(金)	11月15日(土)	12月2日(火)	12月18日(木)			
	2期									1月6日(火)～1月15日(木)	1月16日(金)	2月7日(土)	2月13日(金)	2月26日(木)			
	3期									2月25日(水)～3月9日(月)	3月10日(火)	3月17日(火)	3月19日(木)	3月25日(水)			
2年次編入学試験 ^{*6}	1期	専願	共通	—	—	—	—	—	4	10月14日(火)～10月23日(木)	10月24日(金)	11月15日(土)	12月2日(火)	12月18日(木)			
	2期									1月6日(火)～1月15日(木)	1月16日(金)	2月7日(土)	2月13日(金)	2月26日(木)			
	3期									2月25日(水)～3月9日(月)	3月10日(火)	3月17日(火)	3月19日(木)	3月25日(水)			

※1 学科・領域の併願可能な方式です。(例:美術領域と芸術教養領域と教育学部に同時出願等)

※2 **【芸術学部芸術学科 舞台芸術領域、芸術教養領域】**および**【教育学部 子ども学科】**のみ対象となります。

※3 学校推薦型選抜「指定校推薦入試」は本学が指定校対象としております学校長に推薦を依頼し、学校長より推薦された者が受験できます。詳細は、毎年7月に当該高等学校宛に案内を送付しますので、そちらでご確認ください。

※4 総合型選抜「プロフェッショナルアーティスト入試」は音楽領域プロフェッショナルアーティストコースを受験するための唯一の入試です。

※5 総合型選抜(特別枠)「現地選抜型外国人特別入試」は日本大学連合学力試験(JPUe)を通じて本学を受験する入試です。選考方法等の詳細は、本学Webサイトでご確認ください。

※6 **【教育学部 子ども学科】**のみ対象となります。

※7 日本国外からの郵送の場合は、郵送と併せてすべての提出書類の写し(PDFまたは画像データ)を提出書類郵送期限までにメールで提出してください。

※8 体験授業の予備日として、9月14日(日)を予定しています。

※9 **最終日の出願登録は12時までとなります。**

※10 **郵送必着(当日13時まで持込可)**

※11 総合型選抜(特別枠)のオンライン方式1期は、表記期間中のうち、いずれか1日を選択し、17時～20時の間で受験希望時間帯を指定。

出願から入学手続まで

STAGE 1 出願 (インターネットによる出願のみとなります。)

本学のインターネット出願は、出願期間内に本学出願サイトで上で出願登録を行い、**ダウンロードし印刷した「提出用書類」**(出願確認票・送付ラベル)とともに**志願先に応じた出願書類等**を郵送する出願方法です。



インターネット出願を始める前に

利用環境の確認



推奨環境

〈Windows10、Windows11〉 ● Microsoft Edge 135.0 以降
● Google Chrome 135.0 以降

〈Mac〉 ● macOS 18.4 Safari 18.4 以降

〈スマートフォン・タブレット〉 ● iOS 18.4 Safari 18.4 以降

● Android 15 Google Chrome 135.0 以降

※パソコン環境のご利用を推奨しています。スマートフォン、タブレットはご利用できますが、PDFファイルの印刷環境を準備してください。携帯電話からはご利用できません。

※ポップアップブロックを無効に設定してください。

推奨Webブラウザ以外のブラウザをご使用の場合、正常に動作しないことがあります。

本サイトのインターネット出願ではcookie(クッキー)およびJavaScriptを使用しています。

ご使用のブラウザの設定画面にて、cookieおよびJavaScriptを「有効にする」に設定してください。

Androidスマートフォン・タブレットをご使用の場合は、ご使用機種の標準ブラウザでは出願書類(PDF)がダウンロードできない場合があります。Androidスマートフォン・タブレットのブラウザはChromeをご使用ください。



PDF

学生募集要項、「出願書類(本学所定様式)」、出願登録後の「**提出用書類**」・「**受験票**」はPDFまたはGoogleDocsで表示されます。

※PDFで文書をご覧いただく場合は、アドビシステムズ社のAdobe AcrobatReaderが必要です(無償)。

ご利用のパソコンにAdobe AcrobatReaderがインストールされていない場合は、最新版をインストールしてください。

※スマートフォン、タブレットでご覧いただいている場合は、GoogleDocsでの表示を推奨しています。

(閲覧に際し、アプリのダウンロードなどは必要ありません)



プリンタ

出願登録後の「**提出用書類**」・「**受験票**」を印刷するためにプリンタが必要です。

ご使用のパソコンにプリンタが接続されていることを確認してください。

必ず**A4用紙に印刷**してください。

※プリンタをご使用できない環境の場合、「**提出用書類**」・「**受験票**」はPDF形式で表示されますので、PDFファイルを保存し、保存したファイルを別途印刷してください。



メールアドレス

志願者情報登録時にメールアドレスの入力が必須となります。入学時まで大切なお知らせメールをお送りします。

※メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。

(**@nua.ac.jp**) および (**@sak-sak.net**) を受信可能なドメインとして設定してください。

※登録したメールアドレスは、原則、変更できませんので、出願から入学手続および入学するまで受信可能なものを使用してください。



顔写真

インターネット出願登録時に、顔写真をアップロードする必要がありますので、事前に顔写真データ(JPEG形式)をご用意ください。

- ・本人のみが写っていること
- ・3か月以内に撮影されていること
- ・上半身、無帽、正面向きであること
- ・本人の顔がはっきり確認できること
- ・人物の背景は何も写っておらず、白または薄い色であること
- ・カラー写真であること



個人情報の取り扱いについて

インターネットでの出願登録の際に、志願者情報として氏名・住所・生年月日などの個人情報を収集します。個人情報の取り扱いについて同意のうえ出願をはじめてください。

〈個人情報の利用目的〉

ご利用者の個人情報の取扱いについては「[志願者・受験者の個人情報の取扱いについて](#)」をご覧ください。

インターネット出願方法

インターネット出願を行う場合は、Step1・Step2・Step3 の手順で申込みを行ってください。検定料のお支払いについては、現金でお支払いの場合とクレジットカードでお支払いの場合で、手順が異なりますのでご注意ください。

Step1 インターネット出願登録

1 インターネット出願サイトにアクセス

本学Webサイトからアクセスしてください。

(URL)<https://sak-sak.net/app/nua/>

〈出願サイト〉



2 試験情報の登録

出願を希望する試験を登録します。

登録したメールアドレス宛に届く確認用メールを必ず確認してください。
(入学までの登録メールアドレスは使用します。)

3 志願者情報の登録

氏名・住所・電話番号等を登録します。※顔写真データのアップロードが必要です。(JPEGデータを事前にご用意ください。)

●ユーザID (半角英数字8文字以上。入力したメールアドレスをIDとすることもできます。)

●パスワード (半角英数字併せて8文字以上。)

※ユーザID・パスワードは「出願状況確認」「受験票ダウンロード」等で必要となりますので忘れないように各自で管理してください。

4 提出用書類の印刷

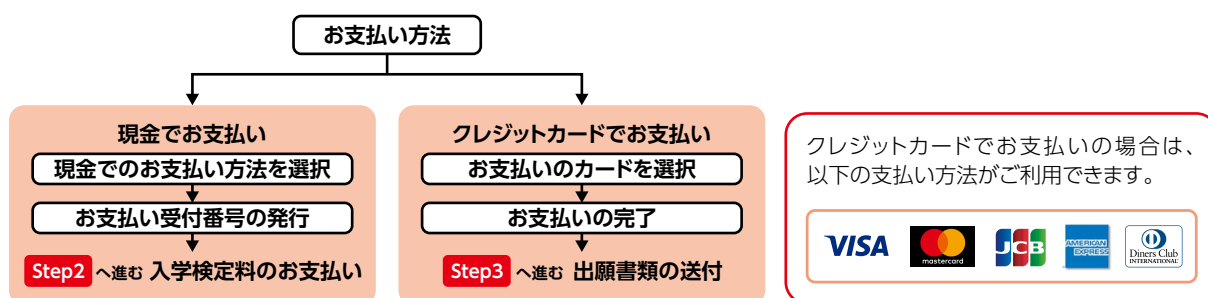
提出用書類(出願確認票・送付ラベル)を印刷します。

5 入学検定料お支払い方法の選択

現金支払い(コンビニ、ATM決済(ペイジー)、ネットバンキング)またはクレジットカード支払いを選択します。

※現金でお支払いの場合は、インターネット出願登録後にお支払いを行い、領収書をお受け取りください。(Step2へ)

クレジットカードでお支払いの場合は、お支払い完了画面が表示された後、出願書類の送付を行ってください。(Step3へ)



Step2 入学検定料のお支払い(現金でお支払いの場合)

コンビニエンスストア ※コンビニエンスストアをご利用の場合は、30万円を超えるお支払いはできません。

LAWSON



あなただけのコンビニ

FamilyMart



領収書

ATM決済(ペイジー)



ゆうちょ銀行



ネットバンキング



PayPay 銀行

Rakuten 楽天銀行

明細票

サポートページ

https://www.veritrans.co.jp/user_support/

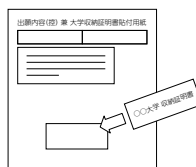


ご利用になられるお支払い方法の手順で、入学検定料のお支払いを行い、領収書(明細票)をお受け取りください。
領収書(明細票)のコピーは提出用書類に貼り付ける必要があります。

Step3 出願書類の送付(出願登録後に印刷した「送付ラベル」を使用し、角2サイズ以上の封筒で郵送)

1 領収書(明細票)のコピーを提出用書類に貼り付ける

現金でお支払いの場合は、検定料のお支払い時(Step2)に受け取られた領収書(明細票)のコピーを提出用書類(Step1)に貼り付けてください。



※クレジットカードまたは、セブンイレブンおよびデイリーヤマザキでお支払いの場合は領収書(明細票)のコピーは不要です。

2 提出用書類、調査書等の出願書類を郵送する

※出願書類については、各試験区分の要項でご確認ください。

入学検定料

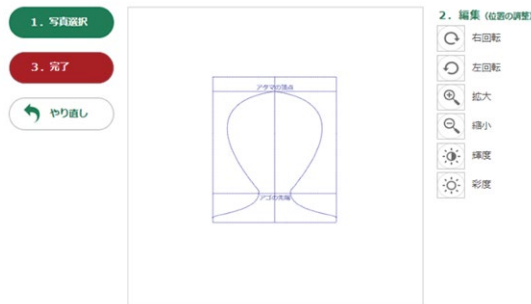
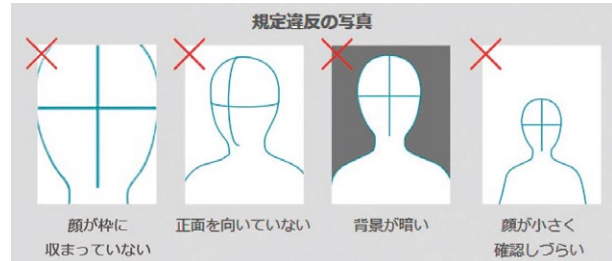
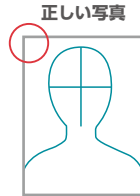
全入学試験(大学入学共通テスト利用入学試験を除く)	1 出願につき、15,000円
大学入学共通テスト利用入学試験	1 出願につき、3,000円

支払方法はクレジット決済またはコンビニエンスストア、ペイジー(銀行ATM)での支払いとなり、事務手数料として1出願あたり別途517円(1出願で入学検定料合計金額が30,000円を超えると1,122円)がかかります。

顔写真データのアップロード

インターネット出願登録時に、顔写真をアップロードする必要がありますので、事前に顔写真データ(JPEG形式)をご用意ください。

- ・本人のみが写っていること
- ・3か月以内に撮影されていること
- ・上半身、無帽、正面向きであること
- ・本人の顔がはっきり確認できること
- ・人物の背景は何も写っておらず、白または薄い色であること
- ・カラー写真であること



次の1～3の手順で顔写真データのアップロードを行ってください。

1. 写真選択
写真データ(JPEG形式)を選択してください。
2. 編集(位置の調整)
上記規定のとおりレイアウト枠内(アタマの頂点とアゴの先端)に収まるように、左右回転/拡大縮小/輝度/彩度を調整してください。
3. 完了
調整が完了したら、「3.完了」ボタンをクリックしてください。

出願時の注意事項

1. インターネット出願登録後、入学検定料を支払い、出願書類を郵送することで出願が完了します。これらのすべてを期限までに行ってください。
2. 入力を間違えた場合、また入金がない場合は、無効になるため、再度出願してください。また、パソコンやインターネットの状態によりエラーになった際は、正しく出願登録が完了しているか、入学検定料支払いでクレジット決済を選択した場合は支払いが完了しているかの確認を必ず行ってください。
3. スマートフォン等からの出願登録については、一般的な機種では動作を確認していますが、一部の機種では正常に登録できない可能性がありますので、できるだけパソコンを利用して推奨環境で出願してください。
4. 登録したメールアドレスは、登録完了、入金完了の確認、受験票PDF取得通知等のメール送信のために使用します。
出願時に「メールアドレスの送信確認」を必ず実行し、本学からのメールが確実に受信できることを確認のうえ登録を行ってください。
ドメイン: (@sak-sak.net) および (@nua.ac.jp)からの受信許可設定を行ってください。
なお、メールが届かない場合は、本学広報部学生募集チーム[TEL:0568-24-0318]まで電話でご連絡ください。
5. 入学検定料の支払い後は、出願登録内容(試験日程や志望学科領域コース等)の変更は一切認めません。
6. 納付された入学検定料および受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
7. いかなる場合も本学から領収書の再発行はしませんので、領収書は大切に保管してください。
8. 出願書類に不備・不足がある場合は、出願受理ができない場合があります。
9. 顔写真が規定違反であった場合は、再提出をお願いすることがあります。
10. 出願書類に虚偽の記載があること、受験時に不正行為を行ったことが判明した場合には、合格または入学を取り消します。
11. 外国の教育制度に基づく教育施設を修了(修了見込)の者で、教育を受けた国・地域の教育制度において大学に進学するために通常必要な大学入学試験・統一試験を受験した者は、その成績評価証明書も提出してください。その際、日本語・英語以外で記載されている場合は、日本語の訳文を添付し、翻訳証明を提出してください。

インターネット出願 Q&A

1. 利用環境について

スマートフォン、携帯電話、タブレット端末から出願できますか？

パソコン環境のご利用を推奨しています。

スマートフォン、タブレットはご利用できますが、PDF ファイルの印刷環境を準備してください。携帯電話からはご利用できません。

ダウンロードした様式がうまく表示されません。

PDFはAdobe Acrobat ReaderまたはGoogle Docsで表示してください。

(パソコンではAdobe Acrobat Readerでの表示を推奨しています。)

ボタンをクリックしても反応しません。または、次の画面で正しい内容が表示されません。

*cookie(クッキー)の設定が有効になっていますか？

cookieを使用しているため、必ずブラウザの設定を「cookieを受け取る(有効にする)」にしてください。

*JavaScriptが有効になっていますか？

JavaScriptを使用しているため、必ずJavaScriptを有効にしてください。

メールアドレスはスマートフォンや携帯電話のものをえますか？

スマートフォンや携帯電話のメールアドレスもご利用いただけます。

ただし、メール受信設定でドメイン設定を行っている場合は、メールが届かないことがありますので、ドメイン(@sak-sak.net) および(@nua.ac.jp)を受信する設定にしてください。

メールアドレスを持っていません。

出願登録時にメールアドレスの入力が必須となりますので、使用可能なメールアドレスをご準備ください。

メールアドレスは登録完了、入金完了の確認メールおよび、受験票PDF取得通知のメールを送信するために使用します。

また、IDやパスワードを忘れた際に志願者情報を入力することで、登録されたメールアドレスに現在登録されているIDまたは自動設定された新しいパスワードが送信されます。

自宅にプリンタがありません。

自宅にプリンタがない場合は、記憶媒体(USBメモリなど)に保存してコンビニエンスストア等で印刷をしてください。

2. Web出願について

途中でブラウザを閉じてしまいました。

セキュリティ対策として、入力途中の状態をブラウザ上に保持しておりません。初めから出願登録をやり直してください。

「ご指定のページが見つかりません。」と表示されます。

セキュリティ対策として、一定時間操作を行わなかった場合、ブラウザの「戻る」「進む」ボタンをクリックした場合、出願登録画面を2画面以上開いた場合等に表示されることがあります。初めから出願登録をやり直してください。

氏名、住所に正しい漢字が登録できません。

旧字やJIS第2水準外の文字等で正しく変換できなかったり、入力エラーになる場合は代替文字(全角)を入力してください。

例) 高→高、崎→崎、Ⅲ(ローマ数字)→3

提出用書類を印刷し忘れしました。

再印刷画面より出願受付番号とパスワードを入力していただければ、再印刷が可能です。

出願登録後に登録内容を変更することはできますか？

*最終確認画面で「申込」をクリックする前の場合

入力した情報を変更することができますので、「戻る」ボタンで画面を戻って変更してください。

*完了画面まで進んでいる場合

【コンビニエンスストア、ペイジー決済の場合】

入学検定料の決済が完了していない場合は、再度出願登録からやり直してください。

入学検定料の決済が完了している場合は変更できません。

【クレジットカード、ネットバンキング決済の場合】

入学検定料の決済が完了していますので変更できません。

申込をキャンセルしたいのですが。

入学検定料の決済前であれば、そのまま決済しなければ、出願期間を過ぎると自動的にキャンセルとなります。

入学検定料の決済後の場合は、キャンセルすることはできません。

個人情報を誤って登録してしまいました。

【入学検定料支払い前の場合】

現在の登録はそのままにして、再度出願登録からやり直してください。

【入学検定料支払い後の場合】

印刷した出願確認票の訂正箇所にも二重線を引き、空いているスペースに正しい内容を赤ペンで記入してください。

入試種別、志望学部の変更・取消はできませんので、ご注意ください。

STAGE 2 受験の事前準備

受験票 ※本学からの受験票送付はありません。

受験票には、「受験番号」「試験日」「試験場」「集合場所」「集合時間」等が記載されます。

受験票 (PDF) は出願サイトからダウンロードできます。試験当日必ず持参してください。なお、受験票を持参しない場合は受験できない場合があります。また受験票を紛失または忘れた場合は、試験場にて係員に申し出てください。

※大学入学共通テスト利用入試および教育学部大学入学共通テスト利用型特別特待入試は本学独自の試験は実施しませんので受験票のダウンロードはできません。受験番号は、「受験番号照会サービス」項目で確認してください。

受験票ダウンロード

出願書類を本学で確認後に、受験番号付番を行います。その後、受験票取得(確認)期間に受験票PDFをダウンロードしていただきます。

【本学からの受験票の送付はありません。】

インターネット出願登録時に登録するユーザIDとパスワードを忘れないようにしてください。

受験票取得(確認)期間※1

試験区分	期	受験票取得可能日 (10:00~)
総合型選抜	体験授業型入試(エントリー)	-
	体験授業型入試(出願時)	1期 2025/10/15 (水)
	自己PR型入試	1期 2025/10/15 (水)
	実技・プレゼン・小論文型入試 (併願は1~2期のみ)	2期 2025/12/10 (水)
		3期 2026/2/4 (水)
	基礎学力検査型入試(1期のみ)	4期 2026/3/16 (月)※2
	プロフェッショナルアーティスト入試	1期 2025/10/15 (水)
	教育学部資格取得型特待入試	2期 2025/12/10 (水)
		3期 2026/2/4 (水)
	エキスパート入試	2026/1/30 (金)
学校推薦型 選抜	一般推薦入試	2025/11/12 (水)
	指定校推薦入試	
一般選抜	一般入試	1期 2026/1/30 (金)
		2期 2026/2/27 (金)
	大学入学共通テスト利用入試	1期
		2期
	教育学部大学入学共通テスト利用型特待入試	3期

試験区分	期	受験票取得可能日 (10:00~)
総合型選抜 (特別枠)	社会人&シニア入試 海外帰国生徒入試 外国人留学生入試	1期 2025/11/12 (水)
		2期 2026/2/4 (水)
	〈オンライン方式〉 社会人&シニア入試 海外帰国生徒入試 外国人留学生入試	1期 2025/12/5 (金)
		2期 2026/2/27 (金)
	3年次編入学試験 2年次編入学試験	1期 2025/11/12 (水)
		2期 2026/2/4 (水)
		3期 2026/3/13 (金)
	現地選抜型 外国人特別入試 (JPUE)	1期 2025/11/12 (水)

※1 受験票取得可能日から入学手続締切日までダウンロードが可能です。

※2 「総合型選抜4期」「総合型選抜オンライン入試2期」は、受験票取得日の **16:00からダウンロードが可能です。**

集合時間、集合場所は受験票にも記載されますが、2026年3月13日(金)までに本学Webサイトで告知いたします。

※3 **「大学入学共通テスト利用入試」「教育学部大学入学共通テスト利用型特待入試」は受験票はありません。**

「インターネット等による受験番号照会」の案内に従い、必ず確認してください。

1 出願サイトにアクセス

受験票PDFダウンロード通知メールを受け取ったら、出願サイトのトップ画面右下にある「**ユーザ登録済の受験者用**」欄に、出願登録時に登録した「**ユーザID**」と「**パスワード**」を入力し、「**出願状況確認**」ボタンをクリックしてログインしてください。

クリック

2 受験番号を確認

出願登録した日時を確認し、出願受付番号欄に記載されている、「**出願受付番号**」をクリックして出願状況詳細を表示し、受験番号欄に記載されている受験番号を確認してください。

確認する出願状況を選択します。該当する出願受付番号をクリックしてください。

出願日時	出願受付番号
2017/07/02 18:20:36	1009000016

クリック

3 受験票を印刷

出願状況詳細に表示されている受験番号欄の右側にある「**印刷**」ボタンをクリックし、受験票PDFをダウンロードします。

ダウンロードした受験票PDFは、必ず印刷し、**試験当日に持参**してください。

※正しく印刷されない場合

推奨環境以外で印刷を行うと、正しく表示がされない場合がございますので、推奨環境の設定をお願いいたします。

※ユーザID、パスワードを忘れた場合

利用案内画面の「ユーザIDを忘れた方はこちら」、「パスワードを忘れた方はこちら」を参照してください。

クリック

受験番号を確認

受験番号照会〔大学入学共通テスト利用入試および教育学部大学入学共通テスト利用型特待入試受験者用〕

受験番号照会サービスの利用期間

各期受験番号照会サービス開始日の午前10時から入学手続期限日まで

1

パソコン・スマートフォン・タブレットで受験番号照会ページにアクセス（※本学Webサイトからもアクセスできます。）

<https://sak-sak.net/app/ref/nua/>



（スマートフォン用）

2

大学入学共通テスト成績請求番号と生年月日の入力

大学入学共通テスト成績請求番号と生年月日を入力し、「受験番号確認」ボタンをクリックしてください。

3

受験番号の確認

試験区分		期	照会サービス開始日 (10:00～)
一般選抜	大学入学共通テスト 利用入試	1期	2026/2/4 (水)
		2期	2026/2/27 (金)
		3期	2026/3/17 (火)
	教育学部 大学入学共通テスト 利用型特待入試	—	2026/2/4 (水)

受験当日の持ち物

●受験票

折り曲げて差し支えありませんが、濡れたり（雨天時等）破損したりしないよう心掛けてください。

●筆記用具

HBの黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック消しゴム

※特別に指定していない限り、下敷き、辞書、電子機器類の使用は認めません。

●時計

計時以外の機能が付いたものの使用は認めません（スマートウォッチ、ウェアラブル端末や辞書、電卓の機能が付いているもの）。

また、スマートフォン（携帯電話）や目覚まし時計、キッチンタイマー等を時計として使用することはできません。

●昼食

必要に応じて受験票に昼食持参の指示を記載しますので、必ず確認してください。なお、試験当日は試験場の食堂は営業していません。ゴミは必ず持ち帰ってください。

●楽器や作品、課題等、入学試験当日に必要なもの。または持参の指示があったもの

各学科領域コースにおける選抜に必要なものや持参の指示があったものについては、受験する入試区分の選抜方法を各自確認のうえ忘れないよう持参してください。

※筆記用具や時計の貸し出しは行いません。また、耳栓は試験監督者の指示が聞き取れない場合があるため、使用は認めません。なお、ハンカチ、ティッシュペーパー、座布団、ひざ掛け、目薬の使用を希望する場合は、あらかじめ試験監督者の許可を得てください。

宿泊施設の手配

本学受験のために宿泊を希望される場合は、本学Webサイトから本学が斡旋している宿泊先の情報をご覧ください。

その他、各旅行代理店やインターネットの宿泊ナビサイト等を利用のうえ各自でご予約されるようお願いいたします。

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に関する注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹、水痘、風疹等）に罹患し、治癒していない場合は、他の受験者や監督者への感染のおそれがありますので、受験を遠慮願います。

ただし、病状により学校医その他の医師から伝染のおそれがないと認められた場合は、この限りではありません。

なお、上記により、受験を遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置や入学検定料の返還は行いませんので、試験当日の体調管理については、十分に注意してください。

STAGE 3 受験当日の注意事項

試験場

- 試験場は受験票に記載されますので、確認のうえ、間違いのないようご注意ください。
- 試験場は原則、名古屋芸術大学東キャンパス[愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地]または、名古屋芸術大学西キャンパス[愛知県北名古屋市徳重西沼65番地]となりますが、諸事情により別の施設を試験場として設定する場合がありますので必ず受験票およびメール通知にてご確認ください。
- ・[大学入学共通テスト利用入試] および「教育学部大学入学共通テスト利用型特待入試」は、個別学力検査は実施しませんので試験場はありません。
- ※東西両キャンパスとも最寄り駅は名鉄「徳重・名古屋芸大」駅です。普通(各駅停車)電車しか停車しない駅ですので、名鉄電車利用の際はしっかり確認して乗車するようにしてください。また、名古屋市営地下鉄の「徳重」駅と間違えた事例がありましたので、ご注意ください。
- ※試験場を間違えた場合は、間違えた試験場での受験はできませんのでご注意ください。
- ※総合型選抜オンライン入試および総合型選抜(特別枠)オンライン方式の各入試は、オンライン(Web面接ツール)で実施します。

受験時の注意事項

1. 公共交通機関による試験場へのアクセスは事前に各自で確認のうえ、時間に余裕をもって来場してください。なお、自動車による送迎は、必ず指定の駐車場をご利用ください。
2. 試験当日は試験場の誘導掲示等に従い、指定された試験室に入室してください。また、筆記、記述の選抜内容を受験する場合、試験室では机の上に貼られている受験番号シールが自分の受験票に記載されている受験番号と同一であることを確認のうえ着席してください。
3. 受験票を忘れた場合や紛失した場合は、必ず係員に申し出て指示を受けてください。
4. **試験当日の遅刻限度は、試験開始後20分まで**です。試験開始後20分を過ぎた遅刻者は、当該科目の受験は認めません。なお、公共交通機関の遅れによる遅刻の場合は、公共交通機関窓口(駅など)で「遅延証明書」を受け取り、係員に提出してください。自動車を利用した場合の交通渋滞などによる遅刻は一切認めません。
5. 特別に指定している場合を除き、試験室入室の際、スマートフォン(携帯電話)等の通信機器類は必ず電源を切ってください。万一、試験時間中に鳴動した場合、試験監督者が所有者の同意がないまま試験室外へ持ち出し、試験終了まで本学が保管する処置をとる場合があります。
6. 受験者の付き添い者は試験室へは入室できません。試験終了までお待ちになる場合は所定のスペースをご利用ください。
7. 試験開始から試験終了まで試験室からの退室は認めません。なお、試験中の発病、または用便等やむを得ない場合は、すみやかに試験監督者に申し出てください。ただし、一時退室した分の試験時間の延長は一切行いません。
8. 試験前日等に試験場の下見は可能ですが、試験室内は見ることができません。
9. 試験当日は、気候気温に応じて空調稼働しますが、体感温度には個人差がありますので、調整しやすい服装を心がけてください。
10. 受験時は、すべて試験監督者の指示に従ってください。なお、以下の行為は不正行為とみなし、受験そのものを取り消すとともに入学検定料も返還しません。
 - ・カンニング(カンニングペーパー、関連書籍の閲覧、他の受験者の答案等を見る行為)をすること
 - ・受験者以外の者が、受験者本人になりすまして受験すること
 - ・解答を教えるなど、他の受験者に有利となるような行為をすること
 - ・使用を認められていない用具を使用して解答すること
 - ・試験の開始や終了の指示など、試験監督者の指示に従わないこと
 - ・特別に指定している場合を除き、試験時間中に電子機器類(携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチやスマートグラス等のウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等)や、補助具(コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等)を身に付けていたり、手に持っていること
 - ・試験に使用する作品等において、虚偽の申告(受験者以外の者が制作した作品等を自己作品と偽る行為など)を行うこと
 - ・その他、試験の公平性や試験中の静寂性を損なうような行為をすること
11. イヤホンについて、耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。試験時間中、病気・負傷や障がい等により補助器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。(「障がいや疾病のある受験者への特別配慮」参照)
12. 筆記、記述の選抜内容を受験する場合、英語の文字や地図、漢字の表記がプリントされている衣服は着用しないでください。試験当日着用していた場合は試験監督者の判断により、脱衣もしくは当該部分を覆う等の指示や処置を行う場合があります。
13. 試験当日、試験場周辺に不動産物件を紹介するなど声をかけてくる私設業者がいる場合がありますが、本学とは一切関係がございません。トラブル等に巻き込まれないように十分お気をつけください。なお、万一トラブルになっても本学は一切責任を負いません。

14. 試験当日、気象警報が発令されていた場合でも予定通り入学試験は行います。試験日時の変更や試験の開始・終了時刻の変更措置を取る場合は、本学Webサイトにてお知らせします。なお、受験に必要な費用（試験場までの旅費交通費や食事代等）は、いかなる理由があっても受験者本人が負うものとします。また、本学から緊急の連絡をする場合がありますので、入学試験当日まで登録したメールアドレスのメール受信確認および電話連絡がつくようにしておいてください。
15. 感染症対策の観点から試験実施時期における感染症の流行状況等を踏まえ、以下の内容についてご協力ください。
 - ①試験場内（試験室や面接待機室等）では適宜、空気の入れ替えを行う場合があります。
 - ②試験場内に設置されている手指消毒液等の利用や、手洗い等を適宜ご利用ください。
 - ③その他感染拡大防止に関する試験場内での措置等にご協力ください。

受験当日における対応

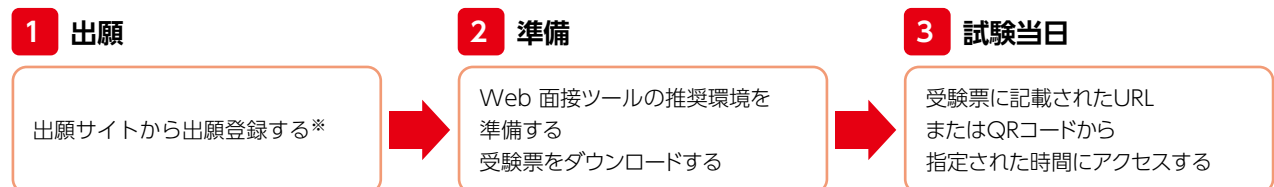
本学は、入学試験の実施に際し、公平で良好な受験環境の保持に最大限努めますが、やむを得ず以下のような対応を取る場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1. 不測の事態（地震などの自然災害や火災、停電、公共交通機関の遅延、校内施設の故障等）の発生により、試験開始時刻の繰り下げや正規の試験時間を確保するための試験時間の延長、そのための休憩時間の調整などの措置をとることがあります。その場合、本学の責によらない不可抗力による事故等であることが明らかな場合は、それによって生じた受験者の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
2. 試験室内の設備（机、いす、空調、照明、音響設備等）の違いなどは、合否判定の際、一切考慮しません。
3. 試験時間中に日常的な生活騒音が発生した場合でも、特別な救済措置は行いません。
例：緊急車両のサイレン、風雨・雷鳴、動物の鳴き声、空調や照明など設備が発する音、咳やくしゃみ など
4. 試験時間中に、試験監督者が試験実施上必要な打合せや指示、説明、巡回を行うことで生じる音等に対する申し出には一切応じません。
5. 特定の受験者の行為が、他の受験者に迷惑であると試験監督者が判断した場合は、受験の中止や別室受験等の指示を講じることがあります。

オンライン個人面接のながれ

総合型選抜 オンライン入試、教育学部資格取得型特待入試（オンライン面接希望者）および総合型選抜（特別枠）オンライン方式の各入試は、オンライン（Web面接ツール）で実施します。

面接ツールの推奨環境については、本学Webページをご確認ください。



※試験日が複数日程ある入試については希望日および時間帯を選択してください。

STAGE 4 合格発表

発表方法

〔郵送通知〕

合格者には合格発表日に合格通知書および入学手続に必要な書類一式をレターパックで発送します。不合格者には通知書を送付しませんので、あらかじめご了承ください。

〔インターネット合否照会〕

本学の公式な合格発表は、合格通知書の発送によるものとしますが、合格発表の補助手段として、インターネットによる合否照会を合格発表日の午前10時から行います。掲載期間は合格発表日から入学手続締切日までです。

※合格発表の学内掲示は行いません。また、合否結果や入試成績等に関する問い合わせには一切応じません。

※本学は、受験者の入試結果を出身(所属)学校長宛に通知します。(卒業見込者のみ)。

インターネット合否照会

合否照会サービスの利用期間

各試験合格発表日の午前10時から入学手続期限日まで

1

パソコン・スマートフォン・タブレットで合否照会ページにアクセス (※本学Webサイトからもアクセスできます)

<https://sak-sak.net/app/pass/nua/>



(スマートフォン用)

2

受験番号と生年月日の入力 (イメージ)

受験番号と生年月日を入力し、
「合否照会」ボタンをクリックしてください。

3

合否の確認

【合格の場合】

【不合格の場合】

注意事項等

- ・利用時間は各種試験別ごとに定めてあり、期間外には見ることはできません。
- ・サービス開始直後はアクセスが多くなりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。
- ・パソコン等の性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
- ・操作方法ならびに合否の結果に関し、電話でのお問い合わせには応じかねます。
- ・パソコン等のブラウザの設定によっては、画像のずれ・文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。
- ・画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

【合否照会について】 ●当サービスでの合否照会は速報であり、合格者には本人宛に正式な合格通知書を送付します。
●本システムでの「誤動作」「見間違い」等を理由とした入学手続きの遅れは認められません。

追加合格

1. 本学は、入学手続者が入学予定者数に達しない場合に、入試の成績結果により追加合格を発表する場合があります。追加合格者の発表方法は、原則として対象者に電話連絡をもって行います。
2. 追加合格者には、合格通知書および入学手続に必要な書類一式をレターパックで郵送します。
3. 入学手続の詳細については、合格通知書とともに送付する書類を参照してください。
4. 追加合格については、本学Webサイトや学内掲示等による発表は行いません。また、追加合格の合否結果や入試成績等に関する問い合わせには一切応じません。

STAGE 5 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学に必要な手続書類一式を送付します。それぞれの手続書類に従って入学手続を行ってください。なお、学納金納入期限は「入試日程」に記載されている「入学手続締切日」のとおりです。期日までに納入手続を完了してください。完了されていない場合は、入学辞退とみなします。

入学手続を完了された方に「入学許可書」を発送します。「入学許可書」は、入学手続完了後に1週間程度で発送を予定しています。

学納金

(2026年度入学者用／単位:円)

学部・学科・領域	コース	入学金	前期納付金				後期納付金				初年度納付金合計
			授業料	教育充実費	施設設備費	合計	授業料	教育充実費	施設設備費	合計	
芸術学部 芸術学科	下記以外のコース	200,000	662,500			982,500	662,500			982,500	2,165,000
	プロフェッショナルアーティスト		795,000			1,115,000	795,000			1,115,000	2,430,000
	音楽領域										
	ウインドアカデミー		530,000	220,000	100,000	850,000	530,000	220,000	100,000	850,000	1,900,000
	ミュージックエンターテインメント・ディレクション/ 声優アクティング/ダンスパフォーマンス		400,000			720,000	400,000			720,000	1,640,000
	音楽ケアデザイン		612,500			932,500	612,500			932,500	2,065,000
	舞台芸術領域										
	すべてのコース		450,000	270,000	100,000	820,000	450,000	270,000	100,000	820,000	1,840,000
	美術領域										
	すべてのコース		450,000	270,000	100,000	820,000	450,000	270,000	100,000	820,000	1,840,000
デザイン領域	下記以外のコース	200,000	450,000	270,000	100,000	820,000	450,000	270,000	100,000	820,000	1,840,000
	文芸・ライティング		350,000	250,000	100,000	700,000	350,000	250,000	100,000	700,000	1,600,000
	芸術教養領域										
芸術教養領域	リベラルアーツ	200,000	350,000	250,000	100,000	700,000	350,000	250,000	100,000	700,000	1,600,000
教育学部 子ども学科		200,000	350,000	200,000	100,000	650,000	350,000	200,000	100,000	650,000	1,500,000

※入学金および前期納付金は入試日程の「入学手続締切日」までの納付が必須となります。後期納付金は2026年10月下旬の納付です。

その他の納付金

(2026年度入学者用／単位:円)

学部・学科・領域		同窓会費 (入学時のみ納付)	学生教育研究災害 傷害保険料 (入学時のみ)	学生教育研究賠償 責任保険料 (入学時のみ)
芸術学部 芸術学科	音楽領域	29,000	3,300	1,360
	舞台芸術領域	29,000		
	美術領域	30,000		
	デザイン領域	30,000		
	芸術教養領域	29,000		
教育学部 子ども学科		20,000		

※同窓会費及び保険料については2025年6月現在の金額になります。
詳細は入学手続時の書類にて、ご案内します。

奨学金

(2026年度入学者用)

奨学金制度の名称		奨学金の内容	
本学独自の奨学金(返還の義務なし)	学費減免制度*	対象	経済的理由により修学援助を必要とする学業成績、人物ともに優れた者。第2学年以上の在学学生(50名以内)
		形態	当該学年の授業料の30万円を減免
		対象	名古屋芸術大学大学院、名古屋芸術大学の正規課程に同時期に在学する兄弟姉妹の学生のうち最も高い授業料の1人
		形態	当該学年の授業料の2分の1を減免
	緊急奨学金*	対象	保護者の急変により学費支弁が困難になった学生
		形態	当該学年の授業料の2分の1を減免する。減免は1学生に付き1回限り
	入学金免除奨学金制度*	対象	①入学する者の父、母又は子が大学院等(名古屋芸術大学短期大学部を含む)の修了生または卒業生の場合
			②名古屋音楽学校の専攻コースまたは特別研究コースに、原則として大学院等の入学年度前5年以内に通算1年以上在籍した修了生
			③名古屋芸術大学開講の生涯学習講座等修了生で学長が認めた者
		形態	入学手続時に納入した入学金を減免
※ 学費減免・奨学金制度の利用にあたっては、入学後、所定の期間内に、各自で申請手続きを行う必要があります。			
【貸与型奨学金】独立行政法人日本学生支援機構奨学金			
・第一種奨学金(無利子)	貸与月額	自宅通学者:20,000円 30,000円 40,000円 54,000円より選択(貸与期間中の金額変更可能)	
		自宅外通学者:20,000円 30,000円 40,000円 50,000円 64,000円より選択(貸与期間中の金額変更可能)	
・第二種奨学金(有利子)	貸与月額	20,000円 30,000円 40,000円 50,000円 60,000円 70,000円 80,000円 90,000円 100,000円 110,000円 120,000円 より選択(貸与期間中の金額変更可能)	
【期 間】標準修業年限 【対象者】学業・人物ともに特に優れているが、経済的理由により修学が困難な者			
【給付型奨学金・授業料等減免】高等教育の修学支援新制度			文部科学省 高等教育の修学支援新制度 ホームページ→ https://www.mext.go.jp/kyufu/ 
・日本学生支援機構給付型奨学金 自宅通学:最高約46万円 自宅外通学:最高約91万円			
・文部科学省授業料減免 最高約70万円(授業料・入学金の免除または減額)			
【期 間】標準修業年限4年間			
【対象者】制度の詳細等は、「文部科学省高等教育の修学支援新制度ホームページ」を参照			

特待生制度

入学特待生資格等		対象者の人数	減免額
入学特待生	S 下記の受験結果において、極めて優秀な成績をおさめて合格した者のうち、他の学生の模範となる者であると当該学部長が推挙し、学長が認めた者 〈芸術学部〉 ① 総合型選抜「芸術学部エキスパート入学試験」 ② 総合型選抜「プロフェッショナルアーティスト入学試験」 ③ ①、②以外で、実技または自己作品やポートフォリオのプレゼンテーションを伴う芸術学部芸術学科の入学試験 〈教育学部〉 ① 教育学部子ども学科で実施された入学試験	〈芸術学部〉 若干名 〈教育学部〉 若干名	最大4年間の 授業料、教育充実費および施設設備費を 全額免除※
	A 下記の受験結果において、極めて優秀な成績をおさめて合格した者のうち、当該学部長が推挙し、学長が認めた者 〈芸術学部〉 ① 芸術学部芸術学科各領域の一般選抜「一般入学試験1期」 ② 総合型選抜「芸術学部エキスパート入学試験」 ③ 総合型選抜「プロフェッショナルアーティスト入学試験」 ④ ①～③以外で、実技または自己作品やポートフォリオのプレゼンテーションを伴う芸術学部芸術学科の入学試験 〈教育学部〉 ① 教育学部子ども学科で実施された入学試験	〈芸術学部〉 8名以内 〈教育学部〉 若干名	入学初年次の 授業料、教育充実費および施設設備費を 全額免除※
	B 下記の受験結果において、特に優秀な成績をおさめて合格した者のうち、当該学部長が推挙し、学長が認めた者 〈芸術学部〉 ① 芸術学部芸術学科各領域の一般選抜「一般入学試験1期」 ② 総合型選抜「芸術学部エキスパート入学試験」 ③ 総合型選抜「プロフェッショナルアーティスト入学試験」 ④ 芸術学部芸術学科各領域の学校推薦型選抜「一般推薦入学試験」 ⑤ 芸術学部芸術学科各領域の総合型選抜(特別枠)「社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験」 ⑥ ①～⑤以外で、実技または自己作品やポートフォリオのプレゼンテーションを伴う芸術学部芸術学科の入学試験 〈教育学部〉 ① 教育学部子ども学科で実施された入学試験	〈芸術学部〉 16名以内 〈教育学部〉 若干名	入学初年次の 授業料、教育充実費および施設設備費を 年間 合計50万円に減免※

※「名古屋芸術大学の特待生規程」第7条(特待生の資格失効)に該当する場合は特待生の適用が取り消されることがあります。

入学前教育

名古屋芸術大学では年内に実施する各入試での合格者に対し、入学手続から入学までの期間を有意義に過ごしていただき、新たな大学での生活に対する不安の解消および入学後に専攻する分野の基礎等を学び体験することで、大学の学びへ円滑に移行できるようにすることを目的として、入学前教育を実施します。

※スクーリングは欠席されても、入学にあたって不利益等は一切ありません。

※課題内容等の詳しい内容は合格者に通知します。

入学辞退について

納付された学納金は原則として返還しません。ただし、入学手続を完了した者で、2026年3月31日(火) 15時までに入学を辞退し、本学から送付した「入学納付金返還願」を提出した者については入学金を除く納付金は返還します。

なお、その他の納付金については、期日に関わらず「入学辞退届」が提出されれば返還します。

新入生の学籍取得期日

新入生の学籍取得期日は、2026年4月1日(水)となります。

出願書類について

提出書類		説明内容
(1)	出願確認票	インターネット出願登録完了後に表示される出願確認票を印刷してください。 ※大学入学共通テストの成績を反映する入試は、令和8年度共通テスト成績請求チケット(私立大学用)を切り取って出願確認票に貼り付けてください。
(2)	調査書	全体の学習成績の状況の記載があり、出身学校長が証明、厳封したものを提出してください。 ※調査書の提出は内容に変更なければ併願、複数回の出願の場合でも1人1通で結構です。 ※卒業見込みの者については、高等学校および中等教育学校において 出願期間開始前3か月以内に作成されたもの ※高等学校卒業認定試験合格者(大学入学資格検定合格者含む)は、調査書に替えて検定合格証明書および合格成績証明書を、同試験合格見込み者は、成績の記載された合格見込成績証明書を提出してください。 免除科目のある場合は、高等学校の成績証明書等、免除科目を証明できる書類を添付してください。 ※調査書が発行されない場合は、卒業証明書を提出してください。 ※外国の学校を卒業した場合は、①卒業(見込)証明書、②成績証明書を出願時に郵送してください。
(3)	大学入学志望理由書(様式1)	総合型選抜自己PR型入学試験に出願する場合は、「様式1-2」を提出。その他の入試区分に出願する場合は、「様式1-1」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものをを用いて、必要項目を記入してください。
(4)	活動報告書(様式2)	対象となる試験区分の「プラスα加点」を希望する場合、「CEFR 基準のスコア」による「学科試験(英語)」の試験免除を希望する場合に提出してください。本学Web サイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものをを用いて、必要項目を記入してください。また、第三者による作成された証明できる書類やそのコピーを添付してください。 音楽領域プロフェッショナルアーティストコース入試において使用する場合は、音楽活動経歴を記入のうえ提出してください。
(5)	教育学部資格取得報告書(様式3)	本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものをを用いて、必要項目を記入してください。 また、第三者による作成された証明できる書類やそのコピーを添付してください。
(6)	推薦書(様式4)	本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものをを用いて、出身学校長が作成、厳封したものを提出してください。
(7)	実技科目記入用紙(様式5)	本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものをを用いて、必要項目を記入してください。
(8)	作品提出記入用紙(様式6)	本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものをを用いて、必要項目を記入してください。
(9)	声楽曲伴奏楽譜	「選抜方法詳細(音楽領域)」を参考に個別で作成してください。
(10)	事前提出課題・作品等	各志願先学科・領域における選抜方法により、指定された課題および作品等を作成のうえ、提出してください。
(11)	最終学歴の卒業(見込)証明書	出願資格を証明し得る最終学歴の卒業証明書の原本を提出してください。 ・開封無効
(12)	最終学歴の成績証明書	最終学歴の成績証明書の原本を提出してください。 ・開封無効 ・卒業後大学等で単位を修得した場合は、その証明書
(13)	履歴書(様式7)	本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものをを用いて、必要項目を記入してください。

〈その他の注意事項〉

- 日本語または英語以外の証明書などには、必ず日本語の翻訳を添付してください。
- 提出された出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。
- 出願後における受験する学科領域コースの変更は一切認めません。
- 出願確認票の氏名と提出書類の氏名が異なる場合は、改姓を証明する公的な書類を添付してください。
- 出願書類の記入に際しては、原則黒のボールペン(インク)を使用し、自筆で記入してください。

名古屋芸術大学所定様式のダウンロードはこちら

www.nua.ac.jp/examinee/entrance/



外国人留学生の方へ

「外国人留学生入試」出願者に限らず、「留学」の在留資格をもって本学学部 に在籍する予定の方全員に対する共通事項です。

出願資格

以下の①～⑤の条件をすべて満たしている者

1年次入学		3年次編入学・2年次編入学※	
①	日本国籍を有しない者で、私費または国費による修学が可能な者		
②	2026年4月1日までに、満18歳に達する者	②	2026年4月1日までに、満20歳に達する者
③	出入国管理及び難民認定法に基づき、「留学」の在留資格をもって日本に在留することができる者		
④	次のいずれかに該当する者 (1)外国において、学校教育制度における通算12年の課程を修了（卒業）した者および2026年3月末日までに修了（卒業）見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学省の指定した者 (2)外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者 (3)外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥアス、バカロレア、GCEALレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する者 (4)国際的な認証団体であるWASC、CIS、ACSI、NEASC、Cogniaの認定を受けた教育施設において12年の課程を修了した者および2026年3月末日までに修了見込みの者（CISの旧名称でもあるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了した者についても可。） (5)上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者 文部科学省ホームページをご覧ください。※2019年1月31日付告示の該当者 (6)本学において個別の入学資格審査により(1)～(5)と同等の資格があると認めた者	④	次のいずれかに該当する者 (1)日本の大学に2年以上在学（休学・停学期間を除く）し、62単位以上を取得した者および2026年3月末日までに大学に2年以上在学（休学・停学期間を除く）し、62単位以上取得する見込みの者（本学在学者は除く） (2)日本または外国の大学を卒業し、学士の学位を有する者および2026年3月末日までに学士の学位を授与される見込みの者 (3)日本の短期大学または高等専門学校を卒業した者および2026年3月末日までに卒業見込みの者 (4)学校教育法第132条の規定により専修学校の専門課程（修業年限2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上であるものに限る）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る）および2026年3月末日までに修了見込みの者 (5)外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者および2026年3月末日までに修了見込みの者 (6)外国の短期大学を卒業した者または外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者（学校教育法第90条第1項に規定するものに限る）および2026年3月末日までに修了見込みの者 (7)高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であること。その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定するものに限る）および2026年3月末日までに修了見込みの者
⑤	表1に記載されている「受験時に必要な日本語能力」のいずれかの基準を満たしている者 ※試験結果は、原則2023年4月1日以降に受験し、出願時までに取得したものを有効とします。		

※2年次編入学は教育学部子ども学科のみ

表1 受験時に必要な日本語能力

	試験名	必要スコア(下記の成績以上)
1	日本語能力試験 (JLPT)	[N1] または [N2]
2	日本留学試験 (EJU)	[科目:日本語]において、「読解」「聴解・聴読解」の合計200点以上
3	BJTビジネス日本語能力テスト	400点以上

提出書類

外国人留学生の方は、**各入試に必要な出願書類と併せて**以下の書類を提出してください。

	書 類	備 考
①	大学入学志望理由書 (様式1)	本学Webサイトより所定の様式をA4サイズに印刷したものをういて、必要項目を記入してください。
②	日本語能力を証明する書類 以下より、いずれかひとつを提出してください。 (1) 日本語能力試験 (JLPT):「認定結果および成績に関する証明書」 (2) 日本留学試験 (EJU):「成績確認書」 (3) BJTビジネス日本語能力テスト:「成績認定書」	・日本語能力試験 (JLPT) の「認定結果および成績に関する証明書」は発行に時間がかかるため、出願時に間に合うよう余裕をもって発行手続きを行ってください。原本(コピー不可) ・日本留学試験 (EJU) の「成績確認書」は「EJUオンライン」から印刷したものを提出してください。 ・BJTビジネス日本語能力テストの「成績確認書」は専用サイトから印刷したものを提出してください。
③	履歴書 (様式7)	本学Webサイトより所定の様式をA4サイズに印刷したものをういて、必要項目を記入してください。 ※小学校から最終学歴までの全ての経歴を途切れなく記載してください。
④	出身学校 (高等学校・大学等) の卒業 (見込) 証明書	成績証明書と一体になっている書類の場合は、提出不要です。
⑤	出身学校 (高等学校・大学等) の成績証明書 ・証明書の原本を提出してください。 ・日本語または英語表記のものに限ります。 日本語・英語以外の言語で記載されている場合は、日本語訳を原本と一緒に提出してください。	【高等学校を卒業しておらず、外国において大学入学資格検定に合格している場合】 ・大学入学資格検定に合格している方は、合格証明書と成績証明書を提出してください。 ・高等学校を中途退学の場合、高等学校在籍時の成績証明書も併せて提出してください。 【自国の正規の教育制度により、初等／中等教育を受けた期間が12年に満たない場合】 ・学校の卒業証明書と成績証明書に加えて、文部科学大臣の指定した準備教育課程の修了 (見込) 証明書と成績証明書を提出してください。 ※婚姻等の事情により証明書と姓が異なる場合は証明できる書類を提出してください。
⑥	身分を証明する書類 (1) 在留カードの写し (2) パスポートの写し	・在留カードは、両面必要です。A4サイズ用紙にコピーをしてください。 ・パスポートの身分事項 (氏名、顔写真、生年月日、国籍、パスポートの有効期限等) が記載されているページをA4サイズ用紙にコピーしてください。 ※日本に在留していない方は、在留カードの写しは不要です。
⑦	留学費用支払いに関する証明書 (1) 経費支弁書 (様式8) (2) 経費支弁者の提出書類 ※経費支弁書 (様式8の2ページ目) に記載の「経費支弁者提出用書類チェック表」を参照	本学Webサイトより所定の様式をA4サイズに印刷したものをういて、必要項目を日本語で記入してください。 署名欄は、経費支弁者が自署してください。 ※その他の項目は、受験生が記入しても可。
⑧	日本語学校、専門学校等の(1)～(3)の証明書 (該当者のみ) (1) 卒業(見込)証明書または在籍証明書 (2) 成績証明書 (3) 出席証明書	日本国内の学校(日本語学校、専門学校等)に在籍しているまたは在籍していた場合は、必ず提出してください。 「履歴書(様式7)」に記載した全ての学校分を提出してください。
⑨	結核非発病証明書	在外の受験生で、フィリピン・ネパール・ベトナムから入国する者
⑩	提出書類チェックリスト (様式9)	本学Webサイトより所定の様式をA4サイズに印刷したものをういて、必要項目を記入してください。全ての書類が整っていることを確認のうえ併せて提出してください。

※提出された書類は返却しません。 ※提出書類の内容を確認するために、第三者 (大使館、出身学校、日本語学校等) に確認することがあります。

在留資格「留学」について

日本に在留している場合 ※日本に在留資格「短期滞在」で在留している場合を除く

本学入学までに在留期間が満了する方は入学前に速やかに各自で更新手続きを行ってください。

日本に在留していない場合 ※日本に在留資格「短期滞在」で在留している場合を含む

外国籍で日本に居住していない (在留資格を持っていない) 方は、入学手続と併せて、在留資格認定証明書交付申請が必要です。

名古屋芸術大学が、入学予定者の代理人として交付申請を行います。詳細については、合格者への案内文書「入国手続に関するご案内」で確認してください。

※原則として、本学入学時までに入学に支障のない在留資格を有していない場合は、入学許可を取り消します。

[お問い合わせ先] 広報部学生募集チーム TEL:0568-24-0318 TEL(海外から): +81-568-24-0318 E-mail: ml-nua@nua.ac.jp

入学試験概要

【総合型選抜】

- 【専 願】体験授業型入学試験（エントリー制）
- 【専 願】自己PR型入学試験 ※学内併願可
- 【専 願】実技・プレゼン・小論文型入学試験
- 【併願可】実技・プレゼン・小論文型入学試験
- 【併願可】基礎学力検査型入学試験
- 【併願可】プロフェッショナルアーティスト入学試験 ※音楽領域のみ
- 【併願可】教育学部資格取得型特待入学試験 ※教育学部のみ
- 【併願可】エキスパート入学試験 ※芸術学部のみ
- 【併願可】オンライン入学試験 ※舞台芸術領域、芸術教養領域、教育学部のみ

【学校推薦型選抜】

- 【併願可】一般推薦入学試験

【一般選抜】

- 【併願可】一般入学試験
- 【併願可】大学入学共通テスト利用入学試験
- 【併願可】教育学部大学入学共通テスト利用型特待入学試験 ※教育学部のみ

【総合型選抜(特別枠)】

- 【併願可】社会人&シニア入学試験
- 【併願可】海外帰国生徒入学試験
- 【併願可】外国人留学生入学試験
- 【併願可】〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験
- 【併願可】〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験
- 【併願可】〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験
- 【専 願】3年次編入学試験
- 【専 願】2年次編入学試験 ※教育学部のみ

選考方法詳細1(音楽領域)

※総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入学試験)、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験・〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験・〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験・〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験

選考方法詳細2(音楽領域)

※プロフェッショナルアーティスト入学試験、エキスパート入学試験

選考方法詳細3(音楽領域)

※3年次編入学試験

名古屋芸術大学 英語 資格・検定試験とCEFR対照表

「プラスα加点」について

採点基準・評価の観点等

【専願】 体験授業型入学試験（エントリー制）（1期のみ）

総合型選抜では、各学科・領域が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術・技能に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

体験授業型入学試験は、各学科・領域で設定している選抜内容により選抜を実施する「専願」の入学試験方式です。

体験授業の実施内容およびエントリー時に提出された「志望理由書」から「主体性・多様性・協働性・創造性」を評価し、出願時に提出された「調査書等」から「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を総合的に評価し、学内で選考します。

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校（中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む）を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2026年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者

(3) 専修学校の高等課程（修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者

(4) 文部科学大臣が指定した者

(5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

(6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願する者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム（TEL：0568-24-0318）まで電話でご連絡ください。

出願書類

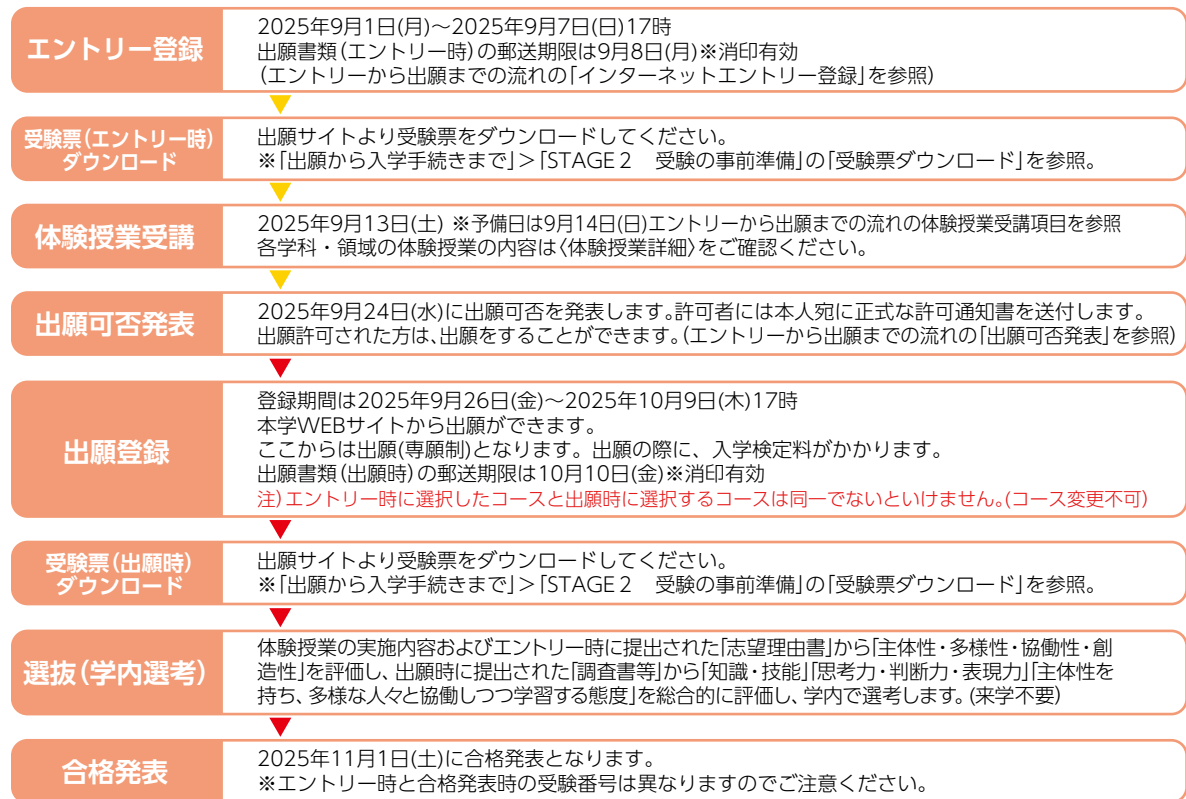
<エントリー時>

- ①エントリー確認票 ②大学入学志望理由書(様式1-1)

<出願時>

- ①出願確認票 ②調査書 ③出願許可書

選抜方法の流れ



エントリーから出願までの流れ

インターネットエントリー登録

- 1 インターネットで出願サイトにアクセス** (URL)<https://sak-sak.net/app/nua/>
本学Webサイトからアクセスしてください。
- 2 試験情報の登録**
「体験授業型入学試験(エントリー)」
(エントリーから志願先等を登録します。)
- 3 志願者情報の登録**
氏名・住所・電話番号等を登録します。※**顔写真データのアップロードが必要です。**(JPEGデータを事前にご用意ください。)
- 4 顔写真データのアップロード**
インターネット出願登録時に、顔写真をアップロードする必要がありますので、**事前に顔写真データ(JPEG形式)をご用意ください。**
 - 本人のみが写っていること
 - 3か月以内に撮影されていること
 - 上半身、無帽、正面向きであること
 - 本人の顔がはっきり確認できること
 - 人物の背景は何も写っておらず、白または薄い色であること
 - カラー写真であること

正しい写真

規定違反の写真

顔が枠に収まっていない 正面を向いていない 背景が暗い 顔が小さく確認しづらい

次の1～3の手順で顔写真データのアップロードを行ってください。

 - 写真選択
写真データ(JPEG形式)を選択してください。
 - 編集(位置の調整)
上記規定のとおりレイアウト枠内(アタマの頂点とアゴの先端)に収まるように、左右回転/拡大縮小/輝度/彩度を調整してください。
 - 完了
調整が完了したら、「3.完了」ボタンをクリックしてください。
- 5 出願書類(エントリー時)の送付**
エントリー登録後に印刷した「送付ラベル」を使用し、「エントリー確認票」、「大学入学志望理由書(様式1-1)」を角2サイズ以上の封筒で郵送します。

〈出願サイト〉



体験授業受講

集合場所・集合時間は2025年9月10日(水)までに本学Webサイトで告知します。体験授業受講日は各学部学科領域で指定された持参物と受験票(エントリー時)を持参してください。

出願可否発表

1 発表方法

〔インターネット出願可否照会〕

出願可否発表は本学Webサイトにて行います。インターネットによる出願可否照会システムで9月24日(水)の午前10時から行います。掲載期間は9月24日(水)午前10時から10月9日(木)17時までです。

※出願可否発表の学内掲示は行いません。また、出願可否結果や入試成績等に関する問い合わせには一切応じません。

2 インターネット出願可否照会

出願可否照会サービスの利用期間 2025年9月24日(水)の午前10時から2025年10月9日(木)

1 パソコン・スマートフォン・タブレットで出願可否照会ページにアクセス

(※本学Webサイトからもアクセスできます)

<https://sak-sak.net/app/pass/nua/>



(スマートフォン用)

2 受験番号(エントリー時)と生年月日の入力〔イメージ〕

受験番号と生年月日を入力し、
「出願可否照会」ボタンをクリックしてください。

3 出願可否の確認

【許可の場合】

【不可の場合】

注意事項等

- ・期間外には見ることはできません。
- ・サービス開始直後はアクセスが多くなりづらい状態が予想されます。その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。
- ・パソコン等の性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
- ・操作方法ならびに出願可否の結果に関し、電話でのお問い合わせには応じかねます。
- ・パソコン等のブラウザの設定によっては、画像のずれ・文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。
- ・画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

【出願可否照会について】 ●当サービスでの出願可否照会は速報であり、許可者には本人宛に正式な許可通知書を送付します。
●本システムでの「誤動作」「見間違い」等を理由とした出願手続きの遅れは認められません。

出願登録

出願サイトにおいて、エントリー登録時に使用したユーザIDとパスワードを利用して、
「出願開始(ユーザ登録済の方)」から出願登録をしてください。

初めての出願または
ユーザ未登録の受験生

初めて出願を行う方は利用案内を確認の上、
出願手続きを行ってください。

出願開始

ユーザ登録済の受験生用

ユーザ登録済の方は、以下にユーザID・パスワードを
入力し、出願または出願状況確認を行ってください。

ユーザID
パスワード

出願状況確認

出願開始
(ユーザ登録済の方)

ユーザIDを忘れた方はこちら
パスワードを忘れた方はこちら

体験授業詳細【配点300点】

芸術学部 芸術学科 音楽領域

コース	体験授業テーマ	体験授業内容	時間 (9:30～12:00予定※)
声楽コース	声楽表現の可能性を探る	体験レッスン 成果発表	体験レッスン 45分
鍵盤楽器コース (ピアノ)	ピアノの体験レッスンと初見演奏		
鍵盤楽器コース (電子オルガン)	電子オルガンで“音楽”すること		
弦管打コース	弦管打奏法の研究と楽曲の表現方法について		
ウインドアカデミーコース	吹奏楽に関係する楽器の体験レッスンと リペアの体験授業	体験授業 成果発表	楽器のレッスン 30分 リペアの体験授業 60分
ポップス・ロック＆ パフォーマンスコース	ヴォーカルまたは各楽器の体験レッスン	体験レッスン 成果発表	体験レッスン 45分
ダンスパフォーマンスコース	踊ることと表現すること		体験レッスン 50分
声優アクティングコース	演技の基礎を学ぶ		体験レッスン 90分
サウンドメディア・ コンポジションコース	作曲ならびに録音の体験授業	体験授業 成果発表	作曲の体験授業 60分 録音の体験授業 60分
ミュージックエンターテインメント・ ディレクションコース	音響ならびに照明の体験授業		音響の体験授業 60分 照明の体験授業 60分
音楽ケアデザインコース	音楽療法模擬セッション		講義 45分 模擬セッション 60分
音楽総合コース	上記いずれか1つのコースの体験授業を選択		

※ 時間は受講生数によって変動する場合があります。

〈体験授業詳細〉

- ・声楽コース：マンツーマンレッスンを実施します。発声法や呼吸法の基礎指導に加え、クラシック歌曲、オペラアリア、または高校の教科書掲載曲を含む日本歌曲の中から、任意の1曲を歌唱します。
- ・鍵盤楽器コース (ピアノ)：クラシック作曲家のピアノ独奏曲について、演奏技術や表現方法の研究をします。事前に準備された任意の楽曲 (1曲または複数曲) について、その様式や時代背景、作曲家の意図等の音楽的な理解を深めていきます。また、8小節程度の簡単な初見演奏で読譜能力を確認します。
- ・鍵盤楽器コース (電子オルガン)：任意の1曲を「上手く弾く」ことより「伝えたいことを伝える」ことに重きを置いてレッスンします。
- ・弦管打コース：マンツーマンのレッスンにより楽器奏法の理解と楽曲の表現方法を学びます。
- ・ウインドアカデミーコース：吹奏楽で演奏する上での音楽的素養、楽器に対する興味・関心を学びます。
- ・ポップス・ロック&パフォーマンスコース：マイナスイオンで一度演奏してもらい、音程、リズム、歌心、奏法基礎、簡単な音楽理論、個々に必要な練習方法等のレッスンを実施します。
- ・ダンスパフォーマンスコース：ダンス基礎の体験レッスンを実施します。ストレッチ等のウォーミングアップ、振付などをレッスンします。
- ・声優アクティングコース：演技の基礎のワークショップを実施します。
- ・サウンドメディア・コンポジションコース：作曲ならびに録音の体験授業を実施します。作曲の体験授業では、パソコン (Mac) を使用して簡単な音楽制作を行います。録音の体験授業では、録音方法の事例とレコーディングスタジオの機能を学びます。実際にパーカッションやクラブなどを録音し、録音とミックスがどのように行われているかを体験します。
- ・ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース：音響ならびに照明に関する基礎的なレクチャーと実習を行います。
- ・音楽ケアデザインコース：音楽療法プログラム作成についてのミニ講座受講後、それをもとにプログラムを立て模擬セッションを実施します。
- ・全コース共通：各コースの体験授業実施後、成果発表を実施します。

〈体験授業の評価のポイント〉

- ・声楽コース：基礎的な歌唱力と楽曲への理解・表現力に加え、音楽性とコミュニケーション能力を重視します。音楽への真摯な姿勢と可能性を総合的に評価します。
- ・鍵盤楽器コース（ピアノ）：学習意欲、学習姿勢を総合的に評価します。
- ・鍵盤楽器コース（電子オルガン）：自分の演奏する曲について、明確に解釈して、それらを「伝える」ためにどうするのかを総合的に評価します。
- ・弦管打コース：基礎力、理解力、適応力、また学習に対する姿勢等を総合的に評価します。
- ・ウインドアカデミーコース：基礎力、理解力、適応力、また学習に対する姿勢等を総合的に評価します。
- ・ポップス・ロック&パフォーマンスコース：体験レッスンでの姿勢、マイナスインでの演奏等を総合的に評価します。
- ・ダンスパフォーマンスコース：学習意欲、学習姿勢、表現力、身体能力、ダンススキルを総合的に評価します。
- ・声優アクティングコース：体験授業での「表現力」「主体性」「協調性」「コミュニケーション能力」等を総合的に評価します。
- ・サウンドメディア・コンポジションコース：体験授業での取り組み姿勢を総合的に評価します。
(取り組み方、コミュニケーション能力、内容理解度 等)
- ・ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース：授業に対する理解度や積極性、コミュニケーション能力等の総合的な姿勢を評価します。
- ・音楽ケアデザインコース：体験授業での取り組み姿勢を総合的に評価します。
(積極性、コミュニケーション能力、内容理解度、成果発表へ向けての取り組み方等)

〈試験当日持参物〉

- ・全コース共通：①受験票（エントリー時）
- ・声楽コース：①筆記用具、②当日歌唱する楽譜、③教員伴奏用楽譜
- ・鍵盤楽器コース（ピアノ）：①筆記用具、②演奏する楽曲の楽譜
- ・鍵盤楽器コース（電子オルガン）：①筆記用具、②自身が演奏する曲に必要なもの（楽譜、データ等々）
- ・弦管打コース、ウインドアカデミーコース：①筆記用具、②当日演奏する楽譜、③専攻する楽器
- ・ポップス・ロック&パフォーマンスコース：①筆記用具、②楽譜、③楽器、④伴奏音源（マイナスイン）
- ・ダンスパフォーマンスコース：①筆記用具、②ダンスシューズ（無くても可）
- ・声優アクティングコース、サウンドメディア・コンポジションコース、ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース、音楽ケアデザインコース：①筆記用具

〈注意事項〉

- ・弦管打コース：伴奏者が必要であれば各自で手配する。
- ・ポップス・ロック&パフォーマンスコース：「マイナスイン」＝自分の演奏パートの音声が入っていない音源
- ・ダンスパフォーマンスコース、声優アクティングコース、ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース：動きやすい服装で受講する（スカートは不可）

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

コース	体験授業テーマ	体験授業内容	時間 (9:30～12:00予定※)
全コース	積み木を使って 舞台芸術作品を体験しよう	グループワークで 小作品を制作発表	体験授業 発表 60分 30分※

※ 時間は受講生数によって変動する場合があります。

〈体験授業詳細〉

グループワークを通して、舞台芸術の「つくり手」としての体験をしてもらいます。
 小道具として積み木・ペンライト・カラーフィルム・音楽を使用し、与えられた時間の中で一つの小作品を制作・発表します。
 1. 3～5人でグループをつくります。
 2. 舞台作品のつくり方について、簡単な講座を行います（演出・美術・音響・照明の基礎知識）。
 3. グループ内で役割（美術、音響、照明）を話し合って決定します。
 4. 「テーマ」をグループで決め、そのテーマに沿って作品づくりを行います。各役割に応じて次のような準備をします。
 美術：積み木を使ってテーマを表現した空間を構成します。
 音響：事前に用意された3曲から1曲を選び、音楽のタイミング・音量・フェードイン/アウトを設計します。
 照明：2本のペンライトとカラーフィルムを使って、色・角度・タイミングを工夫します。
 完成した作品をグループで発表・プレゼンテーションします。発表後、グループごとにテーマの意図や工夫した点を共有し、教員からフィードバックを受けます。

〈体験授業の評価のポイント〉

体験授業への姿勢
 グループでの積極的なコミュニケーション、協働する姿勢、提案力、試行錯誤する過程などを評価します。
 成果発表
 チームで作り上げた作品の完成度、テーマへの一貫性、役割ごとの表現力、プレゼンテーションのわかりやすさを評価します。

〈試験当日持参物〉

①受験票（エントリー時）、②筆記用具

芸術学部 芸術学科 美術領域

コース	体験授業テーマ	体験授業内容	時間 (9:30～14:00予定※)
全コース 右記2つの授業から 自由選択	【平面課題】鉛筆で描く	提示したテーマに沿って、 平面課題（鉛筆で描く）と 立体課題（粘土でつくる）の どちらかの体験授業を受講。 最後に講評を実施。	体験授業(制作) 180分 昼食休憩 約60分※ 講評 約60分※
	【立体課題】粘土でつくる		

※ 時間は受講生数によって変動する場合があります。

〈体験授業詳細〉

エントリー時に平面課題（鉛筆で描く）と立体課題（粘土でつくる）のどちらかを選択します。
 【制作】あらかじめ選択していた課題に分かれ、提示したテーマに沿って、各自で制作をします。
 【講評】完成した作品を発表し、教員から講評を受けます。
 ※「テーマ」は平面課題、立体課題ともに同じ内容になります。
 平面課題では画用紙、鉛筆、練り消しゴム、モチーフを使用します。本学で用意いたします。
 立体課題では粘土、制作用具、モチーフを使用します。本学で用意いたします。

〈体験授業の評価のポイント〉

- ・表現力＝テーマを理解し、制作に必要な技術力や思考力を用いて表現できているか。
- ・美術に対する気持ち＝制作する姿勢や美術を学ぶための意欲や関心を備えているか。

〈試験当日持参物〉

①受験票（エントリー時）、②昼食

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

コース	体験授業テーマ	体験授業内容	時間 (9:30～15:30予定※)
ファンデーション	デザインプロセスを体験しよう	テーマに沿った講義と理解を深めるためのワークを行い、作品を制作します。	導入 60分 制作 180分 昼休憩 60分* プレゼンテーション 30分～*
先端メディア表現コース	コンテンツ制作を体験しよう	グループワークを通して、テーマに沿ったコンテンツを制作します。	体験授業 60分 制作 180分 昼休憩 60分* 講評とプレゼンテーション 30分～*
文芸・ライティングコース	文芸作品クリティーク	文芸作品2点を読んでもらい、作品についての感想、批評を発表し合います。	体験授業 240分 昼休憩 60分* 講評とプレゼンテーション 30分～*

※ 時間は受講生数によって変動する場合があります。

〈体験授業詳細〉

ファンデーション：テーマは「測る」。講義を聴いた後、実際にさまざまなものの長さを測ってみます。最後に課題を制作し、プレゼンテーションをします。グループによる進行を予定しています。

先端メディア表現コース：グループに分かれてもらい、テーマに沿ってアイデア出しを行い、制作してもらいます。制作されたコンテンツをプレゼンテーションしてもらいます。

2～3名で1チームになって進行予定です。体験授業では、iPad、Macなどを使用します。本学で用意いたします。

文芸・ライティングコース：文芸作品2点を読んでもらい、作品についての感想、批評を発表し合います。

〈体験授業の評価のポイント〉

ファンデーション：課題への取り組み姿勢とプレゼンテーション・制作物の内容を総合的に評価します。

先端メディア表現コース：グループでの積極的なコミュニケーション、協働する姿勢、提案力、試行錯誤する過程などを評価します。また、制作物の内容、プレゼンテーションのわかりやすさを評価します。

文芸・ライティングコース：文芸作品を読み解いてもらうこと、意見を発表すること、ワークシートに考えをまとめていることなどを評価します。

〈試験当日持参物〉

全コース：①受験票（エントリー時）、②昼食

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

コース	体験授業テーマ	体験授業内容	時間 (9:30～14:30 予定※)
全コース	興味から「私だけの学び」を創ろう	レクチャーを受けた後で、自分自身の興味・関心を振り返り、ワークシートに記入する。 口頭でプレゼンテーションを行う。	レクチャー 60分 ワークショップ 90分 昼食休憩 60分 プレゼンテーション 約50分※

※ 時間は受講生数によって変動する場合があります。

〈体験授業詳細〉

芸術教養領域では、アートやデザイン、マンガ、ゲーム、ポピュラー音楽、アニメ、映画など、学生一人ひとりが自分の興味から「私だけの学び」を創っていきます。

その学びを創るうえで大事にしていることが「振り返り」です。そこで、この体験授業では自身の興味・関心・好きなことなどを振り返ってもらいます。

この体験授業を通じて、自身の興味・関心と芸術とがいかに深く結びついているかを感じてほしいと考えています。

①レクチャー（演習型）：教員の説明を聞きながら、キャンパス内の特徴的な場所を見学します。

受講生はレクチャーを聞きながら意見を述べます。

②ワークショップ：こちらで用意したワークシートを使い、自分自身の興味・関心を振り返ります。

③プレゼンテーション：1人2～3分でワークシートの内容を口頭発表し、教員と受講生を交えて意見交換します。

〈体験授業の評価のポイント〉

体験授業への参加態度・積極性

作成したワークシート

口頭発表の内容・伝わりやすさ

〈試験当日持参物〉

①受験票（エントリー時）

②メモできるもの（メモ用紙と筆記具、スマートフォンやタブレットなどの電子媒体も可）

③筆記用具（こちらが用意する用紙に記入できるもの。色鉛筆、ペンなどを使っても良い）

④その他、自分の興味・関心を伝えるのに適切だと判断し、持参できるものならば自由。

⑤昼食

教育学部 子ども学科

コース	体験授業テーマ	体験授業内容	時間 (9:30～12:00 予定※)
全コース	詩をモチーフにしたコラージュ作品を共同制作しよう！	テーマに沿ってグループで共同制作を行い、成果発表を実施する。	体験授業(共同制作) 70分 成果発表 約20分※

※ 時間は受講生数によって変動する場合があります。

〈体験授業詳細〉

配付された詩を読み解き、その世界をモチーフにしたコラージュ作品を共同制作をします。

最後に、グループごとに成果を発表しあうことで、詩の世界の解釈や制作した作品の工夫や良さ等について共有します。

授業の際、模造紙、カラーペン、色鉛筆、のり、ボンド、コラージュ用素材、ハサミ、カッター、カッターマットを使用予定です。本学ですべて用意いたします。

〈体験授業の評価のポイント〉

制作を楽しみながら試行錯誤し、仲間と協調する姿勢など

〈試験当日持参物〉

①受験票（エントリー時）、②筆記用具

【専願】 自己PR型入学試験(1期～4期)

総合型選抜では、各学科・領域が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術・技能に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

自己PR型入学試験は、本学アドミッション・ポリシーの理解を前提に、志望理由書および面接を通じて、主体性、多様性、協働性、創造性等を問う方式としており、本学を目指す意欲、目的意識、適性等を総合的に評価します。

この方式は、全学科・領域共通の入学試験方式です。「専願」ですので、合格された場合、必ず本学に入学していただきます。

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

1期～4期全ての期間において、大学内の学科・領域・コース間の学内併願が可能です。複数の学科・領域・コースを併願して出願した場合、合格された学科・領域・コースの中で、入学手続き期限までにどの学科・領域・コースで入学手続きをするかを選択することが可能です。(※複数の学科・領域に出願した場合、件数分の検定料がかかります。)

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2026年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願する者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書(様式1-2)

選抜方法

全学部 全学科 全領域
(1期・2期・3期・4期)

コース	選抜方法①	選抜方法②
全コース 音楽領域プロフェッショナルアーティストコースを除く	志望理由書(1,200字程度)(100点)	個人面接*(約15分・200点)

※調査書を参考資料とする。

●志望理由書に明示するテーマ

「大学入学志望理由書(総合型選抜自己PR型入学試験用)」(様式1-2)を使用し、出願する期の志望理由書に明示するテーマに沿って志望理由を記述してください。

①いずれも文字数は1,100字～1,300字の範囲内とする。

②1回の受験で複数の学科・領域を志望する場合、上記①の字数範囲内で複数の志望学科・領域の内容について記述すること。

期	試験日	明示するテーマ
1期	2025年10月18日(土)	あなたが志望している本学の学科・領域には、あなたにとってどのような魅力があると考えていますか。本学のアドミッション・ポリシーに書かれている内容を踏まえて、志望する理由を明確に記述してください。
2期	2025年12月13日(土)	あなたが志望している本学の学科・領域の学びを通じて、将来どのような活躍をしたいと考えていますか。本学のアドミッション・ポリシーに書かれている内容を踏まえて、志望する理由を明確に記述してください。
3期	2026年2月7日(土)	あなたのこれまでの学びや経験を本学での学びにどのように活かしていきたいと考えていますか。志望している本学の学科・領域のアドミッションポリシーの内容を踏まえて、志望する理由を明確に記述してください。
4期	2026年3月17日(火)	あなたが志望している本学の学科・領域のアドミッション・ポリシーのどのような点に共感しましたか。あなたの自身の具体的なエピソードを含めて、志望する理由を明確に記述してください。

【専願】 実技・プレゼン・小論文型入学試験(1期～4期)

総合型選抜では、各学科・領域が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術・技能に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

【専願】実技・プレゼン・小論文型入学試験は、各学科・領域で設定している選抜内容により選抜を実施する「専願」の入学試験方式です。

学科・領域ごとに、指定された実技、作品プレゼンテーションおよび小論文と面接により評価を行います。また、一部の領域を除き、主体的な活動歴を評価するプラスα加点での評価を行います。

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2026年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願する者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書(様式1-1) ④活動報告書(任意提出) ⑤実技曲目記入用紙 ⑥声楽伴奏楽譜

※⑤および⑥は音楽領域で志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合に提出。

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大50点)」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」(本学所定様式)にて提出してください。最大50点を加点します。

(※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

〈1期・2期・3期・4期〉

コース	選抜方法① ^{*1}		選抜方法②		選抜方法③
声楽コース 鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン) 弦管打コース	専攻実技(約10分・200点)				
上記および プロフェッショナル アーティストコース以外のコース	小論文(50分・200点)	+	個人面接 ^{*2} (約10分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)

※1 詳細内容については、「選抜方法詳細1(音楽領域)」をご覧ください。

※2 調査書を参考資料とする。

総合型選抜

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

〈1期・2期・3期・4期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	小論文 ^{※1} (50分・200点)	+	個人面接 ^{※2} (約10分・100点)	+	プラスα加 点 (最大50点)

※1 「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

※2 調査書を参考資料とする。

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期・3期・4期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②
全コース	以下より、いずれか1つを選択	+	個人面接 ^{※4} (約10分・100点)
	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※1・2・5} (約10分・200点)		
	小論文 ^{※3} (50分・200点)		

※1 「自己作品持参によるプレゼンテーション」を選択する場合、3年以内に制作した作品のポートフォリオまたは3年以内に制作した作品(現物)2点程度を持参すること。

※2 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。

※3 「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

※4 調査書を参考資料とする。

※5 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期・3期・4期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②
全コース	以下より、いずれか1つを選択	+	個人面接 ^{※5} (約10分・100点)
	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※1・2・3・6} (約10分・200点)		
	小論文 ^{※4} (50分・200点)		

※1 「ファンデーション」および「先端メディア表現コース」で「自己作品持参によるプレゼンテーション」を選択する場合、3年以内に制作した5点以上の作品をポートフォリオ(A3またはA4サイズ)または作品(現物)で持参すること

※2 「文芸・ライティングコース」で「自己作品持参によるプレゼンテーション」を選択する場合、3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ、**事前提出**すること

※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。

※4 「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

※5 調査書を参考資料とする。

※6 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期・3期・4期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	小論文 ^{※1} (50分・200点)	+	個人面接 ^{※2} (約10分・100点)	+	プラスα加 点 (最大50点)

※1 「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

※2 調査書を参考資料とする。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期・3期・4期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	以下より、いずれか1つを選択	+	個人面接 ^{※3} (約10分・100点)	+	プラスα加 点 (最大50点)
	プレゼンテーション(10分以内)およびプレゼンテーションに関する質問等(約10分) ^{※1} (200点)				
	小論文 ^{※2} (50分・200点)				

※1 「プレゼンテーション」は、絵画、音楽表現、身体表現、読み聞かせ等自身の特技をプレゼンテーションする。

※2 「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

※3 調査書を参考資料とする。

【併願可】 実技・プレゼン・小論文型入学試験(1期・2期)

総合型選抜では、各学科・領域が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術・技能に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

【併願】実技・プレゼン・小論文型入学試験は、各学科・領域で設定している選抜内容により選抜を実施する「併願可」の入学試験方式です。学科・領域ごとに、指定された実技、作品プレゼンテーションおよび小論文と面接により評価を行います。また、一部の領域を除き、主体的な活動歴を評価するプラスα加点での評価を行います。

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2026年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願する者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム[TEL:0568-24-0318]まで電話でご連絡ください。

出願書類

①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書(様式1-1) ④活動報告書(任意提出) ⑤実技曲目記入用紙 ⑥声楽伴奏楽譜

※⑤および⑥は音楽領域で志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合に提出。

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大50点)」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」(本学所定様式)にて提出してください。最大50点を加点します。
(※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法① ^{*1}	選抜方法②	選抜方法③
声楽コース 鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン) 弦管打コース	専攻実技(約10分・200点)	+ 個人面接 ^{*2} (約10分・100点)	+ プラスα加点 (最大50点)
上記および プロフェッショナル アーティストコース以外のコース	小論文(50分・200点)		

※1 詳細内容については、「選抜方法詳細1(音楽領域)」をご覧ください。

※2 調査書を参考資料とする。

総合型選抜

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	小論文 ^{※1} (50分・200点)	+	個人面接 ^{※2} (約10分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)

※1 「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

※2 調査書を参考資料とする。

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②
全コース	以下より、いずれか1つを選択	+	個人面接 ^{※4} (約10分・100点)
	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※1・2・5} (約10分・200点)		
	小論文 ^{※3} (50分・200点)		

※1 「自己作品持参によるプレゼンテーション」を選択する場合、3年以内に制作した作品のポートフォリオまたは3年以内に制作した作品(現物)2点程度を持参すること。

※2 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。

※3 「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

※4 調査書を参考資料とする。

※5 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②
全コース	以下より、いずれか1つを選択	+	個人面接 ^{※5} (約10分・100点)
	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※1・2・3・6} (約10分・200点)		
	小論文 ^{※4} (50分・200点)		

※1 「ファンデーション」および「先端メディア表現コース」で「自己作品持参によるプレゼンテーション」を選択する場合、3年以内に制作した5点以上の作品をポートフォリオ(A3またはA4サイズ)または作品(現物)で持参すること

※2 「文芸・ライティングコース」で「自己作品持参によるプレゼンテーション」を選択する場合、3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ、**事前提出**すること

※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。

※4 「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

※5 調査書を参考資料とする。

※6 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	小論文 ^{※1} (50分・200点)	+	個人面接 ^{※2} (約10分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)

※1 「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

※2 調査書を参考資料とする。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	以下より、いずれか1つを選択	+	個人面接 ^{※3} (約10分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)
	プレゼンテーション(10分以内)およびプレゼンテーションに関する質問等(約10分) ^{※1} (200点)				
	小論文 ^{※2} (50分・200点)				

※1 「プレゼンテーション」は、絵画、音楽表現、身体表現、読み聞かせ等自身の特技をプレゼンテーションする。

※2 「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

※3 調査書を参考資料とする。

【併願可】基礎学力検査型入学試験(1期のみ)

総合型選抜では、各学科・領域が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術・技能に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

基礎学力検査型入学試験は、各学科・領域で設定している選抜内容により選抜を実施する「併願可」の入学試験方式です。

各学科・領域が求める基礎的な学力や理解度について、基礎学力検査および面接により評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2026年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者

(3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者

(4) 文部科学大臣が指定した者

(5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

(6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願する者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書(様式1-1) ④活動報告書(任意提出)

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大50点)」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」(本学所定様式)にて提出してください。最大50点を加点します。

(※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域、美術領域、デザイン領域、芸術教養領域 (1期のみ)

コース	選抜方法①	選抜方法②
全コース 音楽領域プロフェッショナルアーティストコースを除く	基礎学力検査(50分・200点) ※英語、数学、国語、公共、家庭、情報から出願時に2科目選択	個人面接* (約10分・100点)

+

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域 教育学部 子ども学科 (1期のみ)

コース	選抜方法①	選抜方法②	選抜方法③
全コース	基礎学力検査(50分・200点) ※英語、数学、国語、公共、家庭、情報から出願時に2科目選択	個人面接* (約10分・100点)	プラスα加点 (最大50点)

+

+

※ 調査書を参考資料とする。

〈基礎学力検査の出題範囲〉

「英語」: 英語コミュニケーションI 「数学」: 数学I 「国語」: 現代の国語、言語文化(古文・漢文は除く) 「家庭」: 家庭基礎 「情報」: 情報I

【併願可】 プロフェッショナルアーティスト入学試験(1期～3期)

声楽、鍵盤楽器、弦楽器、管楽器、打楽器、作曲の専攻実技の教授に特化し、将来、音楽家をを目指す学生を養成する「音楽領域プロフェッショナルアーティストコース」の選抜を行うための入学試験です。

なお、このプロフェッショナルアーティスト入学試験は「入学特待生S」「入学特待生A」および「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集学部・学科・領域・コース

芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコース

※声楽コース、鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)、弦管打コース、サウンドメディア・コンポジションコースを第2志望として選択が可能です。
(第2志望を選択した場合、2出願分の検定料がかかります。)

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2026年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣が指定した者
- (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
- (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③活動報告書 ④実技曲目記入用紙 ⑤声楽曲伴奏楽譜 ⑥事前提出作品 ⑦作品提出記入用紙

※④～⑦は対象専攻の選抜方法により提出を必要とする場合のみ。

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

(1期・2期・3期)

対象専攻	選抜方法①*	選抜方法②
声楽 鍵盤楽器 弦楽器、管楽器、打楽器	専門試験(指定課題曲の演奏)(200点)	+ 個人面接 (約20分・100点)
作曲	専門試験(作品提出および口頭で説明)(200点)	

※詳細内容については、「[選抜方法詳細2\(音楽領域\)](#)」(プロフェッショナルアーティスト入学試験)をご覧ください。

入学試験概要

【併願可】教育学部資格取得型特待入学試験(1期～3期)

実用英語技能検定2級以上、日本漢字能力検定2級以上、ITパスポートのいずれかの資格を取得している方を対象とした入試です。出願時には本学Webサイトから「教育学部資格取得報告書」を出力し、第三者より作成された証明できる書類やそのコピーを必ず併せて提出してください。

なお、教育学部 資格取得型特待入学試験は「入学特待生S」を選択する入学試験です。

入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。

(詳細は「特待生制度」を参照)

<特待生の目安とする基準>

入学特待生S

・実用英語技能検定2級^{※1}以上、日本漢字能力検定2級以上、ITパスポート^{※2} 保持者

※1 CEFRスコア B1相当以上でも可

※2 情報セキュリティマネジメント、基本情報技術者、応用情報技術者も可

募集学部・学科

教育学部 子ども学科

出願資格

下記の1および2～4のいずれかを満たす者

1. 実用英語技能検定2級以上、日本漢字能力検定2級以上、ITパスポートのいずれかの資格を取得しており、本学での学習に対して真摯に取り組むことができる者
2. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
3. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2026年3月修了見込みの者
4. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願する者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書(様式1-1) ④教育学部資格取得報告書

※第三者より作成された証明できる書類やそのコピーを必ず併せて提出。

選抜方法

教育学部 子ども学科

(1期・2期・3期)

コース	選抜方法
全コース	個人面接 [*] (約15分・100点)

※「個人面接」はオンライン受験も可能です。希望される場合は、インターネット出願時に試験場の選択で「オンライン」を選択してください。

※調査書を参考資料とする。

【併願可】 エキスパート入学試験

エキスパート入学試験とは、志願する学科・領域の教育を受けるために相応しい極めて卓越した知識や技能を身につけた優秀者を選抜する入学試験です。

なお、エキスパート入学試験は「入学特待生S」「入学特待生A」および「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。（詳細は「特待生制度」を参照）

募集学部・学科・領域・コース

芸術学部・芸術学科・全領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

- 日本国内における高等学校（中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む）を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
 - 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2026年3月修了見込みの者
 - 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - 専修学校の高等課程（修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - 文部科学大臣が指定した者
 - 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
 - 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
- ※(6)で出願しようとする場合は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム〔TEL:0568-24-0318〕まで申し出てください。
- 外国において、次のいずれかの資格を2024年または2025年に取得した者
 - スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から大学入学資格として認められている国際バカロレア資格
 - ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格または、インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格
 - 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③その他、個別提出書類

※③は各コースの選抜方法に記載

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

コース	選抜方法*
声楽コース	リサイタル形式のコンサートの実施 (300点)
鍵盤楽器コース (ピアノ・電子オルガン)	
弦管打コース	
ウインドアカデミーコース	
ポップス・ロック&パフォーマンスコース	2つ以上の音楽ジャンル作品を組み合わせた パフォーマンスの実施(30分程度・300点)
ダンスパフォーマンスコース	受験者自身がプロデュースしたパフォーマンスの実施 (30分程度・300点)
声優アクティングコース	
サウンドメディア・コンポジションコース	作品提出(合計30分程度)および口頭で説明 (15分程度・300点)
ミュージックエンターテインメント・ ディレクションコース	受験者自身が企画制作したプロジェクトの 報告書提出および口頭で説明 (15分・300点)
音楽ケアデザインコース	臨床即興演奏(3曲程度)および口頭で説明 (演奏20分+説明約10分・300点)
音楽総合コース	上記いずれか1つのコースの課題を選択(300点)

※ 詳細内容については、[「選抜方法詳細2（音楽領域）」](#)（エキスパート入学試験）をご覧ください。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	事業企画 (45分・100点)	+	資料作成(45分)および プレゼンテーション(約10分)(100点)	+	個人面接 (約15分・100点)

〈選抜方法詳細〉

選抜方法①は、企画のためのワークショップに参加し、グループあるいは個人で舞台芸術に関する事業を企画します。

※ワークショップのファシリテーターは教員が担当します。

※企画に向けた必要情報収集のための資料(紙媒体、情報機器端末*)、プレゼンテーション資料作成のための情報機器端末*の持ち込みを許可します。

(注意: ネットワーク接続環境および電源は大学のものを使用できませんので各自準備すること)

選抜方法②は、①で企画した内容の資料を作成しプレゼンテーションをします。

※プレゼンテーションでパソコンからデータを出力する場合は、プロジェクターとスクリーンを本学で用意します。

※プレゼンテーション資料を紙媒体で作成する場合は、ペンとスケッチブック等を本学で用意します。

〈選抜ポイント〉

選抜方法①では、コミュニケーションを取りながらリーダーシップを発揮したり、チーム内の調整を図ったりする能力、論理的かつ独創的な思考、他者や社会全般に対する理解力や創造力を重視します。

選抜方法②では、考えたことをわかりやすくまとめ、論理的に表現する力を重視します。

選抜方法③では、批判的思考で自己を見つめる力を重視します。

〈試験当日持参物〉

①受験票 ②筆記用具 ③情報収集、資料作成に必要な資料および情報機器端末*(任意)

* 情報機器端末: パソコン、タブレット、スマートフォン等

総合型選抜

芸術学部 芸術学科 美術領域

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	小論文(800字程度) (60分・100点)	+	基礎デッサン (180分・100点)	+	自己作品持参によるプレゼンテーションおよび個人面接 (約20分・100点)

〈選抜方法詳細〉

選抜方法①は、美術に関する設問

選抜方法②のモチーフは1点

選抜方法③は、3年以内に制作した自己作品3点を当日持参すること。また、3年以内に制作した作品のポートフォリオを出願時に提出すること。

〈選抜ポイント〉

各選抜方法で判定された内容を総合的に判断して評価を行います。

選抜方法①は、美術を学ぶための知識と意欲が備わっているか。

選抜方法②は、基礎的な技術を備え、自分の考えを効果的に描写するための表現力が備わっているか。

選抜方法③は、作品制作や制作への想いについて、説得力のある内容であるか。また、美術に関する制作や研究に対して目標意識や熱意を持っているか。

〈試験当日持参物〉

①受験票 ②筆記用具 ③描画用具一式 ④自己作品3点 ⑤ポートフォリオ

※デッサンの画用紙は本学で用意します。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	大学入学志望理由書 (50点)	+	デザインに関する講義聴講による課題 (270分・150点)	+	自己作品持参によるプレゼンテーション および個人面接 (約30分・100点)

〈個別提出書類〉

大学入学志望理由書(任意様式)

〈選抜方法詳細〉

選抜方法①は、A4用紙3枚程度を出願書類提出時に提出すること。

選抜方法②は、講義を聴き、それに基づいた考え方や提案を図や言葉で表現します。

選抜方法③は、3年以内に制作した作品のポートフォリオ(A3またはA4サイズ)を当日持参すること。

※ポートフォリオは対外的な活動報告をより重視します。

〈選抜ポイント〉

選抜方法①では、これまでの活動(制作物や社会活動など)、本学の明確な志望理由として、本学の特徴を理解し、入学後の大学生活で実現してみたいこと、身につけたいこと、卒業後のビジョンが示されているかを判断します。

選抜方法②では、講義内容の理解力、要約力、問題発見力、問題解決能力を判断します。

選抜方法③では、自分の考えや制作物に込められた意図を相手に伝えるためのプレゼンテーション能力を判断します。

〈試験当日持参物〉

①受験票 ②筆記用具 ③ポートフォリオ

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

コース	選抜方法①		選抜方法②
リベラルアーツコース	レポート (講義受講(20分) + 文章読解(20分) + レポート作成1000字程度(60分) (200点)	+	プレゼンテーション (発表後の質疑応答含め 1名20分)(100点)

〈選抜方法詳細〉

選抜方法①の「講義受講」「文章読解」では、日本の大学を志す受験者として相応しい基礎学力と日本語の読解力・聞き取り力をみることを想定しています。日本の高校までの教育で身につけるべき語彙や基礎学力を備えていれば理解可能な講義内容や、読解可能な文章です。

選抜方法②の「プレゼンテーション」では、レポートの内容をわかりやすく整理した上で、聞き手に正しく理解してもらえるように的確に説明できるかどうかをみることを想定しています。

〈選抜ポイント〉

選抜方法①の「講義受講」「文章読解」では、複雑な物事を把握する力、「レポート作成」では、自分の頭で考え独創的に発想し、それを表現する力をそれぞれ重視します。

選抜方法②では、プレゼンテーションにおける表現力を重視します。

〈試験当日持参物〉

①受験票 ②筆記用具

【併願可】 オンライン入学試験 (1期・2期)

オンライン入学試験は、総合型選抜1期、2期において、**芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域、芸術教養領域**および**教育学部 子ども学科**の志願者のみを対象として、オンライン(Web面接ツール)で個人面接を実施する入学試験です。(来学不要)

オンライン環境が整っていればご自宅でも所属学校でも、オンライン個人面接を受けていただく場所は問いませんが、いずれも個室(受験者おひとりしかいない部屋・室)かつ静かな環境であることが求められます。所属学校でオンライン面接を受験する場合、必ず受験者本人が所属学校の先生の許可を得てください。

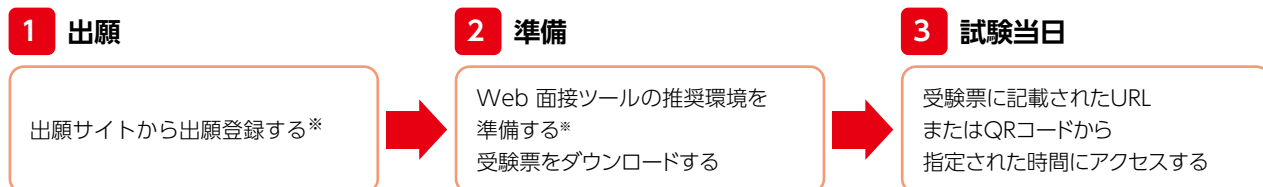
この方式は、個人面接のほか、企画書または事前課題型小論文と主体的な活動歴を評価するプラスα加点での評価を行います。

企画書または事前課題型小論文は、学科・領域ごとに指定された課題を、出願書類とともに提出していただきます。

募集学部・学科・領域

芸術学部 芸術学科
舞台芸術領域
芸術教養領域
教育学部 子ども学科

オンライン入学試験のながれ



※ Web 面接ツールの推奨環境については、本学 Web ページをご確認ください。

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

- 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
- 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2026年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - 文部科学大臣が指定した者
 - 文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
 - 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

※ (6) で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書(様式1-1) ④活動報告書(任意提出) ⑤企画書または事前課題型小論文

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大50点)」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」(本学所定様式)にて提出してください。最大50点を加点します。

(※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

選抜方法

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	舞台芸術に関する企画書(200点)	+	本学面接担当者によるオンライン個人面接 ^{※1・2} (約10分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)

※1 個人面接において、カメラ付きの端末(PC又はスマートフォン)とインターネット接続環境が必要となります。(Web面接ツールはブラウザ型システムのためアプリのダウンロード不要)

※2 調査書を参考資料とする。

●舞台芸術に関する企画書(事前提出)

次の課題内容について、市販の400字づめ原稿用紙にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期〉

文部科学省と気象庁が2025年3月に発表した「日本の気候変動2025 大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書」によれば、今後ますます地球温暖化が進み、その結果、気温の上昇などの気候変動が続く予測が立てられている。

このような背景に鑑み、あなただったら環境問題をテーマとした舞台芸術を創出する場合、どのような企画を立案しますか。環境問題に対して問題提起ができるようなアイデアをフォーマット①～⑧に基づき作成しなさい。

※参考にした文献資料・新聞記事・サイトがある場合は、出典を最後に記載してください。

【舞台芸術企画書フォーマット】

- ①企画タイトル(10～20字程度)
- ②企画の目的・背景(200～300字程度)
- ③コンセプト(100～200字程度)
- ④公演の概要(400～600字程度)
- ⑤実施場所・対象・時期(200～300字程度)
- ⑥独自性・意義(200～300字程度)
- ⑦実施に向けた課題と対応(150～300字程度)
- ⑧まとめ(100～150字程度)

〈2期〉

情報リテラシーとは、情報を適切に収集、理解し、それらを有効に活用する能力のことである。情報リテラシーを正しく備えることによって、自分に必要な正しい情報を得ることができ、また、得た情報を他者に伝えることができる。しかしながら、現代社会では、全ての人々に情報リテラシーが備わっているとは言い難い。例えば風評被害の拡散やSNSでの個人情報漏洩などは、情報リテラシー不足のために起きてしまった事例である。

このような背景に鑑み、あなただったら情報リテラシー教育をテーマとした舞台芸術を創出する場合、どのような企画を立案しますか。情報リテラシー教育に対して問題提起ができるようなアイデアをフォーマット①～⑧に基づき作成しなさい。

※参考にした文献資料・新聞記事・サイトがある場合は出典を最後に記載してください。

【舞台芸術企画書フォーマット】

- ①企画タイトル(10～20字程度)
- ②企画の目的・背景(200～300字程度)
- ③コンセプト(100～200字程度)
- ④公演の概要(400～600字程度)
- ⑤実施場所・対象・時期(200～300字程度)
- ⑥独自性・意義(200～300字程度)
- ⑦実施に向けた課題と対応(150～300字程度)
- ⑧まとめ(100～150字程度)

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	事前課題型小論文(200点)	+	本学面接担当者によるオンライン個人面接 ^{※1・2} (約10分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)

※1 個人面接において、カメラ付きの端末(PC又はスマートフォン)とインターネット接続環境が必要となります。(Web面接ツールはブラウザ型システムのためアプリのダウンロード不要)

※2 調査書を参考資料とする。

●事前課題型小論文

次の課題内容について、市販の400字づめ原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

現代社会には絵画、彫刻、音楽、マンガ、映画、演劇など多数の分野の芸術作品があります。芸術の表現形態や作品について、本領域のアドミッションポリシーもふまえ、次の設問に回答してください。

- 1) あなた自身がこれからの社会で重要だと考える表現形態もしくは具体的な作品のうち、最も関心があるもの一つについて、その内容および、それが重要だと考える理由を説明してください(300字程度)。
- 2) 1) で説明した表現形態もしくは作品について、2名以上(家族、友人など)とディスカッションし、そのディスカッションの内容を文章でまとめてください(450字程度)。
- 3) 上記の2名以上の人々について、個人が特定されない範囲で、どのような人か簡単に説明してください。(50字程度)。

総合型選抜

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	事前課題型小論文(200点)	+	本学面接担当者によるオンライン個人面接 ^{*1・2} (約10分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)

※1 個人面接において、カメラ付きの端末(PC又はスマートフォン)とインターネット接続環境が必要となります。(Web面接ツールはブラウザ型システムのためアプリのダウンロード不要)

※2 調査書を参考資料とする。

●事前課題型小論文

次の課題内容について、市販の400字づめ原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

子どもは、家庭や保育所、幼稚園、小学校など、さまざまな環境に身を置きながら、仲間や友達と共に、学習や遊び、日々の生活を通して育ちます。家庭や保育所、幼稚園、小学校、それ以外の立場から子どもの保育・教育に関わる大人のいずれも、子どもの育ちを支え、成長や発達を促していくという点は変わりありません。そして、教員や保育者は、集団や仲間・友達関係における関わりあう力を育てつつ、子ども一人一人の望ましい育ちを促します。

そこで、子どもに関わる大人の一人として、子ども同士の友達関係における関わりあいを豊かにするには、どのように子どもと接すればよいと考えますか。教員・保育者・ボランティアスタッフとしてなど、自分の立場を想定し、明確に示したうえで、自身の経験や知識などを踏まえ、考えを述べなさい。

入学試験概要

【併願可】 一般推薦入学試験

この入学試験は、在卒学校の推薦に基づき、課題や作品および面接や書類審査によって、基本となる学びに対する姿勢やその適性に関する評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、一般推薦入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。（詳細は「特待生制度」を参照）

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

美術領域では、Ⅰ類～Ⅳ類に分類された各コースにおいて、第1志望と異なる他類のコースを第2志望として選択が可能です。（第1志望のみでも構いません。）〈例〉 第1志望：現代アートコース（Ⅱ類） 第2志望：工芸コース（Ⅲ類）

美術領域 分類

（Ⅰ類：日本画コース、Ⅱ類：洋画コース、現代アートコース、Ⅲ類：コミュニケーションアートコース、工芸コース、Ⅳ類：美術総合コース）

（第2志望を選択した場合、2出願分の検定料がかかります。）

出願資格

1. 日本国内における高等学校（中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む）を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者で、学業成績優良で出身学校長の推薦を受けた者（卒業見込み・既卒は問わない）
2. 本学が提示した推薦基準を満たす者

推薦基準

学部・学科・領域		全体の学習成績の状況（5段階評価）
芸術学部 芸術学科	音楽領域	問わない
	舞台芸術領域	3.0以上
	美術領域	問わない
	デザイン領域	3.3以上
	芸術教養領域	3.0以上
教育学部 子ども学科		3.0以上

※10段階評価の場合は5段階に換算します。

※卒業見込み者は最終学年の1学期または前期までのもの。既卒者は高等学校最終学年までの全体平均値を対象とします。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③推薦書 ④大学入学志望理由書（様式1-1） ⑤活動報告書（任意提出）
 ⑥実技曲目記入用紙 ⑦作品提出記入用紙 ⑧声楽曲伴奏楽譜 ⑨事前提出作品
 ※⑥～⑨は音楽領域で志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合に提出。

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα（最大50点）」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」（本学所定様式）にて提出してください。最大50点を加点します。

（※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください）

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

類	コース	選抜方法① ^{※1}	選抜方法②	選抜方法③
Ⅰ類	声楽コース	専門試験〔専攻実技〕(約10分・200点)	+ 個人面接 ^{※3} (約10分・100点)	+ プラスα加点 (最大50点)
	鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)			
	弦管打コース			
Ⅱ類	ウインドアカデミーコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択		
		・指定実技〔楽器演奏〕(約10分・200点)		
		・指定実技〔指揮実技〕(約10分・200点)		
		・基礎学力検査 ^{※2} (50分・200点)		
		・小論文(50分・200点)		
	ポップス・ロック& パフォーマンスコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択		
		・指定実技〔楽器演奏〕(約10分・200点)		
		・指定実技〔ヴォーカル〕(約10分・200点)		
		・基礎学力検査 ^{※2} (50分・200点)		
		・小論文(50分・200点)		
Ⅲ類	ダンスパフォーマンスコース	専門試験 指定実技〔ダンスパート〕(約10分・200点)		
	声優アクティングコース	専門試験 指定実技〔表現力〕(約10分・200点)		
Ⅳ類	サウンドメディア・ コンポジションコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択		
		・指定課題〔事前提出作品〕(200点)		
		・基礎学力検査 ^{※2} (50分・200点)		
		・小論文(50分・200点)		
	ミュージックエンターテインメント・ ディレクションコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択		
		・基礎学力検査 ^{※2} (50分・200点)		
		・小論文(50分・200点)		
	音楽ケアデザインコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択		
		・指定課題〔歌唱〕(約10分・200点)		
		・指定課題〔楽器演奏〕(約10分・200点)		
		・基礎学力検査 ^{※2} (50分・200点)		
		・小論文(50分・200点)		
	音楽総合コース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択		
		・指定課題〔歌唱〕(約10分・200点)		
		・指定課題〔楽器演奏〕(約10分・200点)		
		・指定課題〔事前提出作品〕(200点)		
		・基礎学力検査 ^{※2} (50分・200点)		
		・小論文(50分・200点)		

※1 詳細内容については、「[選抜方法詳細1 \(音楽領域\)](#)」をご覧ください。

※2 「基礎学力検査」は「英語」「数学」「国語」から出願時に2科目選択

※3 調査書を参考資料とする。

〈基礎学力検査の出題範囲〉

「英語」：英語コミュニケーションⅠ 「数学」：数学Ⅰ 「国語」：現代の国語、言語文化（古文・漢文は除く）

学校推薦型選抜

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	基礎学力検査(50分・200点) ※英語、数学、国語から出願時に2科目選択	+	個人面接 [※] (約10分・100点)	+	プラスα加 点 (最大50点)

※調査書を参考資料とする。

〈基礎学力検査の出題範囲〉

「英語」：英語コミュニケーションI 「数学」：数学I 「国語」：現代の国語、言語文化（古文・漢文は除く）

芸術学部 芸術学科 美術領域

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	以下より、いずれか1つを選択	+	個人面接 ^{※2} (約10分・100点)	+	プラスα加 点 (最大50点)
	・実技(鉛筆デッサン) ^{※1} (3時間・200点)				
	・基礎学力検査(50分・200点) ※英語、数学、国語から出願時に 2科目選択				

※1 「実技試験」選択者は、実技で使用する描画用具一式を持参すること。なお、実技試験で使用する画用紙(65×50cm)、およびカルトンは
本学で用意します。

※2 「個人面接」の資料として、ポートフォリオ等、自己アピール資料があれば持参可。調査書を参考資料とする。

〈基礎学力検査の出題範囲〉

「英語」：英語コミュニケーションI 「数学」：数学I 「国語」：現代の国語、言語文化（古文・漢文は除く）

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
ファンデーション	以下より、いずれか1つを選択				
	・鉛筆デッサン ^{※1} (3時間・200点)				
	・基礎学力検査(50分・200点) ※英語、数学、国語から出願時に2科目選択				
先端メディア表現コース	以下より、いずれか1つを選択	+	個人面接 ^{※4} (約10分・100点)	+	プラスα加 点 (最大50点)
	・構想表現テスト ^{※2} (作品制作:3時間+プレゼンテーション ^{※5} :10分・200点)				
	・基礎学力検査(50分・200点) ※英語、数学、国語から出願時に2科目選択				
文芸・ライティングコース	以下より、いずれか1つを選択				
	・文章表現テスト ^{※3} (3時間・200点)				
	・基礎学力検査(50分・200点) ※英語、数学、国語から出願時に2科目選択				

※1 「鉛筆デッサン」は、実技で使用するデッサン用具一式を持参すること。なお、実技で使用する用紙は本学で用意します。

※2 「構想表現テスト」は、与えられたテーマに対してアイデアを構想し、作品を制作します。その内容をプレゼンテーションでわかりやすく伝える表
現力を問うものです。

※3 「文章表現テスト」は、与えられた課題に基づき、文章による作品を創作する試験です。筆記用具を持参してください。

※4 「個人面接」の資料として、ポートフォリオ、自己アピール資料があれば持参可。調査書を参考資料とする。

※5 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

〈基礎学力検査の出題範囲〉

「英語」：英語コミュニケーションI 「数学」：数学I 「国語」：現代の国語、言語文化（古文・漢文は除く）

学校推薦型選抜

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	基礎学力検査(50分・200点) ※英語、数学、国語から出願時に2科目選択	+	個人面接* (約10分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)

※調査書を参考資料とする。

〈基礎学力検査の出題範囲〉

「英語」：英語コミュニケーションI 「数学」：数学I 「国語」：現代の国語、言語文化（古文・漢文は除く）

教育学部 子ども学科

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	基礎学力検査(50分・200点) ※英語、数学、国語から出願時に2科目選択	+	個人面接* (約10分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)

※調査書を参考資料とする。

〈基礎学力検査の出題範囲〉

「英語」：英語コミュニケーションI 「数学」：数学I 「国語」：現代の国語、言語文化（古文・漢文は除く）

入学試験概要

【併願可】 一般入学試験(1期・2期)

この入学試験は、高等学校等でこれまで身につけてきたスキルや学力について、実技や作品、学力試験や面接などを通じて、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、一般入学試験1期は「入学特待生A」および「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

1期・2期とも「学科試験」を選択する場合、学科・領域間の学内併願が可能です。

なお、「**個人面接**」を実施する領域(音楽領域、美術領域、デザイン領域)と実施しない学科・領域(舞台芸術領域、芸術教養領域、子ども学科)を併願する場合は、「**個人面接**」を実施するいずれかの領域で「**個人面接**」を受験していただきます。

〈例〉「**音楽領域**」と「**芸術教養領域**」を併願する場合、「**個人面接**」は音楽領域として受験。

(※複数の学科・領域に出願した場合、件数分の検定料がかかります。)

美術領域では、Ⅰ類～Ⅳ類に分類された各コースにおいて、第1志望と異なる他類のコースを第2志望として選択が可能です。(第1志望のみでも構いません。) 〈例〉 第1志望:現代アートコース(Ⅱ類) 第2志望:工芸コース(Ⅲ類)

美術領域 分類

(Ⅰ類:日本画コース、Ⅱ類:洋画コース、現代アートコース、Ⅲ類:コミュニケーションアートコース、工芸コース、Ⅳ類:美術総合コース)

(第2志望を選択した場合、2出願分の検定料がかかります。)

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2026年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

①出願確認票 ②調査書

③実技曲目記入用紙 ④作品提出記入用紙 ⑤声楽曲伴奏楽譜 ⑥事前提出作品

※③～⑥は音楽領域で志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合に提出。

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

〈1期・2期〉

類	コース	選抜方法① ^{※1}	選抜方法②
Ⅰ類	声楽コース	専門試験(専攻実技(約10分・200点))	+ 個人面接 (約10分・100点)
	鍵盤楽器コース (ピアノ・電子オルガン)		
	弦管打コース		
Ⅱ類	ウインドアカデミー コース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
		・指定実技[楽器演奏](約10分・200点)	
		・指定実技[指揮実技](約10分・200点)	
		・小論文(50分・200点)	
		・学科試験 ^{※2} (100分・200点)	
	ポップス・ロック& パフォーマンスコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
		・指定実技[楽器演奏](約10分・200点)	
		・指定実技[ヴォーカル](約10分・200点)	
		・小論文(50分・200点)	
		・学科試験 ^{※2} (100分・200点)	
Ⅲ類	ダンスパフォーマンス コース	専門試験 指定実技[ダンスパート](約10分・200点)	
	声優アクティング コース	専門試験 指定実技[表現力](約10分・200点)	
Ⅳ類	サウンドメディア・ コンポジションコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
		・指定課題[事前提出作品](200点)	
		・小論文(50分・200点)	
		・学科試験 ^{※2} (100分・200点)	
	ミュージック エンターテインメント・ ディレクションコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
		・小論文(50分・200点)	
		・学科試験 ^{※2} (100分・200点)	
	音楽ケアデザイン コース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
		・指定課題[歌唱](約10分・200点)	
		・指定課題[楽器演奏](約10分・200点)	
		・小論文(50分・200点)	
	音楽総合コース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
		・指定課題[歌唱](約10分・200点)	
		・指定課題[楽器演奏](約10分・200点)	
		・指定課題[事前提出作品](200点)	
		・小論文(50分・200点)	
		・学科試験 ^{※2} (100分・200点)	

※1 詳細内容については、「[選抜方法詳細1（音楽領域）](#)」をご覧ください。

※2 「学科試験」の1期は「英語^{※3}」「数学」「国語」「歴史」「情報」から2教科当日選択受験、2期は「英語^{※3}」「数学」「国語」から2教科当日選択受験

※3 「学科試験」の「英語」は、本学CEFR(セファール)基準のスコア提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

〈学科試験の出題範囲〉

「英語」:英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ 「数学」:数学Ⅰ、数学A 「国語」:現代の国語、言語文化(漢文は除く)

「歴史」:歴史総合、日本史探究または、歴史総合、世界史探究 「情報」:情報Ⅰ

一般選抜

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

〈1期〉

コース	選抜方法
全コース	学科試験〔英語 [※] 、数学、国語、歴史、情報から2教科当日選択受験〕(100分・200点)

〈2期〉

コース	選抜方法
全コース	学科試験〔英語 [※] 、数学、国語から2教科当日選択受験〕(100分・200点)

※「学科試験」の「英語」は、本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)

CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

〈学科試験の出題範囲〉

〔英語〕：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ 〔数学〕：数学Ⅰ、数学A 〔国語〕：現代の国語、言語文化（漢文は除く）
〔歴史〕：歴史総合、日本史探究または、歴史総合、世界史探究 〔情報〕：情報Ⅰ

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期〉

コース	選抜方法①	選抜方法②
全コース	専門試験(以下より、いずれか1つを選択) ・実技試験(鉛筆デッサン) ^{※1} (3時間・200点) ・学科試験〔英語 ^{※2} 、数学、国語、歴史、情報から2教科当日選択受験〕(100分・200点)	個人面接 ^{※3} (約10分・100点)

※1 「実技試験」選択者は、実技で使用する描画用具一式を持参すること。なお、実技試験で使用する画用紙(65×50cm)、およびカルトンは本学で用意します。

※2 「学科試験」の「英語」は本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)
CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

※3 「個人面接」の資料としてポートフォリオ等、自己アピール資料があれば持参可。

〈2期〉

コース	選抜方法①	選抜方法②
全コース	専門試験(以下より、いずれか1つを選択) ・自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※1・2・3・4・5・6} (約10分・200点) ・学科試験〔英語 ^{※7} 、数学、国語から2教科当日選択受験〕(100分・200点)	個人面接 ^{※8} (約10分・100点)

※1 日本画コース、洋画コースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサン等いずれも可。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。

※2 コミュニケーションアートコース、工芸コース、美術総合コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による3年以内に制作した作品を2点以上を持参すること。

※3 現代アートコースの「自己作品」は、絵画、彫刻、立体、写真、映像、サウンド、パフォーマンス、ドローイング、デッサン、テキスト、アニメーション、CG、テキスタイル、その他など、扱うメディアや素材は問わない。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。

※4 持参する作品は、受験生が自身で搬入できるサイズに限る。自身で搬入できない場合は、ポートフォリオを持参すること。

※5 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。

※6 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

※7 「学科試験」の「英語」は本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)
CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

※8 「個人面接」の資料としてポートフォリオ等、自己アピール資料があれば持参可。

〈学科試験の出題範囲〉

〔英語〕：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ 〔数学〕：数学Ⅰ、数学A 〔国語〕：現代の国語、言語文化（漢文は除く）
〔歴史〕：歴史総合、日本史探究または、歴史総合、世界史探究 〔情報〕：情報Ⅰ

一般選抜

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期〉

コース	選抜方法①	選抜方法②
ファンデーション	専門試験(以下より、いずれか1つを選択)	+ 個人面接 (約10分・100点)
	・「鉛筆デッサン」※ ¹ (3時間・200点)	
	・学科試験〔英語※ ⁴ 、数学、国語、歴史、情報から2教科当日選択受験〕(100分・200点)	
先端メディア表現コース	専門試験(以下より、いずれか1つを選択)	
	・「構想表現テスト」※ ^{2・5} (作品制作:3時間+プレゼンテーション:10分・200点)	
	・学科試験〔英語※ ⁴ 、数学、国語、歴史、情報から2教科当日選択受験〕(100分・200点)	
文芸・ライティングコース	専門試験(以下より、いずれか1つを選択)	
	・「文章表現テスト」※ ³ (3時間・200点)	
	・学科試験〔英語※ ⁴ 、数学、国語、歴史、情報から2教科当日選択受験〕(100分・200点)	

- ※1 「鉛筆デッサン」は、実技で使用するデッサン用具一式を持参すること。なお、実技で使用する用紙は本学で用意します。
- ※2 「構想表現テスト」は、与えられたテーマに対してアイデアを構想し、作品を制作します。その内容をプレゼンテーションでわかりやすく伝える表現力を問うものです。
- ※3 「文章表現テスト」は、与えられた課題に基づき、文章による作品を創作する試験です。
- ※4 「学科試験」の「英語」は本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照) CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。
- ※5 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

〈2期〉

コース	選抜方法①	選抜方法②
全コース	専門試験(以下より、いずれか1つを選択)	+ 個人面接 (約10分・100点)
	・自己作品持参によるプレゼンテーション※ ^{1・2・3・5} (約10分・200点)	
	・学科試験〔英語※ ⁴ 、数学、国語から2教科当日選択受験〕(100分・200点)	

- ※1 「ファンデーション」および「先端メディア表現コース」で「自己作品持参によるプレゼンテーション」を選択する場合、3年以内に制作した5点以上の作品をポートフォリオ(A3またはA4サイズ)または作品(現物)で持参すること
- ※2 「文芸・ライティングコース」で「自己作品持参によるプレゼンテーション」を選択する場合、3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ、事前提出すること
- ※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。
- ※4 「学科試験」の「英語」は本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照) CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。
- ※5 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

〈学科試験の出題範囲〉

「英語」: 英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 論理・表現Ⅰ 「数学」: 数学Ⅰ, 数学A 「国語」: 現代の国語、言語文化(漢文は除く)
「歴史」: 歴史総合, 日本史探究または、歴史総合, 世界史探究 「情報」: 情報Ⅰ

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期〉

コース	選抜方法
リベラルアーツコース	学科試験〔英語 [*] 、数学、国語、歴史、情報から2教科当日選択受験〕(100分・200点)

〈2期〉

コース	選抜方法
リベラルアーツコース	学科試験〔英語 [*] 、数学、国語から2教科当日選択受験〕(100分・200点)

※「学科試験」の「英語」は、本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)
CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

〈学科試験の出題範囲〉

〔英語〕：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ 〔数学〕：数学Ⅰ、数学A 〔国語〕：現代の国語、言語文化（漢文は除く）
〔歴史〕：歴史総合、日本史探究または、歴史総合、世界史探究 〔情報〕：情報Ⅰ

選抜方法

教育学部 子ども学科

〈1期〉

コース	選抜方法
全コース	学科試験〔英語 [*] 、数学、国語、歴史、情報から2教科当日選択受験〕(100分・200点)

〈2期〉

コース	選抜方法
全コース	学科試験〔英語 [*] 、数学、国語から2教科当日選択受験〕(100分・200点)

※「学科試験」の「英語」は、本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)
CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

〈学科試験の出題範囲〉

〔英語〕：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ 〔数学〕：数学Ⅰ、数学A 〔国語〕：現代の国語、言語文化（漢文は除く）
〔歴史〕：歴史総合、日本史探究または、歴史総合、世界史探究 〔情報〕：情報Ⅰ

【併願可】 大学入学共通テスト利用入学試験(1期～3期)

この入学試験は、各学科・領域が求める基礎的な学力や理解度について、主に大学入学共通テストの結果により評価を行います。個別学力検査の実施はありません。(来学は不要です。)各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

1期・2期・3期とも学科・領域間の学内併願が可能です。(科目が指定されている場合は当該科目の受験が必要となります。)
(※複数の学科・領域に出願した場合、件数分の検定料がかかります。)

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者で、「令和8年度大学入学共通テスト」の教科(科目)で、本学が指定した教科(科目)を受験した者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2026年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣が指定した者
- (5) 文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
- (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票(令和8年度共通テスト成績請求チケット(私立大学用)を貼付) ②調査書

本学が利用する大学入学共通テスト科目一覧

以下の科目を利用します。

※過年度の大学入試センター試験や大学入学共通テストの成績は利用できません。

【表1】

教科	科目
国語	①国語(近代以降の文章) ②国語(古典:古文・漢文)
地理歴史	③地理総合、地理探究 ④歴史総合、日本史探究 ⑤歴史総合、世界史探究 ⑥地理総合/歴史総合/公共
公民	⑦公共、倫理 ⑧公共、政治・経済
数学	⑨数学Ⅰ、数学A ⑩数学Ⅰ ⑪数学Ⅱ、数学B、数学C
理科	⑫物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎 ⑬物理 ⑭化学 ⑮生物 ⑯地学
外国語	⑰英語(リーディング) ⑱英語(リスニング) ⑲ドイツ語 ⑳フランス語 ㉑中国語 ㉒韓国語
情報	㉓情報Ⅰ

※①国語(近代以降の文章)と②国語(古典:古文・漢文)はそれぞれ別の科目として独自に設定しています。

※①～③の科目はそれぞれ100点に換算します。

※⑰英語(リーディング)と⑱英語(リスニング)はそれぞれ別の科目として独自に設定しています。

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

(1期・2期・3期)

コース	選抜方法
全コース	【表1】の①～③の中から高得点の3科目*を採用(300点)

※【表1】④の理科基礎科目は2科目受験の合計点で1科目とみなします。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

(1期・2期・3期)

コース	選抜方法
全コース	以下より、いずれか1つを選択
	・4科目受験型 (400点) ③国語〔近代以降の文章、古典:古文・漢文〕(100点) ④数学〔数学Ⅰ、数学Aまたは数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学B、数学C〕(100点) ⑤外国語(100点) ※英語選択者はリーディング(50点)＋リスニング(50点) ⑥地理歴史、公民、理科、情報から高得点1教科1科目(100点) ※理科基礎科目は2科目受験の合計点で1科目とみなします。
	・2科目受験型 (200点) 以下の③～⑥のうち、高得点の1～2教科2科目を採用 ③国語〔近代以降の文章〕(100点) ⑥国語〔古典:古文・漢文〕(100点) ④英語〔リーディング〕(100点) ⑤英語〔リスニング〕(100点) ⑦数学〔数学Ⅰ、数学A または 数学Ⅰ〕(100点) ⑧数学〔数学Ⅱ、数学B、数学C〕(100点)

芸術学部 芸術学科 美術領域

(1期・2期・3期)

コース	選抜方法
全コース	【表1】の①～③の中から高得点の3科目*を採用(300点)

※【表1】④の理科基礎科目は2科目受験の合計点で1科目とみなします。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

(1期・2期・3期)

コース	選抜方法
全コース	【表1】の①～③の中から高得点の3科目*を採用(300点)

※【表1】④の理科基礎科目は2科目受験の合計点で1科目とみなします。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

(1期・2期・3期)

コース	選抜方法
リベラルアーツコース	以下より、いずれか1つを選択
	・4科目受験型 (400点) ③国語〔近代以降の文章、古典:古文・漢文〕(100点) ④数学〔数学Ⅰ、数学Aまたは数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学B、数学C〕(100点) ⑤外国語(100点) ※英語選択者はリーディング(50点)＋リスニング(50点) ⑥地理歴史、公民、理科、情報から高得点1教科1科目(100点) ※理科基礎科目は2科目受験の合計点で1科目とみなします。
	・2科目受験型 (200点) 以下の③～⑥のうち、高得点の1～2教科2科目を採用 ③国語〔近代以降の文章〕(100点) ⑥国語〔古典:古文・漢文〕(100点) ④英語〔リーディング〕(100点) ⑤英語〔リスニング〕(100点) ⑦数学〔数学Ⅰ、数学A または 数学Ⅰ〕(100点) ⑧数学〔数学Ⅱ、数学B、数学C〕(100点)

教育学部 子ども学科

(1期・2期・3期)

コース	選抜方法
全コース	以下より、いずれか1つを選択
	・4科目受験型 (400点) ③国語〔近代以降の文章、古典:古文・漢文〕(100点) ④数学〔数学Ⅰ、数学Aまたは数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学B、数学C〕(100点) ⑤外国語(100点) ※英語選択者はリーディング(50点)＋リスニング(50点) ⑥地理歴史、公民、理科、情報から高得点1教科1科目(100点) ※理科基礎科目は2科目受験の合計点で1科目とみなします。
	・2科目受験型 (200点) 以下の③～⑥のうち、高得点の1～2教科2科目を採用 ③国語〔近代以降の文章〕(100点) ⑥国語〔古典:古文・漢文〕(100点) ④英語〔リーディング〕(100点) ⑤英語〔リスニング〕(100点) ⑦数学〔数学Ⅰ、数学A または 数学Ⅰ〕(100点) ⑧数学〔数学Ⅱ、数学B、数学C〕(100点)

※1期4科目受験型は「教育学部 大学入学共通テスト利用型特待入学試験」の併願も可能です。

【併願可】 教育学部大学入学共通テスト利用型特待入学試験

教育学部 大学入学共通テスト利用型特待入学試験とは、大学入学共通テストの結果により、優秀者を選抜する入学試験です。

なお、教育学部 大学入学共通テスト利用型特待入学試験は「入学特待生S」「入学特待生A」および「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。

(詳細は「特待生制度」を参照)

<特待生の目安となる基準>

入学特待生S	
・ 令和8年度大学入学共通テスト(選抜方法に記載された対象科目)	合計得点7割以上 (420点以上)
入学特待生A	
・ 令和8年度大学入学共通テスト(選抜方法に記載された対象科目)	合計得点6割以上 (360点以上)
入学特待生B	
・ 令和8年度大学入学共通テスト(選抜方法に記載された対象科目)	合計得点5割以上 (300点以上)

募集学部・学科

教育学部 子ども学科

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者で、「令和8年度大学入学共通テスト」の教科(科目)で、本学が指定した教科(科目)を受験した者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2026年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願しようとする場合は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム〔TEL:0568-24-0318〕まで申し出てください。

出願書類

①大学入学志望理由書(様式1-1) ②出願確認票(令和8年度共通テスト成績請求チケット(私立大学用)を貼付) ③調査書

選抜方法

教育学部 子ども学科

コース	選抜方法
全コース	令和8年度大学入学共通テスト 〔「国語」「数学」「外国語」「地理歴史、公民、理科、情報」〕 (600点)

〈選抜方法詳細〉

選抜方法は、令和8年度大学入学共通テストにおいて、以下の教科・科目の受験が必須となります。

- ①「国語」〔近代以降の文章、古典：古文・漢文〕(200点)
- ②「数学」(100点) ※数学Ⅰ, 数学A または 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学B, 数学Cから高得点1科目
- ③「外国語」(200点) ※英語選択者はリーディング+リスニング、その他の外国語は200点に換算
- ④「地理歴史、公民」「理科」「情報」から高得点1教科1科目(100点)

※過年度の大学入試センター試験や大学入学共通テストの成績は利用できません。

【併願可】 社会人&シニア入学試験(1期・2期)

この入学試験は、大学で学びたい、あるいは学び直したいと考える社会人やシニアの方を対象に各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、課題や作品および面接や書類審査によって、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、社会人&シニア入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

2026年4月1日現在、満23歳以上の者で社会人として3年以上の経験を有しているもので、下記の1～3のいずれかを満たし、かつ下記4の資格を満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

4. 外国人留学生に該当しない者

※ここで言う「外国人留学生」とは〔留学〕の在留資格により、日本国内の教育施設・教育機関で教育を受ける外国人学生を指します。

出願書類

- ①出願確認票 ②最終学歴の卒業証明書 ③最終学歴の成績証明書 ④履歴書 ⑤大学入学志望理由書(様式1-1)
 ⑥実技曲目記入用紙 ⑦作品提出記入用紙 ⑧声楽曲伴奏楽譜 ⑨事前提出作品
 ※⑥～⑨は音楽領域志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合。

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

(1期・2期)

類	コース	選抜方法①	選抜方法②*	選抜方法③	
Ⅰ類	声楽コース	志望理由書 (100点)	専門試験〔専攻実技〕(約10分・200点)	個人面接 (約10分・200点)	
	鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)				
	弦管打コース				
Ⅱ類	ウインドアカデミーコース		専門試験 以下より、いずれか1つを選択		
	ポップス・ロック&パフォーマンスコース		・指定実技〔楽器演奏〕(約10分・200点)		
			・指定実技〔指揮実技〕(約10分・200点)		
			・小論文(50分・200点)		
Ⅲ類	ダンスパフォーマンスコース		専門試験 指定実技〔ダンスパート〕(約10分・200点)		
	声優アクティングコース		専門試験 指定実技〔表現力〕(約10分・200点)		
	Ⅳ類		サウンドメディア・コンポジションコース		専門試験 以下より、いずれか1つを選択
			ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース		・指定課題〔事前提出作品〕(200点)
・小論文(50分・200点)					
専門試験〔小論文〕(50分・200点)					
Ⅳ類	音楽ケアデザインコース		専門試験 以下より、いずれか1つを選択		
	音楽総合コース		・指定課題〔歌唱〕(約10分・200点)		
			・指定課題〔楽器演奏〕(約10分・200点)		
			・小論文(50分・200点)		
Ⅳ類	音楽総合コース		専門試験 以下より、いずれか1つを選択		
	音楽総合コース	・指定課題〔歌唱〕(約10分・200点)			
		・指定課題〔楽器演奏〕(約10分・200点)			
		・指定課題〔事前提出作品〕(200点)			
Ⅳ類	音楽総合コース	・小論文(50分・200点)			

※詳細内容については、「[選抜方法詳細1 \(音楽領域\)](#)」をご覧ください。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

(1期・2期)

コース	選抜方法①	選抜方法②	選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	小論文* (50分・200点)	個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

総合型選抜(特別枠)

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※1・2・3・4・5・6} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

- ※1 日本画コース、洋画コースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサン等いずれも可。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※2 コミュニケーションアートコース、工芸コース、美術総合コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※3 現代アートコースの「自己作品」は、絵画、彫刻、立体、写真、映像、サウンド、パフォーマンス、ドローイング、デッサン、テキスト、アニメーション、CG、テキスタイル、その他など、扱うメディアや素材は問わない。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※4 持参する作品は、受験生が自身で搬入できるサイズに限る。自身で搬入できない場合は、ポートフォリオを持参すること。
- ※5 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。
- ※6 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※1・2・3・4} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

- ※1 「ファンデーション」および「先端メディア表現コース」の「自己作品」は、3年以内に制作した作品5点以上。試験当日に持参すること。
- ※2 「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ事前提出すること。
- ※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。
- ※4 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)	+	小論文 [*] (50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	小論文 [*] (50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

入学試験概要

【併願可】 海外帰国生徒入学試験(1期・2期)

この入学試験は、保護者の勤務に帯同し、海外において異文化体験で身につけた知識や教養、そして個性について、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、課題や作品および面接や書類審査によって、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、海外帰国生徒入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これらに準ずる者であって、保護者とともに2年間以上海外に在住し、外国の学校教育を受けた者で、下記の1～4のいずれかを満たす者

1. 外国において、学校教育における12年の課程を2024年4月1日から2026年3月31日までに修了(見込み)の者
2. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む)に2024年または2025年に合格した者
3. 外国において、下記のいずれかの資格を2024年または2025年に取得した者
 - (1) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する者
 - (2) 国際的な認証団体であるWASC、CIS、ACSI、NEASC、Cogniaの認定を受けた教育施設において12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者(CISの旧名称でもあるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したのものについて可。)
 - (3) 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者
文部科学省ホームページをご覧ください。※2019年1月31日付告示の該当者
4. 本学において個別の入学審査により、高等学校の課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
※4で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②最終学歴の卒業(見込)証明書 ③最終学歴の成績証明書 ④履歴書 ⑤大学入学志望理由書(様式1-1)
⑥実技曲目記入用紙 ⑦作品提出記入用紙 ⑧声楽曲伴奏楽譜 ⑨事前提出作品
※⑥～⑨は音楽領域志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合に提出。

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

(1期・2期)

類	コース	選抜方法①	選抜方法②*	選抜方法③
Ⅰ類	声楽コース	志望理由書 (100点)	専門試験〔専攻実技〕(約10分・200点)	個人面接 (約10分・200点)
	鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)			
	弦管打コース			
Ⅱ類	ウインドアカデミーコース		専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	ポップス・ロック&パフォーマンスコース		・指定実技〔楽器演奏〕(約10分・200点)	
			・指定実技〔指揮実技〕(約10分・200点)	
			・小論文(50分・200点)	
Ⅲ類	ダンスパフォーマンスコース		専門試験 指定実技〔ダンスパート〕(約10分・200点)	
	声優アクティングコース		専門試験 指定実技〔表現力〕(約10分・200点)	
Ⅳ類	サウンドメディア・コンポジションコース		専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース		・指定課題〔事前提出作品〕(200点)	
			・小論文(50分・200点)	
	音楽ケアデザインコース		専門試験〔小論文〕(50分・200点)	
	音楽総合コース		専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
			・指定課題〔歌唱〕(約10分・200点)	
			・指定課題〔楽器演奏〕(約10分・200点)	
・小論文(50分・200点)				
	専門試験 以下より、いずれか1つを選択			
・指定課題〔歌唱〕(約10分・200点)				
・指定課題〔楽器演奏〕(約10分・200点)				
・指定課題〔事前提出作品〕(200点)				
・小論文(50分・200点)				

※詳細内容については、「[選抜方法詳細1 \(音楽領域\)](#)」をご覧ください。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

(1期・2期)

コース	選抜方法①	選抜方法②	選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	小論文*(50分・200点)	個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

総合型選抜(特別枠)

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{*1・2・3・4・5・6} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

- ※1 日本画コース、洋画コースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサン等いずれも可。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※2 コミュニケーションアートコース、工芸コース、美術総合コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※3 現代アートコースの「自己作品」は、絵画、彫刻、立体、写真、映像、サウンド、パフォーマンス、ドローイング、デッサン、テキスト、アニメーション、CG、テキスタイル、その他など、扱うメディアや素材は問わない。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※4 持参する作品は、受験生が自身で搬入できるサイズに限る。自身で搬入できない場合は、ポートフォリオを持参すること。
- ※5 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするものの場合は、再生装置も持参してください。
- ※6 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{*1・2・3・4} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

- ※1 「ファンデーション」および「先端メディア表現コース」の「自己作品」は、3年以内に制作した作品5点以上。試験当日に持参すること。
- ※2 「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ事前提出すること。
- ※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするものの場合は、再生装置も持参してください。
- ※4 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)	+	小論文 [*] (50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

- ※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	小論文 [*] (50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

- ※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

入学試験概要

【併願可】 外国人留学生入学試験(1期・2期)

この入学試験は、日本国以外の国籍を持つ外国人留学生で、異文化の教育で身につけた知識や教養、そして個性について、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、課題や作品および面接や書類審査によって、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、外国人留学生入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

1期・2期とも美術領域とデザイン領域の併願が可能です。(※複数の学科・領域に出願した場合、件数分の検定料がかかります。)

出願資格

下記の1～5のすべてを満たす者

1. 日本国籍を有しない者で、私費または国費による修学が可能な者(特別永住者を除く)
2. 2026年4月1日までに、満18歳に達する者
3. 次のいずれかに該当する者
 - (1) 外国において、学校教育制度における通算12年の課程を修了(卒業)した者および2026年3月31日までに修了(卒業)見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者
 - (3) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する者
 - (4) 国際的な認証団体であるWASC、CIS、ACSI、NEASC、Cogniaの認定を受けた教育施設において12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者(CISの旧名称でもあるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても可。)
 - (5) 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者
文部科学省ホームページをご覧ください。※2019年1月31日付告示の該当者
 - (6) 本学において個別の入学資格審査により(1)～(5)と同等の資格があると認めた者
※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。
4. 出入国管理及び難民認定法に基づき、「留学」の在留資格をもって日本に在留することができる者
5. 次のいずれかの基準を満たしている者

※試験結果は、2023年4月以降に受験し、出願時までに取得したものを有効とします。

 - (1) 日本語能力試験(JLPT)の「N1」または「N2」に合格している者
 - (2) 日本留学試験(EJU)【科目:日本語】において、「読解」「聴解・聴読解」の合計200点以上の得点を取得している者
 - (3) BJTビジネス日本語能力テストにおいて、400点以上の得点を取得している者

※原則として、入学時に本学入学に支障のない在留資格を取得することができない場合は、入学許可を取り消します。

出願書類

- ①出願確認票 ②大学入学志望理由書(様式1-1) ③出身学校の卒業(見込)証明書 ④出身学校の成績証明書 ⑤履歴書
⑥身分を証明する書類 ⑦日本語能力を証明する書類 ⑧経費支弁書 ⑨日本語学校等の卒業(見込)証明書等
⑩提出書類チェックリスト ⑪実技曲目記入用紙 ⑫作品提出記入用紙 ⑬音楽曲伴奏楽譜 ⑭事前提出作品

※⑨は日本国内の学校に在籍または在籍していた場合に必ず提出。

※⑪～⑭は音楽領域志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合に提出。

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

〈1期・2期〉

類	コース	選抜方法①	選抜方法②*	選抜方法③
Ⅰ類	声楽コース	志望理由書 (100点)	専門試験〔専攻実技〕(約10分・200点)	個人面接 (約10分・200点)
	鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)			
	弦管打コース			
Ⅱ類	ウインドアカデミーコース		専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	ポップス・ロック&パフォーマンスコース		・指定実技〔楽器演奏〕(約10分・200点)	
			・指定実技〔指揮実技〕(約10分・200点)	
			・小論文(50分・200点)	
Ⅲ類			ダンスパフォーマンスコース	
	声優アクティングコース		専門試験 指定実技〔表現力〕(約10分・200点)	
			専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
			Ⅳ類	
ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース	・小論文(50分・200点)			
	専門試験〔小論文〕(50分・200点)			
	音楽ケアデザインコース			
・指定課題〔歌唱〕(約10分・200点)				
・指定課題〔楽器演奏〕(約10分・200点)				
・小論文(50分・200点)				
音楽総合コース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択			
	・指定課題〔歌唱〕(約10分・200点)			
	・指定課題〔楽器演奏〕(約10分・200点)			
	・指定課題〔事前提出作品〕(200点)			
			・小論文(50分・200点)	

※詳細内容については、「[選抜方法詳細1\(音楽領域\)](#)」をご覧ください。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①	選抜方法②	選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	小論文* (50分・200点)	個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

総合型選抜(特別枠)

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点) ^{※7}	+	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※1・2・3・4・5・6} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・200点) ^{※8}

- ※1 日本画コース、洋画コースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサン等いずれも可。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※2 コミュニケーションアートコース、工芸コース、美術総合コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※3 現代アートコースの「自己作品」は、絵画、彫刻、立体、写真、映像、サウンド、パフォーマンス、ドローイング、デッサン、テキスト、アニメーション、CG、テキスタイル、その他など、扱うメディアや素材は問わない。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※4 持参する作品は、受験生が自身で搬入できるサイズに限る。自身で搬入できない場合は、ポートフォリオを持参すること。
- ※5 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。
- ※6 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。
- ※7 美術領域とデザイン領域の併願者は、それぞれの領域の志望理由書を提出すること。
- ※8 原則、美術領域とデザイン領域の併願者は面接を各領域ごとに実施します。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点) ^{※6}	+	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※1・2・3・4・5} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・200点) ^{※7}

- ※1 「ファンデーション」の「自己作品」は、3年以内に制作した作品5点以上。そのうち3点以上はデッサンの作品を試験当日に持参すること。
- ※2 「先端メディア表現コース」の「自己作品」は、3年以内に制作した作品5点以上。
- ※3 「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ事前提出すること。
- ※4 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。
- ※5 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。
- ※6 美術領域とデザイン領域の併願者は、それぞれの領域の志望理由書を提出すること。
- ※7 原則、美術領域とデザイン領域の併願者は面接を各領域ごとに実施します。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)	+	小論文 [※] (50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	小論文 [※] (50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

入学試験概要

【併願可】〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験(1期・2期)

この入学試験は、大学で学びたい、あるいは学び直したいと考える社会人やシニアの方を対象に各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、オンラインにて、課題や作品の審査および面接を行い、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、社会人&シニア入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

2026年4月1日現在、満23歳以上の者で社会人として3年以上の経験を有しているもので、下記の1～3のいずれかを満たし、かつ下記4の資格を満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。
4. 外国人留学生に該当しない者

※ここで言う「外国人留学生」とは(留学)の在留資格により、日本国内の教育施設・教育機関で教育を受ける外国人学生を指します。

出願書類

- ①出願確認票 ②最終学歴の卒業証明書 ③最終学歴の成績証明書 ④履歴書 ⑤大学入学志望理由書(様式1-1)
 ⑥実技曲目記入用紙 ⑦事前提出課題
 ※⑥～⑦は各コースの選抜方法を確認の上、提出すること

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域
(1期・2期)

類	コース	選抜方法①		選抜方法② ^{※1}		選抜方法③
I類	声楽コース	志望理由書 (100点)	+	オンライン上での専攻実技 ^{※2} (約10分・200点)	+	オンライン個人面接 (約10分・200点)
	鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)					
	弦管打コース			事前課題型小論文(200点)		
上記以外のコース (プロフェッショナルアーティストコースを除く)						

※1 詳細内容については、「[選抜方法詳細1\(音楽領域\)](#)」をご覧ください。

※2 事前に動画送付可。

総合型選抜(特別枠)

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	舞台芸術に関する企画書 (事前提出)(200点)	+	オンライン個人面接(約10分・200点) ※当日、事前提出の企画書に関して質疑応答 をします。

●舞台芸術に関する企画書(事前提出)

次の課題内容について、市販の400字づめ原稿用紙にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期〉

訪日外国人観光客が年々増加する中、日本の演劇(伝統芸能および現代演劇)を観光資源として活用する試みが注目されている。例えば2024年9月に開催された「東京芸術祭2024」では、国外から来訪する方や英語・韓国語・中国語などを母語とする国内の方に向けた日本の舞台芸術の魅力発信ツアーを実施したという事例がある。しかしながら、言語や文化的障壁、公演環境の整備不足など、まだ多くの課題が存在するのも確かである。

このような背景に鑑み、あなただったら訪日外国人観光客に向けての演劇体験の提供をどのように企画しますか。自身のアイディアをフォーマット①～⑧に基づき作成しなさい。

※参考にした文献資料・新聞記事・サイトがある場合は、出典を最後に記載してください。

【舞台芸術企画書フォーマット】

- ①企画タイトル(10～20字程度)
- ②企画の目的・背景(200～300字程度)
- ③コンセプト(100～200字程度)
- ④公演の概要(400～600字程度)
- ⑤実施場所・対象・時期(200～300字程度)
- ⑥独自性・意義(200～300字程度)
- ⑦実施に向けた課題と対応(150～300字程度)
- ⑧まとめ(100～150字程度)

〈2期〉

2025年には、いわゆる「団塊の世代」が全員75歳以上となり、日本の人口のおよそ5人に1人が後期高齢者となる。それに伴い、高齢者が遠方へ足を運ぶことが難しくなり、舞台芸術などの鑑賞体験を得る機会が減少していくことが予想される。こうした状況の中で、高齢者とともに地域を活性化させるためには、地域の文化施設を活用した取り組みが重要になっている。

このような背景に鑑み、あなただったら高齢者とともに地域を活性化させることをテーマとした舞台芸術を創出する場合、どのような企画を立案しますか。地域活性化に対して問題提起ができるようなアイディアをフォーマット①～⑧に基づき作成しなさい。

※参考にした文献資料・新聞記事・サイトがある場合は出典を最後に記載してください。

【舞台芸術企画書フォーマット】

- ①企画タイトル(10～20字程度)
- ②企画の目的・背景(200～300字程度)
- ③コンセプト(100～200字程度)
- ④公演の概要(400～600字程度)
- ⑤実施場所・対象・時期(200～300字程度)
- ⑥独自性・意義(200～300字程度)
- ⑦実施に向けた課題と対応(150～300字程度)
- ⑧まとめ(100～150字程度)

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	オンラインによる自己作品のプレゼンテーション ^{※1・2・3・4・5・6} (約10分・200点)	+	オンライン個人面接 (約10分・200点)

※1 日本画コース、洋画コースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサン等いずれも可。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上準備すること。

※2 コミュニケーションアートコース、工芸コース、美術総合コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による3年以内に制作した作品を2点以上準備すること。

※3 現代アートコースの「自己作品」は、絵画、彫刻、立体、写真、映像、サウンド、パフォーマンス、ドローイング、デッサン、テキスト、アニメーション、CG、テキスタイル、その他など、扱うメディアや素材は問わない。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。

※4 持参する作品は、受験生が自身で搬入できるサイズに限る。自身で搬入できない場合は、ポートフォリオを持参すること。

※5 自己作品の形式は、出願時に登録してください。また、当日プレゼンテーションに使用する作品については出願時にPDFデータまたは画像データで事前提出すること。

※6 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

総合型選抜(特別枠)

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	オンラインによる自己作品のプレゼンテーション ^{※1・2・3・4} (約10分・200点)	+	オンライン個人面接 (約10分・200点)

- ※1 「ファンデーション」および「先端メディア表現コース」の「自己作品」は、3年以内に制作した作品5点以上。
また、当日プレゼンテーションに使用する作品については出願時にPDFデータまたは画像データで事前提出すること。
- ※2 「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ事前提出すること。
- ※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。
- ※4 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)	+	事前課題型小論文(200点)	+	オンライン個人面接(約10分・200点)

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

音楽やデザイン等を含む芸術に関する社会課題についてインターネットなどで調査し、本領域のアドミッションポリシーもふまえ、次の設問に回答してください。

- 1) あなたが最も興味を持った社会課題について、それがどのような課題であるか、あなた自身の言葉で説明してください(150字程度)。
- 2) 1) の社会課題について、あなたが興味を抱いた理由を説明してください(250字程度)。
- 3) 1) の社会課題について、あなたの社会人としての経験もしくは日本国外における経験をふまえ、どのように解決を目指すべきか、第三者にも伝わるよう説明してください(400字程度)。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	事前課題型小論文(200点)	+	オンライン個人面接(約10分・200点)

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

子どもは、家庭や保育所、幼稚園、小学校など、さまざまな環境に身を置きながら、仲間や友達と共に、学習や遊び、日々の生活を通して育ちます。家庭や保育所、幼稚園、小学校、それ以外の立場から子どもの保育・教育に関わる大人のいずれも、子どもの育ちを支え、成長や発達を促していくという点は変わりありません。そして、教員や保育者は、集団や仲間・友達関係における関わりあう力を育てつつ、子ども一人一人の望ましい育ちを促します。

そこで、子どもに関わる大人の一人として、子ども同士の友達関係における関わりあいを豊かにするには、どのように子どもと接すればよいと考えますか。教員・保育者・ボランティアスタッフとしてなど、自分の立場を想定し、明確に示したうえで、自身の経験や知識などを踏まえ、考えを述べなさい。

入学試験概要

【併願可】〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験(1期・2期)

この入学試験は、保護者の勤務に帯同し、海外において異文化体験で身につけた知識や教養、そして個性について、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、オンラインにて、課題や作品の審査および面接を行い、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、海外帰国生徒入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これらに準ずる者であって、保護者とともに2年間以上海外に在住し、外国の学校教育を受けた者で、下記の1～4のいずれかを満たす者

1. 外国において、学校教育における12年の課程を2024年4月1日から2026年3月31日までに修了(見込み)の者
2. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む)に2024年または2025年に合格した者
3. 外国において、下記のいずれかの資格を2024年または2025年に取得した者
 - (1) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する者
 - (2) 国際的な認証団体であるWASC、CIS、ACSI、NEASC、Cogniaの認定を受けた教育施設において12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者(CISの旧名称でもあるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したもののについても可)
 - (3) 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者
文部科学省ホームページをご覧ください。※2019年1月31日付告示の該当者
4. 本学において個別の入学審査により、高等学校の課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
※4で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②最終学歴の卒業(見込)証明書 ③最終学歴の成績証明書 ④履歴書 ⑤大学入学志望理由書(様式1-1)
⑥実技曲目記入用紙 ⑦事前提出課題
※⑥～⑦は各コースの選抜方法を確認の上、提出すること

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域
(1期・2期)

類	コース	選抜方法①		選抜方法② ^{*1}		選抜方法③
I類	声楽コース	志望理由書 (100点)	+	オンライン上での専攻実技 ^{*2} (約10分・200点)	+	オンライン個人面接 (約10分・200点)
	鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)					
	弦管打コース			事前課題型小論文(200点)		
	上記以外のコース (プロフェッショナルアーティストコースを除く)					

※1 詳細内容については、「[選抜方法詳細1\(音楽領域\)](#)」をご覧ください。

※2 事前に動画送付可。

総合型選抜(特別枠)

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域
(1期・2期)

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	舞台芸術に関する企画書 (事前提出)(200点)	+	オンライン個人面接(約10分・200点) ※当日、事前提出の企画書に関して質疑応答 をします。

●舞台芸術に関する企画書(事前提出)

次の課題内容について、市販の400字づめ原稿用紙にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期〉

訪日外国人観光客が年々増加する中、日本の演劇(伝統芸能および現代演劇)を観光資源として活用する試みが注目されている。例えば2024年9月に開催された「東京芸術祭2024」では、国外から来訪する方や英語・韓国語・中国語などを母語とする国内の方に向けた日本の舞台芸術の魅力発信ツアーを実施したという事例がある。しかしながら、言語や文化的障壁、公演環境の整備不足など、まだ多くの課題が存在するのも確かである。

このような背景に鑑み、あなただったら訪日外国人観光客に向けての演劇体験の提供をどのように企画しますか。自身のアイディアをフォーマット①～⑧に基づき作成しなさい。

※参考にした文献資料・新聞記事・サイトがある場合は、出典を最後に記載してください。

【舞台芸術企画書フォーマット】

- ①企画タイトル(10～20字程度)
- ②企画の目的・背景(200～300字程度)
- ③コンセプト(100～200字程度)
- ④公演の概要(400～600字程度)
- ⑤実施場所・対象・時期(200～300字程度)
- ⑥独自性・意義(200～300字程度)
- ⑦実施に向けた課題と対応(150～300字程度)
- ⑧まとめ(100～150字程度)

〈2期〉

2025年には、いわゆる「団塊の世代」が全員75歳以上となり、日本の人口のおよそ5人に1人が後期高齢者となる。それに伴い、高齢者が遠方へ足を運ぶことが難しくなり、舞台芸術などの鑑賞体験を得る機会が減少していくことが予想される。こうした状況の中で、高齢者とともに地域を活性化させるためには、地域の文化施設を活用した取り組みが重要になっている。

このような背景に鑑み、あなただったら高齢者とともに地域を活性化させることをテーマとした舞台芸術を創出する場合、どのような企画を立案しますか。地域活性化に対して問題提起ができるようなアイディアをフォーマット①～⑧に基づき作成しなさい。

※参考にした文献資料・新聞記事・サイトがある場合は出典を最後に記載してください。

【舞台芸術企画書フォーマット】

- ①企画タイトル(10～20字程度)
- ②企画の目的・背景(200～300字程度)
- ③コンセプト(100～200字程度)
- ④公演の概要(400～600字程度)
- ⑤実施場所・対象・時期(200～300字程度)
- ⑥独自性・意義(200～300字程度)
- ⑦実施に向けた課題と対応(150～300字程度)
- ⑧まとめ(100～150字程度)

芸術学部 芸術学科 美術領域

(1期・2期)

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	オンラインによる自己作品のプレゼンテーション*1・2・3・4・5・6 (約10分・200点)	+	オンライン個人面接 (約10分・200点)

※1 日本画コース、洋画コースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサン等いずれも可。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上準備すること。

※2 コミュニケーションアートコース、工芸コース、美術総合コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による3年以内に制作した作品を2点以上準備すること。

※3 現代アートコースの「自己作品」は、絵画、彫刻、立体、写真、映像、サウンド、パフォーマンス、ドローイング、デッサン、テキスト、アニメーション、CG、テキスタイル、その他など、扱うメディアや素材は問わない。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。

※4 持参する作品は、受験生が自身で搬入できるサイズに限る。自身で搬入できない場合は、ポートフォリオを持参すること。

※5 自己作品の形式は、出願時に登録してください。また、当日プレゼンテーションに使用する作品については出願時にPDFデータまたは画像データで事前提出すること。

※6 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

総合型選抜(特別枠)

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	オンラインによる自己作品のプレゼンテーション ^{*1・2・3・4} (約10分・200点)	+	オンライン個人面接 (約10分・200点)

- ※1 「ファンデーション」および「先端メディア表現コース」の「自己作品」は、3年以内に制作した作品5点以上。
また、当日プレゼンテーションに使用する作品については出願時にPDFデータまたは画像データで事前提出すること。
- ※2 「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ事前提出すること。
- ※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。
- ※4 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)	+	事前課題型小論文(200点)	+	オンライン個人面接(約10分・200点)

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

音楽やデザイン等を含む芸術に関する社会課題についてインターネットなどで調査し、本領域のアドミッションポリシーもふまえ、次の設問に回答してください。

- 1) あなたが最も興味を持った社会課題について、それがどのような課題であるか、あなた自身の言葉で説明してください(150字程度)。
- 2) 1) の社会課題について、あなたが興味を抱いた理由を説明してください(250字程度)。
- 3) 1) の社会課題について、あなたの社会人としての経験もしくは日本国外における経験をふまえ、どのように解決を目指すべきか、第三者にも伝わるよう説明してください(400字程度)。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	事前課題型小論文(200点)	+	オンライン個人面接(約10分・200点)

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

子どもは、家庭や保育所、幼稚園、小学校など、さまざまな環境に身を置きながら、仲間や友達と共に、学習や遊び、日々の生活を通して育ちます。家庭や保育所、幼稚園、小学校、それ以外の立場から子どもの保育・教育に関わる大人のいずれも、子どもの育ちを支え、成長や発達を促していくという点は変わりありません。そして、教員や保育者は、集団や仲間・友達関係における関わりあう力を育てつつ、子ども一人一人の望ましい育ちを促します。

そこで、子どもに関わる大人の一人として、子ども同士の友達関係における関わりあいを豊かにするには、どのように子どもと接すればよいと考えますか。教員・保育者・ボランティアスタッフとしてなど、自分の立場を想定し、明確に示したうえで、自身の経験や知識などを踏まえ、考えを述べなさい。

入学試験概要

【併願可】〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験(1期・2期)

この入学試験は、日本国以外の国籍を持つ外国人留学生で、異文化の教育で身につけた知識や教養、そして個性について、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、オンラインにて、課題や作品の審査および面接を行い、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、外国人留学生入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

1期・2期とも美術領域とデザイン領域の併願が可能です。(※複数の学科・領域に出願した場合、件数分の検定料がかかります。)

出願資格

下記の1～5のすべてを満たす者

1. 日本国籍を有しない者で、私費または国費による修学が可能な者(特別永住者を除く)
2. 2026年4月1日までに、満18歳に達する者
3. 次のいずれかに該当する者
 - (1) 外国において、学校教育制度における通算12年の課程を修了(卒業)した者および2026年3月31日までに修了(卒業)見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者
 - (3) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する者
 - (4) 国際的な認証団体であるWASC、CIS、ACSI、NEASC、Cogniaの認定を受けた教育施設において12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者(CISの旧名称でもあるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したもののについても可。)
 - (5) 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者
文部科学省ホームページをご覧ください。※2019年1月31日付告示の該当者
 - (6) 本学において個別の入学資格審査により(1)～(5)と同等の資格があると認めた者
※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。
4. 出入国管理及び難民認定法に基づき、「留学」の在留資格をもって日本に在留することができる者
5. 次のいずれかの基準を満たしている者
 - ※試験結果は、2023年4月以降に受験し、出願時までに取得したものを有効とします。
 - (1) 日本語能力試験(JLPT)の「N1」または「N2」に合格している者
 - (2) 日本留学試験(EJU)【科目:日本語】において、「読解」「聴解・聴読解」の合計200点以上の得点を取得している者
 - (3) BJTビジネス日本語能力テストにおいて、400点以上の得点を取得している者

※原則として、入学時に本学入学に支障のない在留資格を取得することができない場合は、入学許可を取り消します。

出願書類

- ①出願確認票 ②大学入学志望理由書(様式1-1) ③出身学校の卒業(見込)証明書 ④出身学校の成績証明書 ⑤履歴書
⑥身分を証明する書類 ⑦日本語能力を証明する書類 ⑧経費支弁書 ⑨日本語学校等の卒業(見込)証明書等
⑩提出書類チェックリスト ⑪実技曲目記入用紙 ⑫事前提出課題

※⑨は日本国内の学校に在籍または在籍していた場合に必ず提出。

※⑪～⑫は各コースの選抜方法を確認の上、提出すること

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

〈1期・2期〉

類	コース	選抜方法①		選抜方法② ^{※1}		選抜方法③
Ⅰ類	声楽コース	志望理由書 (100点)	+	オンライン上での専攻実技 ^{※2} (約10分・200点)	+	オンライン個人面接 (約10分・200点)
	鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)					
	弦管打コース					
上記以外のコース (プロフェッショナルアーティストコースを除く)				事前課題型小論文(200点)		

※1 詳細内容については、[「選抜方法詳細1\(音楽領域\)」](#)をご覧ください。

※2 事前に動画送付可。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①	選抜方法②	選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	舞台芸術に関する企画書 (事前提出)(200点)	オンライン個人面接(約10分・200点) ※当日、事前提出の企画書に関して質疑応答 をします。

●舞台芸術に関する企画書(事前提出)

次の課題内容について、市販の400字づめ原稿用紙にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期〉

訪日外国人観光客が年々増加する中、日本の演劇(伝統芸能および現代演劇)を観光資源として活用する試みが注目されている。例えば2024年9月に開催された「東京芸術祭2024」では、国外から来訪する方や英語・韓国語・中国語などを母語とする国内の方に向けた日本の舞台芸術の魅力発信ツアーを実施したという事例がある。しかしながら、言語や文化的障壁、公演環境の整備不足など、まだ多くの課題が存在するのも確かである。

このような背景に鑑み、あなただったら訪日外国人観光客に向けての演劇体験の提供をどのように企画しますか。自身のアイディアをフォーマット①～⑧に基づき作成しなさい。

※参考にした文献資料・新聞記事・サイトがある場合は、出典を最後に記載してください。

【舞台芸術企画書フォーマット】

- ①企画タイトル(10～20字程度)
- ②企画の目的・背景(200～300字程度)
- ③コンセプト(100～200字程度)
- ④公演の概要(400～600字程度)
- ⑤実施場所・対象・時期(200～300字程度)
- ⑥独自性・意義(200～300字程度)
- ⑦実施に向けた課題と対応(150～300字程度)
- ⑧まとめ(100～150字程度)

〈2期〉

2025年には、いわゆる「団塊の世代」が全員75歳以上となり、日本の人口のおよそ5人に1人が後期高齢者となる。それに伴い、高齢者が遠方へ足を運ぶことが難しくなり、舞台芸術などの鑑賞体験を得る機会が減少していくことが予想される。こうした状況の中で、高齢者とともに地域を活性化させるためには、地域の文化施設を活用した取り組みが重要になっている。

このような背景に鑑み、あなただったら高齢者とともに地域を活性化させることをテーマとした舞台芸術を創出する場合、どのような企画を立案しますか。地域活性化に対して問題提起ができるようなアイディアをフォーマット①～⑧に基づき作成しなさい。

※参考にした文献資料・新聞記事・サイトがある場合は出典を最後に記載してください。

【舞台芸術企画書フォーマット】

- ①企画タイトル(10～20字程度)
- ②企画の目的・背景(200～300字程度)
- ③コンセプト(100～200字程度)
- ④公演の概要(400～600字程度)
- ⑤実施場所・対象・時期(200～300字程度)
- ⑥独自性・意義(200～300字程度)
- ⑦実施に向けた課題と対応(150～300字程度)
- ⑧まとめ(100～150字程度)

総合型選抜(特別枠)

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点) ^{*7}	+	オンラインによる自己作品のプレゼンテーション ^{*1・2・3・4・5・6} (約10分・200点)	+	オンライン個人面接 (約10分・200点) ^{*8}

- ※1 日本画コース、洋画コースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサン等いずれも可。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上準備すること。
- ※2 コミュニケーションアートコース、工芸コース、美術総合コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による3年以内に制作した作品を2点以上準備すること。
- ※3 現代アートコースの「自己作品」は、絵画、彫刻、立体、写真、映像、サウンド、パフォーマンス、ドローイング、デッサン、テキスト、アニメーション、CG、テキスタイル、その他など、扱うメディアや素材は問わない。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※4 持参する作品は、受験生が自身で搬入できるサイズに限る。自身で搬入できない場合は、ポートフォリオを持参すること。
- ※5 自己作品の形式は、出願時に登録してください。また、当日プレゼンテーションに使用する作品については出願時にPDFデータまたは画像データで事前提出すること。
- ※6 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。
- ※7 美術領域とデザイン領域の併願者は、それぞれの領域の志望理由書を提出すること。
- ※8 原則、美術領域とデザイン領域の併願者は面接を各領域ごとに実施します。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点) ^{*5}	+	オンラインによる自己作品のプレゼンテーション ^{*1・2・3・4} (約10分・200点)	+	オンライン個人面接 (約10分・200点) ^{*6}

- ※1 「ファンデーション」および「先端メディア表現コース」の「自己作品」は、3年以内に制作した作品5点以上。また、当日プレゼンテーションに使用する作品については出願時にPDFデータまたは画像データで事前提出すること。
- ※2 「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ事前提出すること。
- ※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。
- ※4 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。
- ※5 美術領域とデザイン領域の併願者は、それぞれの領域の志望理由書を提出すること。
- ※6 原則、美術領域とデザイン領域の併願者は面接を各領域ごとに実施します。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)	+	事前課題型小論文(200点)	+	オンライン個人面接(約10分・200点)

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

音楽やデザイン等を含む芸術に関する社会課題についてインターネットなどで調査し、本領域のアドミッションポリシーもふまえ、次の設問に回答してください。

- 1) あなたが最も興味を持った社会課題について、それがどのような課題であるか、あなた自身の言葉で説明してください(150字程度)。
- 2) 1)の社会課題について、あなたが興味を抱いた理由を説明してください(250字程度)。
- 3) 1)の社会課題について、あなたの社会人としての経験もしくは日本国外における経験をふまえ、どのように解決を目指すべきか、第三者にも伝わるよう説明してください(400字程度)。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	事前課題型小論文(200点)	+	オンライン個人面接(約10分・200点)

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

子どもは、家庭や保育所、幼稚園、小学校など、さまざまな環境に身を置きながら、仲間や友達と共に、学習や遊び、日々の生活を通して育ちます。家庭や保育所、幼稚園、小学校、それ以外の立場から子どもの保育・教育に関わる大人のいずれも、子どもの育ちを支え、成長や発達を促していくという点は変わりありません。そして、教員や保育者は、集団や仲間・友達関係における関わりあう力を育てつつ、子ども一人一人の望ましい育ちを促します。

そこで、子どもに関わる大人の一人として、子ども同士の友達関係における関わりあいを豊かにするには、どのように子どもと接すればよいと考えますか。教員・保育者・ボランティアスタッフとしてなど、自分の立場を想定し、明確に示したうえで、自身の経験や知識などを踏まえ、考えを述べなさい。

【専願】 3年次編入学試験(1期～3期)

この入学試験は、短期大学や専門学校卒業で更に学びを深めたい者、あるいは、4年制大学に在籍しつつも本学が抱える音楽・舞台芸術・美術・デザイン・芸術教養・子どもの6つの学科・領域への専攻変更を希望する者を対象に、既に所定の単位数を取得していることを前提に本学における学びの目的や意欲も含め、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ総合的な評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集学部・学科・領域・コース

●芸術学部 芸術学科

〈音楽領域〉

声楽コース、鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)、弦管打コース、ウインドアカデミーコース、ポップス・ロック&パフォーマンスコース、ダンスパフォーマンスコース、声優アクティングコース、サウンドメディア・コンポジションコース、ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース、音楽ケアデザインコース

〈舞台芸術領域〉

舞台美術コース、演出空間コース、舞台プロデュースコース

〈美術領域〉

日本画コース、洋画コース、現代アートコース、コミュニケーションアートコース、工芸コース

〈デザイン領域〉

ヴィジュアルデザインコース、イラストレーションコース、先端メディア表現コース、メディアコミュニケーションデザインコース、ライフスタイルデザインコース、スペースデザインコース、インダストリアル&セラミックデザインコース、カーデザインコース、工芸コース、テキスタイルデザインコース、文芸・ライティングコース

〈芸術教養領域〉

リベラルアーツコース

●教育学部 子ども学科

出願資格

下記の1～7のいずれかを満たす者で、本学第3年次への編入学を希望する者

1. 日本の大学に2年以上在学(休学・停学期間を除く)し、62単位以上を取得した者および2026年3月末日までに大学に2年以上在学(休学・停学期間を除く)し、62単位以上取得する見込みの者(本学在学者は除く)
2. 日本または外国の大学を卒業し、学士の学位を有する者および2026年3月末日までに学士の学位を授与される見込みの者
3. 日本の短期大学または高等専門学校を卒業した者および2026年3月末日までに卒業見込みの者
4. 学校教育法第132条の規定により専修学校の専門課程(修業年限2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上であるものに限る)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る)および2026年3月末日までに修了見込みの者
5. 外国において、学校教育における14年以上の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を修了した者および2026年3月末日までに修了見込みの者
6. 外国の短期大学を卒業した者または外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る)および2026年3月末日までに修了見込みの者
7. 高等学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であること。その他文部科学部大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る)および2026年3月末日までに修了見込みの者

外国人留学生出願資格

前頁出願資格1～7のいずれかを満たす者で、かつ、下記の1～4のすべてを満たす者

1. 日本国籍を有しない者で、私費または国費による修学が可能なる者(特別永住者を除く)
2. 2026年4月1日現在満20歳以上の者
3. 出入国管理及び難民認定法に基づき、「留学」の在留資格をもって日本に在留することができる者
4. 次のいずれかの基準を満たしている者

※試験結果は、2023年4月以降に受験し、出願時まで取得したものを有効とします。

- (1) 日本語能力試験(JLPT)の「N1」または「N2」に合格している者
- (2) 日本留学試験(EJU)【科目:日本語】において、「読解」「聴解・聴読解」の合計200点以上の得点を取得している者
- (3) BJTビジネス日本語能力テストにおいて、400点以上の得点を取得している者

※原則として、入学時に本学入学に支障のない在留資格を取得することができない場合は、入学許可を取り消します。

出願書類 (※外国人留学生の方は、「外国人留学生の方へ」項目の「提出書類」に該当する書類も併せて提出してください。)

- ①出願確認票 ②最終学歴の卒業(見込)証明書 ③最終学歴の成績証明書^{*1} ④大学入学志望理由書(様式1-1) ⑤履歴書
⑥実技曲目記入用紙 ⑦作品提出記入用紙 ⑧声楽曲伴奏楽譜 ⑨事前提出作品

※⑥～⑨は音楽領域志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合に提出。

※⑨はデザイン領域(文芸・ライティングコース)の志願者は必須。

※1 出願資格に応じて以下の書類を提出してください。

- a. 大学、短期大学、高等専門学校等を卒業・修了した者、または2026年3月までに卒業・修了見込の者

→ **卒業・修了(見込)証明書および成績証明書**

- b. 大学2年次以上に在学し、62単位以上を修得した者、または2026年3月までに修得見込の者

→ **在学証明書、単位修得(見込)証明書および成績証明書**

- c. 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上または62単位以上であること)を修了した者、または2026年3月までに修了見込の者

→ **専門課程修了(見込)証明書(専門士の資格が取得できる旨が付記されたもの)および成績証明書**

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

〈1期・2期・3期〉

類	コース	選抜方法①		選抜方法②*		選抜方法③
Ⅰ類	声楽コース	志望理由書 (100点)	+	専門試験〔専攻実技〕(約10分・200点)	+	個人面接 (約10分・200点)
	鍵盤楽器コース (ピアノ・電子オルガン)					
	弦管打コース					
Ⅱ類	ウインドアカデミーコース			専門試験 以下より、いずれか1つを選択		
				・指定実技〔楽器演奏〕(約10分・200点)		
				・指定実技〔指揮実技〕(約10分・200点)		
				・小論文(50分・200点)		
Ⅱ類	ポップス・ロック＆ パフォーマンスコース			専門試験 以下より、いずれか1つを選択		
				・指定実技〔楽器演奏〕(約10分・200点)		
				・指定実技〔ヴォーカル〕(約10分・200点)		
				・小論文(50分・200点)		
Ⅲ類	ダンスパフォーマンスコース			専門試験 指定実技〔ダンスパート〕(約10分・200点)		
	声優アクティングコース			専門試験 指定実技〔表現力〕(約10分・200点)		
Ⅳ類	サウンドメディア・ コンポジションコース			専門試験 以下より、いずれか1つを選択		
		・指定課題〔事前提出作品〕(200点)				
		・小論文(50分・200点)				
	ミュージックエンターテインメント・ ディレクションコース	小論文(50分・200点)				
	音楽ケアデザインコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択				
		・指定課題〔歌唱〕(約10分・200点)				
		・指定課題〔楽器演奏〕(約10分・200点)				
		・小論文(50分・200点)				

※ 詳細内容については、「[選抜方法詳細3 \(音楽領域\)](#)」(※3年次編入学試験)をご覧ください。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

〈1期・2期・3期〉

コース	選抜方法①	選抜方法②	選抜方法③
舞台美術コース	志望理由書(100点)	専門実技(ラフスケッチ)(120分)(200点)	個人面接(約10分) (200点)
演出空間コース		専門課題(筆記試験30分+実技試験45分) ^{*1} (200点)	
舞台プロデュースコース		小論文(60分) ^{*2} (200点)	

※1 【音響】舞台機構技能検定3級程度の筆記試験と実技試験を行います。

【照明】一般的な公立劇場設備に係る劇場機構や照明機材の名称に関する筆記試験と、照明機材設営と撤収にかかる基本実技試験を行います。

※2 「小論文」の課題は当日出題。1,200字程度とする。

総合型選抜(特別枠)

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期・3期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※1・2・3・4・5・6} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

- ※1 日本画コース、洋画コースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサン等いずれも可。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※2 コミュニケーションアートコース、工芸コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による3年以内に制作した作品を2点以上を持参すること。
- ※3 現代アートコースの「自己作品」は、絵画、彫刻、立体、写真、映像、サウンド、パフォーマンス、ドローイング、デッサン、テキスト、アニメーション、CG、テキスタイル、その他など、扱うメディアや素材は問わない。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※4 持参する作品は、受験生が自身で搬入できるサイズに限る。自身で搬入できない場合は、ポートフォリオを持参すること。
- ※5 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。
- ※6 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期・3期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※1・2・3・4・5} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

- ※1 「工芸コース」および「テキスタイルデザインコース」の「自己作品」は、3年以内に制作した作品2点以上と各自過去の実績をできる限り表明し得る作品と作品写真等(ポートフォリオ)を持参すること。
- ※2 「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ事前提出すること。
- ※3 「上記以外のコース」の「自己作品」は、各自過去の実績をできる限り表明し得る作品と作品写真等(ポートフォリオ)を持参すること。
- ※4 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。
- ※5 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期・3期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)	+	小論文 [*] (50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

- ※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期・3期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	小論文 [*] (50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

- ※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

【専願】 2年次編入学試験(1期～3期)

この入学試験は、短期大学や専門学校卒業で更に学びを深めたい者、あるいは、4年制大学に在籍しつつも本学が抱える子ども学科への専攻変更を希望する者を対象に、既に所定の単位数を取得していることを前提に本学における学びの目的や意欲も含め、子ども学科が求める学生像に照らし合わせつつ総合的な評価を行います。子ども学科が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集学部・学科

教育学部 子ども学科

出願資格

下記の1～7のいずれかを満たす者で、本学第2年次への編入学を希望する者

1. 日本の大学に2年以上在学(休学・停学期間を除く)し、62単位以上を取得した者および2026年3月末日までに大学に2年以上在学(休学・停学期間を除く)し、62単位以上取得する見込みの者(本学在学者は除く)
2. 日本または外国の大学を卒業し、学士の学位を有する者および2026年3月末日までに学士の学位を授与される見込みの者
3. 日本の短期大学または高等専門学校を卒業した者および2026年3月末日までに卒業見込みの者
4. 学校教育法第132条の規定により専修学校の専門課程(修業年限2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上であるものに限る)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る)および2026年3月末日までに修了見込みの者
5. 外国において、学校教育における14年以上の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を修了した者および2026年3月末日までに修了見込みの者
6. 外国の短期大学を卒業した者または外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る)および2026年3月末日までに修了見込みの者
7. 高等学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であること。その他文部科学部大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る)および2026年3月末日までに修了見込みの者

外国人留学生出願資格

前頁出願資格1～7のいずれかを満たす者で、かつ、下記の1～4のすべてを満たす者

1. 日本国籍を有しない者で、私費または国費による修学が可能なる者(特別永住者を除く)
2. 2026年4月1日現在満20歳以上の者
3. 出入国管理及び難民認定法に基づき、「留学」の在留資格をもって日本に在留することができる者
4. 次のいずれかの基準を満たしている者

※試験結果は、2023年4月以降に受験し、出願時までに取得したものを有効とします。

- (1) 日本語能力試験(JLPT)の「N1」または「N2」に合格している者
- (2) 日本留学試験(EJU) [科目:日本語] において、「読解」「聴解・聴読解」の合計200点以上の得点を取得している者
- (3) BJT ビジネス日本語能力テストにおいて、400点以上の得点を取得している者

※原則として、入学時に本学入学に支障のない在留資格を取得することができない場合は、入学許可を取り消します。

出願書類 (※外国人留学生の方は、「[外国人留学生の方へ](#)」項目の「[提出書類](#)」に該当する書類も併せて提出してください。)

①出願確認票 ②最終学歴の卒業(見込)証明書 ③最終学歴の成績証明書^{※1} ④大学入学志望理由書(様式1-1) ⑤履歴書

※1 出願資格に応じて以下の書類を提出してください。

- a. 大学、短期大学、高等専門学校等を卒業・修了した者、または2026年3月までに卒業・修了見込の者
→ **卒業・修了(見込)証明書および成績証明書**
- b. 大学2年次以上に在学し、62単位以上を修得した者、または2026年3月までに修得見込の者
→ **在学証明書、単位修得(見込)証明書および成績証明書**
- c. 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上または62単位以上であること)を修了した者、または2026年3月までに修了見込の者
→ **専門課程修了(見込)証明書(専門士の資格が取得できる旨が付記されたもの)および成績証明書**

選抜方法

教育学部 子ども学科

(1期・2期・3期)

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	小論文 [*] (50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

選抜方法詳細1

(音楽領域)

総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入学試験)、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験・〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験・〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験・〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験

声楽コース

総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入学試験)、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験・〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験・〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験・〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験

●専門試験：専攻実技

外国歌曲を1曲(下表の外国歌曲群から1曲選択)、および日本歌曲を1曲(下表の日本歌曲群から1曲選択)の、計2曲を選択し、「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。試験当日は選択した計2曲を演奏すること

外国歌曲群	調	作曲者
1. An die Musik	D-dur, C-dur, B-dur	F.Schubert
2. Ich liebe dich	E-dur, F-dur, G-dur	L.V.Beethoven
3. Die Lotosblume	Es-dur, F-dur	R.Schumann
※4. Auf Flügeln des Gesanges (1、3番のみ)	As-dur, G-dur, F-dur	F.Mendelssohn
5. Sebben, crudele	e-moll, d-moll, c-moll	A.Caldara
6. Vergin, tutto amor	d-moll, c-moll, h-moll	F.Durante
7. Già il sole dal Gange	B-dur, As-dur	A.Scarlatti
8. Caro mio ben	F-dur, Es-dur, Des-dur	G.Giordani
9. Caro laccio	Es-dur, Des-dur	F.Gasparini
10. Segreto	f-moll	F.Tosti

日本歌曲群	調	作曲者
※1. 早春賦(2番まで)	Es-dur, F-dur	中田章
※2. 浜辺の歌(2番まで)	F-dur, As-dur	成田為三
※3. 椰子の実(2番まで)	G-dur, A-dur	大中寅二
4. かやの木山の	D-dur, C-dur	山田耕柞
5. この道	D-dur, E-dur, F-dur	山田耕柞
6. 北秋の	B-dur, C-dur, D-dur	信時潔
7. 行々子	D-dur, E-dur, Fis-dur	信時潔
8. ゆりかご	D-dur, E-dur	平井康三郎
9. 風の子供	Des-dur, B-dur	中田喜直
10. さくら横ちょう	b-moll, g-moll	中田喜直

注意 ●歌詞はすべて原語とし、暗譜で歌唱すること。ただし※印の4曲においては()の指示で歌唱すること

●「声楽曲伴奏楽譜」の提出について

上記以外の調で受験する場合は、当該曲目の「声楽曲伴奏楽譜」を出願時に提出すること

(提出楽譜については、以下の楽譜の提出方法を参照のこと)

●伴奏者は本学で準備します。

[オンライン方式]の場合

●伴奏者を必要とする場合は受験者各自で準備のこと

●事前に演奏動画を撮影のうえ郵送提出も可

声楽曲伴奏楽譜の提出方法 下記楽譜の提出方法を参照してください。

表紙

氏名

A4判

①各ページをA4判縦とする

②各ページが全開するよう横一連に綴じる

③表紙の裏から伴奏楽譜を1ページとする

④表紙が上になるように折りたたむ

⑤手書きの楽譜は、黒のペンまたはボールペンで正確に書く

鍵盤楽器コース(ピアノ)

総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入学試験)、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験・〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験・〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験・〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験

●専門試験：専攻実技

次のAより1曲選択し、自由曲1曲のあわせて2曲を「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。試験当日は「実技曲目記入用紙」に記入した2曲を演奏すること。演奏はすべて繰り返しなしで、暗譜とする。

[オンライン方式]の場合

- ・事前に演奏動画を撮影のうえ郵送提出も可

A
1. Czerny 50番(Op.740)
2. Czerny 60番(Op.365)
3. Cramer-Bülrowのエチュード
4. Clementi-Tausigのエチュード
5. Moscheles(Op.70)
6. Moszkowski(Op.72)
7. Chopinのエチュード(Op.10, Op.25, 遺作)
8. J.S.Bachのクラヴィア曲(「平均律ピアノ曲集」の場合はフーガのみ)

B
自由曲

鍵盤楽器コース(電子オルガン)

総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入学試験)、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験・〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験・〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験・〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験

●専門試験：専攻実技

次の曲を電子オルガンで演奏すること

自由曲 1曲

曲名および使用機種は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。

レジストレーションは自由。ただし、試験場内での設定はできないのであらかじめ作成して記録したメディア(USBメモリ等)を用意すること。この場合、自分で作成したものに限定しない。MDRの使用範囲はレジストデータとレジストチェンジまでとする。演奏は暗譜とする。

〈使用機種〉 ヤマハ ELS-02C、ELS-01C

[オンライン方式]の場合

- ・事前に演奏動画を撮影のうえ郵送提出も可

弦管打コース

総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入学試験)、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験・(オンライン方式)社会人&シニア入学試験・(オンライン方式)海外帰国生徒入学試験・(オンライン方式)外国人留学生入学試験

●専門試験：専攻実技

【弦楽器】

次の課題を演奏すること。演奏は繰り返しなしで、伴奏はなしとする。楽譜の持ち込み可。

楽器名および楽曲は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。

〔オンライン方式〕の場合

- ・事前に演奏動画を撮影のうえ郵送提出も可

ヴァイオリン
1. 音階／Carl Flesch:Scale Systemより各調任意選択し、5番を奏する。(形式任意) 2. Kreutzer:Etüden, Rode:Capricen, Dont:Etüden und Capricen op.35の中から1曲選択、または任意の楽曲1曲
ヴィオラ
1. 音階／2.で選択した曲の調の2オクターブ(形式任意) 2. 任意の楽曲または練習曲1曲
チェロ
1. 音階／2.で選択した曲の調の2オクターブ(形式任意) 2. 任意の楽曲または練習曲1曲
コントラバス
1. 音階／2.で選択した曲の調とその平行調の2オクターブ(形式任意) 2. J.Hrabě:86 Etudes Book 1よりNo.11, 18, 25, 27の中から任意の1曲(Carl Fiscer版)、または任意の楽曲1曲
ハープ
任意の楽曲または練習曲 アイリッシュ・ハープでの受験も可
ギター
次の1～3より1曲選択し演奏すること 1. M.カルカッシ:25の練習曲、作品60(シャントレル出版、または全音楽譜出版) M.Carcassi:25 Etudes (Melodiques) Op.60 (CHANTERELLE VERLAG or ZEN-ON) 2. F.ソル(A.セゴヴィア編):ギターのための20の練習曲(EMI MUSIC PUBLISHING JAPAN出版) F.Sor(edited by A.Segovia):20 studies for the guitar(EMI MUSIC PUBLISHING JAPAN) 3. H.ヴィラ＝ロボス:ギターのための12の練習曲(マックス・エシック出版) H.Villa-Lobos:12 ETUDES de Guitare(EDITIONS MAX ESCHIG)

【管楽器】

次の課題を演奏すること。伴奏はなしとする。楽譜の持ち込み可。

楽器名および楽曲は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。

〔オンライン方式〕の場合

- ・事前に演奏動画を撮影のうえ郵送提出も可

フルート
1. 音階／長音階・短音階それぞれ1種類、2オクターブの音階を当日指定し、スラーまたはタンギングで演奏する。短音階は和声短音階のみ。すべて暗譜とする。 2. J.Andersen:24 Etudes, op.21より第4番 ホ短調 Andante con moto、または任意の楽曲1曲 ※すべて版の指定はしない。
オーボエ
1. 音階／各調より当日指定する。(形式任意) 2. Hinke:Etudesより任意の1曲、または任意の楽曲1曲
クラリネット
1. 音階／各調の1番より当日指定する。(形式:スラー)音階は暗譜とする。 ※R.Eichler:Scales for Clarinetを使用する。 2. C.Rose:32 EtudesよりNo.9～No.24の中から任意の1曲、または任意の楽曲1曲

選抜方法詳細1 (音楽領域)

バスクラリネット
1. 音階／各調より当日指定する。(形式任意) 2. C.Rose:32 EtudesよりNo.1, 5, 13, 27の中から任意の1曲、または任意の楽曲1曲
ファゴット
1. 音階／各調より当日指定する。(2オクターブ、形式任意) 2. Weissenborn:第2巻よりNo.1～No.15の中から任意の1曲、または任意の楽曲1曲
サクソフォン
1. 音階／各調より当日指定する。(形式任意) 2. M.Mule:QUARANTE-HUIT ÉTUDES, d'après FERLING「48の練習曲(フェルリング)」より1番、2番、または任意の楽曲1曲
トランペット
1. 音階／G-dur, A-dur(実音F-dur, G-dur)の2オクターブ(形式任意) 2. C.Kopprasch:Sixty Selected Studies Book1 (Carl Fischer版)より No.8, 13, 14, 15, 17, 18, 19, 21, 22, 32の中から任意の1曲、または任意の楽曲1曲
ホルン
1. 音階／B-durの2オクターブ(形式任意) 2. C.Kopprasch:Sixty Selected Studies Book 1よりNo.1～No.16の中から任意の1曲、または任意の楽曲1曲
トロンボーン
1. 音階／各調より当日指定する。(2オクターブ、形式任意) 2. C.Kopprasch:Sixty Selected Studies Book 1よりNo.1～No.15の中から任意の1曲、または任意の楽曲1曲
バストロンボーン
1. 音階／各調より当日指定する。(2オクターブ、形式任意) 2. C.Kopprasch:Sixty Selected Studies Book 1 for BB ^b テューバ用(出版社は指定しない)より No.1～No.15の中から任意の1曲、または任意の楽曲1曲
ユーフォニアム
1. 音階／各調より当日指定する。(2オクターブ、形式任意) 2. 任意の楽曲または練習曲1曲
テューバ
1. 音階／各調より当日指定する。(2オクターブ、形式任意) 2. 任意の楽曲または練習曲1曲

【打楽器】

次の課題を演奏すること。伴奏はなしとする。楽譜の持ち込み可。

楽器名および楽曲は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。

[オンライン方式]の場合

- ・事前に演奏動画を撮影のうえ郵送提出も可

スネアドラム(小太鼓)
1. 基礎打ち (1つ打ち、2つ打ち、ロングロール) 2. Portraits in Rhythm / Anthony J. Cirone (出版: Alfred publishing) より13番 3. Modern School for Marimba・Xylophone・Vibraphone/Morris Goldenberg (出版: Alfred publishing) より12ページ G Major III MELODY
マリンバ
1. 音階および分散和音／各調より当日指定する。(2オクターブ、形式任意) 2. 任意の楽曲 (マリンバの為に作曲された楽曲を選択すること) 3. Intermediate Snare Drum Studies / Mitchell Peters (出版: Try publishing company) より4番 (16ページ、アラビア数字のもの)

ウインドアカデミーコース

総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入学試験)

●専門試験:小論文

課題は当日出題。800字程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人&シニア入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験:指定実技(楽器演奏、指揮実技)、小論文、基礎学力検査または学科試験から1つを選択する。

指定実技	楽器演奏	弦管打楽器による演奏。楽譜の持ち込み可。 自由曲1曲を演奏する(即興演奏、自作の曲でも可)。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏のCD(マイナスイワン*)を各自用意すること(予備として、同じ伴奏音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)
	指揮実技	次の2曲の課題曲から、当日指定された1曲について冒頭から指揮を行う。課題曲楽譜は各自用意すること。 演奏は、ピアノ1台(連弾)とする。なお、演奏者は本学で準備します。 ▼L.V. ベートーヴェン 交響曲第1番ハ長調 Op.21 1楽章 ▼W.A. モーツァルト アイネ・クライネ・ナハトムジーク ト長調 K.525 1楽章
小論文		課題は当日出題。800字程度とする。
基礎学力検査 *一般推薦入学試験のみ		「英語」「数学」「国語」から出願時に2科目選択 〈出題範囲〉 英語:英語コミュニケーションI 数学:数学I 国語:現代の国語、言語文化(古文・漢文は除く)
学科試験 *一般入学試験のみ		[1期]「英語*」「数学」「国語」「歴史」「情報」から2科目当日選択 [2期]「英語*」「数学」「国語」から2科目当日選択 〈出題範囲〉 英語:英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、論理・表現I 数学:数学I、数学A 国語:現代の国語、言語文化(漢文は除く) 歴史:歴史総合、日本史探究または、歴史総合、世界史探究 情報:情報I ※英語は、本学CEFR(セファール)基準のスコア提出により、受験免除可。

- 指定実技(楽器演奏、指揮実技)、小論文、基礎学力検査、学科試験から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- 楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

※「マイナスイワン」=自分の演奏パートの音声が入っていない音源

〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験・〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験・〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

あなたはこれまでどのようなことに重点的に取り組み、どのような力を身に付けることができましたか。それらについて記述したのち、あなたの志望する本学のコースにおいて、あなたが学びたいこと、チャレンジしたいことに、それらをどう役立てようと思っているか、自身の考えを述べなさい。

ポップス・ロック&パフォーマンスコース

総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入学試験)

●専門試験:小論文

課題は当日出題。800字程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人&シニア入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験:指定実技(楽器演奏、ヴォーカル)、小論文、基礎学力検査または学科試験から1つを選択する。

指定実技	楽器演奏	任意の楽器による自由曲を1曲演奏する(即興演奏、自作曲の演奏も可)。楽譜の持ち込み可。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏あるいはセッション形式のCD(マイナスイオン [※])を各自用意すること(予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること) アンプは原則として本学で用意するものを使用すること
	ヴォーカル	自由曲1曲を演奏する。楽譜の持ち込み可。 ヴォーカル伴奏のCD(マイナスイオン [※])を各自用意すること(予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)。ピアノ伴奏で受験する者は、「声楽曲伴奏楽譜」を出願時に提出すること。 提出については、「声楽曲伴奏楽譜の提出方法」を参照のこと 伴奏者は本学で準備します。また、弾き語りを受験する者は、楽譜の提出は不要です。
小論文		課題は当日出題。800字程度とする。
基礎学力検査 *一般推薦入学試験のみ		「英語」「数学」「国語」から出願時に2科目選択 〈出題範囲〉 英語:英語コミュニケーションI 数学:数学I 国語:現代の国語、言語文化(古文・漢文は除く)
学科試験 *一般入学試験のみ		[1期]「英語 [※] 」「数学」「国語」「歴史」「情報」から2科目当日選択 [2期]「英語 [※] 」「数学」「国語」から2科目当日選択 〈出題範囲〉 英語:英語コミュニケーションI, 英語コミュニケーションII, 論理・表現I 数学:数学I, 数学A 国語:現代の国語、言語文化(漢文は除く) 歴史:歴史総合、日本史探究または、歴史総合、世界史探究 情報:情報I ※英語は、本学CEFR(セファール)基準のスコア提出により、受験免除可。

- 指定実技(楽器演奏、ヴォーカル)、小論文、基礎学力検査、または学科試験から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- ヴォーカルを選択する場合は曲目を、楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。
- 電子オルガンを使用する場合は、ヤマハELS-02C、ELS-01Cとし、使用機種名も「実技曲目記入用紙」に記入してください。
- 「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。

※「マイナスイオン」=自分の演奏パートの音声が入っていない音源

〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験・〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験・〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

あなたはこれまでどのようなことに重点的に取り組み、どのような力を身に付けることができましたか。それらについて記述したのち、あなたの志望する本学のコースにおいて、あなたが学びたいこと、チャレンジしたいことに、それらをどう役立てようと思っているか、自身の考えを述べなさい。

ダンスパフォーマンスコース

総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入学試験)

●専門試験:小論文

課題は当日出題。800字程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人&シニア入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験:ダンスパート

ダンスパートとは、その場で振付される3分程度の簡単なステップをリズムカルに踏むことによって、リズム感と躍動感、更には即応性と即興性を審査し、ダンサーとしての適性を見るために行うものです。

この試験は、複数名の受験者からなるグループで行います。

注意 ダンスパート試験のための動きやすい服装と上履きを持参のこと

〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験・〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験・〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

あなたはこれまでどのようなことに重点的に取り組み、どのような力を身に付けることができましたか。それらについて記述したのち、あなたの志望する本学のコースにおいて、あなたが学びたいこと、チャレンジしたいことに、それらをどう役立てようと思っているか、自身の考えを述べなさい。

声優アクティングコース

総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入学試験)

●専門試験:小論文

課題は当日出題。800字程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人&シニア入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験:表現力

以下の課題をすべて行ってください。

注意 試験当日の原稿配付はありません。必要な場合は各自持参すること。

①自己紹介(氏名など)(約1分)

②台詞(詳細は以下を参照)

③ナレーション(詳細は以下を参照)

声優アクティングコース入学試験 表現力 課題

●台詞

次の台本を演じてください。
設定は、親が倒れた連絡を受けて慌てて病院に駆けつけたが間に合わなかったシーンです。
(台本は暗記しても、持って演じて構いません)
(女性が男役を演じて構いません)

【男役】

うそ… 何で…
昨日まであんなに元気だったのに… 何でだよ…
やだ… やだよ! 目を覚ましてくれよ!
お願いだから起きて… 起きてくれ…
(泣き)

【女役】

俺… 俺… 母さんにひどいこと言ってる…
朝、母さんに嘘つきって言っちゃった…
最後の言葉が嘘つきなんて…
そんな… そんな…
ごめん! ごめん! ごめんなさい! 母さんごめんなさい!
(泣き)

【女役】

うそ… 何で…
昨日まであんなに元気だったのに… 何で…
やだ… やだよ! 目を覚ましてよ!
お願い起きて… 起きて…
(泣き)

私… 私… お父さんにひどいこと言っちゃった…
朝、お父さんに嘘つきって言っちゃった…
最後の言葉が嘘つきなんて…
そんな… そんな…
ごめんなさい! ごめんなさい! ごめんなさい! ごめん…
(泣き)

●ナレーション

次のナレーションを朗読してください。
(台本を見ながら構いません)

私たちが住む聖なる大地、美しい星、地球。
その地球が今、「地球温暖化」によって危機的状況に面しています。
このまま地球温暖化が進めば、生態系が変わり、砂漠化が進み、自然がなくなり、
人類はもちろんだ、美しい地球も破壊され無くなってしまいます。
我々人類は、地球を、生命を守るため、地球温暖化防止に向けて動かなければならないのです。
今、一人一人の思いが地球を救う。
ストップ地球温暖化。

〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験・〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験・〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

あなたはこれまでどのようなことに重点的に取り組み、どのような力を身に付けることができましたか。それらについて記述したのち、あなたの志望する本学のコースにおいて、あなたが学びたいこと、チャレンジしたいことに、それらをどう役立てようと思っているか、自身の考えを述べなさい。

サウンドメディア・コンポジションコース

総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入学試験)

●専門試験:小論文

課題は当日出題。800字程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人&シニア入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験:指定課題(事前提出作品)、小論文、基礎学力検査または学科試験から1つを選択する。

指定課題	事前提出作品	自分で創作した音楽作品を出願書類とともにUSBメモリで提出する。 楽曲の長さは5分程度とし、作品のファイル形式はWAVファイルとする。 「作品提出記入用紙」とともに提出すること
	小論文	課題は当日出題。800字程度とする。
	基礎学力検査 *一般推薦入学試験のみ	「英語」「数学」「国語」から出願時に2科目選択 〈出題範囲〉 英語:英語コミュニケーションI 数学:数学I 国語:現代の国語、言語文化(古文・漢文は除く)
	学科試験 *一般入学試験のみ	[1期]「英語*」「数学」「国語」「歴史」「情報」から2科目当日選択 [2期]「英語*」「数学」「国語」から2科目当日選択 〈出題範囲〉 英語:英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、論理・表現I 数学:数学I、数学A 国語:現代の国語、言語文化(漢文は除く) 歴史:歴史総合、日本史探究または、歴史総合、世界史探究 情報:情報I ※英語は、本学CEFR(セファール)基準のスコア提出により、受験免除可。

- ・指定課題(事前提出作品)、小論文、基礎学力検査または学科試験から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。

〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験・〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験・〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

あなたはこれまでどのようなことに重点的に取り組み、どのような力を身に付けることができましたか。それらについて記述したのち、あなたの志望する本学のコースにおいて、あなたが学びたいこと、チャレンジしたいことに、それらをどう役立てようと思っているか、自身の考えを述べなさい。

ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース

総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入学試験)・社会人&シニア入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験:小論文

課題は当日出題。800字程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験

●専門試験:小論文、基礎学力検査または学科試験から1つを選択する。

小論文	課題は当日出題。800字程度とする。
基礎学力検査 *一般推薦入学試験のみ	「英語」「数学」「国語」から出願時に2科目選択 〈出題範囲〉 英語:英語コミュニケーションI 数学:数学I 国語:現代の国語、言語文化(古文・漢文は除く)
学科試験 *一般入学試験のみ	[1期]「英語*」「数学」「国語」「歴史」「情報」から2科目当日選択 [2期]「英語*」「数学」「国語」から2科目当日選択 〈出題範囲〉 英語:英語コミュニケーションI, 英語コミュニケーションII, 論理・表現I 数学:数学I, 数学A 国語:現代の国語、言語文化(漢文は除く) 歴史:歴史総合, 日本史探究または、歴史総合, 世界史探究 情報:情報I ※英語は、本学CEFR(セファール)基準のスコア提出により、受験免除可。

- 小論文、基礎学力検査または学科試験から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。

〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験・〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験・〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

あなたはこれまでどのようなことに重点的に取り組み、どのような力を身に付けることができましたか。それらについて記述したのち、あなたの志望する本学のコースにおいて、あなたが学びたいこと、チャレンジしたいことに、それらをどう役立てようと思っているか、自身の考えを述べなさい。

音楽ケアデザインコース

総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入学試験)

●専門試験:小論文

課題は当日出題。800字程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人&シニア入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験:指定課題(歌唱、楽器演奏)、小論文、基礎学力検査、または学科試験から1つを選択する。

指定課題	歌唱	自由曲1曲を演奏する。楽譜の持ち込み可。 歌唱伴奏のCD(マイナスイオン*)を各自用意すること(予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)。ピアノ伴奏で受験する者は、「声楽曲伴奏楽譜」を出願時に提出すること。提出については、「声楽曲伴奏楽譜の提出方法」を参照のこと 伴奏者は本学で準備します。また、弾き語りで受験する者は、楽譜の提出は不要です。
	楽器演奏	任意の楽器による自由曲を1曲演奏する(即興演奏、自作曲の演奏も可)。楽譜の持ち込み可。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏あるいはセッション形式のCD(マイナスイオン*)を各自用意すること(予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)。アンプは原則として本学で用意するものを使用すること
小論文		課題は当日出題。800字程度とする。
基礎学力検査 *一般推薦入学試験のみ		「英語」「数学」「国語」から出願時に2科目選択 〈出題範囲〉 英語:英語コミュニケーションI 数学:数学I 国語:現代の国語、言語文化(古文・漢文は除く)
学科試験 *一般入学試験のみ		[1期]「英語*」「数学」「国語」「歴史」「情報」から2科目当日選択 [2期]「英語*」「数学」「国語」から2科目当日選択 〈出題範囲〉 英語:英語コミュニケーションI, 英語コミュニケーションII, 論理・表現I 数学:数学I, 数学A 国語:現代の国語、言語文化(漢文は除く) 歴史:歴史総合、日本史探究または、歴史総合、世界史探究 情報:情報I ※英語は、本学CEFR(セファール)基準のスコア提出により、受験免除可。

- 指定実技(歌唱、楽器演奏)、小論文、基礎学力検査、または学科試験から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- 歌唱を選択する場合は曲目を、楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。
- 電子オルガンを使用する場合は、ヤマハELS-02C、ELS-01Cとし、使用機種名も「実技曲目記入用紙」に記入してください。
- 「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。

※「マイナスイオン」=自分の演奏パートの音声が入っていない音源

〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験・〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験・〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

あなたはこれまでどのようなことに重点的に取り組み、どのような力を身に付けることができましたか。それらについて記述したのち、あなたの志望する本学のコースにおいて、あなたが学びたいこと、チャレンジしたいことに、それらをどう役立てようと思っているか、自身の考えを述べなさい。

音楽総合コース

総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入学試験)

●専門試験:小論文

課題は当日出題。800字程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人&シニア入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験:指定課題(歌唱、楽器演奏、事前提出作品)、小論文、基礎学力検査または学科試験から1つを選択する。

指定課題	歌唱	自由曲1曲を演奏する。楽譜の持ち込み可。 歌唱伴奏のCD(マイナスイオン*)を各自用意すること(予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)。ピアノ伴奏で受験する者は、「声楽曲伴奏楽譜」を出願時に提出すること。提出については、「声楽曲伴奏楽譜の提出方法」を参照のこと 伴奏者は本学で準備します。また、弾き語りで受験する者は、楽譜の提出は不要です。
	楽器演奏	任意の楽器による自由曲を1曲演奏する(即興演奏、自作曲の演奏も可)。楽譜の持ち込み可。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏あるいはセッション形式のCD(マイナスイオン*)を各自用意すること(予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)。アンプは原則として本学で用意するものを使用すること
	事前提出作品	自分で創作した音楽作品を出願書類とともにUSBメモリで提出する。 楽曲の長さは5分程度とする。 「作品提出記入用紙」とともに提出すること
小論文		課題は当日出題。800字程度とする。
基礎学力検査 *一般推薦入学試験のみ		「英語」「数学」「国語」から出願時に2科目選択 〈出題範囲〉 英語:英語コミュニケーションI 数学:数学I 国語:現代の国語、言語文化(古文・漢文は除く)
学科試験 *一般入学試験のみ		[1期]「英語*」「数学」「国語」「歴史」「情報」から2科目当日選択 [2期]「英語*」「数学」「国語」から2科目当日選択 〈出題範囲〉 英語:英語コミュニケーションI, 英語コミュニケーションII、論理・表現I 数学:数学I, 数学A 国語:現代の国語、言語文化(漢文は除く) 歴史:歴史総合、日本史探究または、歴史総合、世界史探究 情報:情報I ※英語は、本学CEFR(セファール)基準のスコア提出により、受験免除可。

- 指定課題(歌唱、楽器演奏、事前提出作品)、小論文、基礎学力検査、または学科試験から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- 歌唱を選択する場合は曲目を、楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。
- 電子オルガンを使用する場合は、ヤマハELS-02C、ELS-01Cとし、使用機種名も「実技曲目記入用紙」に記入してください。
- 「実技曲目記入用紙」「作品提出記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。

※「マイナスイオン」=自分の演奏パートの音声が入っていない音源

〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験・〈オンライン方式〉海外帰国生徒入学試験・〈オンライン方式〉外国人留学生入学試験

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

あなたはこれまでどのようなことに重点的に取り組み、どのような力を身に付けることができましたか。それらについて記述したのち、あなたの志望する本学のコースにおいて、あなたが学びたいこと、チャレンジしたいことに、それらをどう役立てようと思っているか、自身の考えを述べなさい。

〈選抜に関する注意事項〉

- *原則として楽器は各自持参してください。ただしピアノ、電子オルガン(ヤマハ ELS-02C、ELS-01C)、コントラバス、ハープ、チューバ、マリンバ、ドラムス、スネアドラム(小太鼓)、ティンパニ、アンプ等は本学で用意します。
- *その他、楽器の貸し出し等については、本学業務部総務チーム(演奏)〔TEL:0568-24-5141〕までお問い合わせください。
- *学内にある練習室(東キャンパス5号館1F)が使用できます。利用可能期間は、試験当日の8:00~9:00までとなります。利用を希望する場合は、出願後に本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

選抜方法詳細2

(音楽領域)

プロフェッショナルアーティスト入学試験・エキスパート入学試験

プロフェッショナルアーティストコース

プロフェッショナルアーティスト入学試験

声楽

●専門試験：指定課題曲の演奏

A 課題曲(外国歌曲群)より2曲、B 課題曲(日本歌曲群)より2曲を選択した中から、それぞれ1曲ずつを当日試験場で指定します。ABCの順に3曲を演奏してください。選択した曲(A:2曲、B:2曲)、任意の曲(C:1曲)は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

A 課題曲

下記の作曲家より異なる作曲家の曲を2曲準備する。歌曲に限る。調性は自由とする。

外国歌曲群の作曲家					
A.Cesti	A.Scarlatti	W.A.Mozart	G.Rossini	G.Donizetti	V.Bellini
G.Verdi	F.P.Tosti	S.Donaudi	F.Schubert	R.Schumann	J.Brahms

B 課題曲

下記の作曲家より異なる作曲家の曲を2曲準備する。調性は自由とする。

日本歌曲群の作曲家				
滝廉太郎	山田耕筰	信時潔	弘田龍太郎	成田為三
平井康三郎	中田喜直	團伊玖磨	小林秀雄	木下牧子

C 自由曲

オペラアリア、コンサートアリア、オラトリオから任意の1曲を演奏する。

(演奏途中で切りますが、審査に影響はありません)

- 注意
- ・歌詞はすべて原語とし、暗譜で歌唱すること。
 - ・伴奏者については自身で用意する、もしくは大学側で用意した伴奏者でも可。
 - ・「声楽曲伴奏楽譜」の提出について
上記以外の調で受験する場合は、当該曲目の「声楽曲伴奏楽譜」を出願時に提出すること
(提出楽譜については、以下の楽譜の提出方法を参照のこと)

声楽曲伴奏楽譜の提出方法

表紙

氏名
A4判

表紙の裏

伴奏楽譜1ページ
A4判

伴奏楽譜2ページ
A4判

伴奏楽譜3ページ
A4判

伴奏楽譜4ページ
A4判

- ①各ページをA4判縦とする
- ②各ページが全開するよう横一連に綴じる
- ③表紙の裏から伴奏楽譜を1ページとする
- ④表紙が上になるように折りたたむ
- ⑤手書きの楽譜は、黒のペンまたはボールペンで正確に書く

鍵盤楽器(ピアノ)

●専門試験:指定課題曲の演奏

A、B、C、全ての課題を暗譜で演奏すること。当日、時間の都合により一部を省略する場合がある。演奏する曲名等は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

- A J.S.Bach 平均律1巻・2巻より任意の1曲 もしくは 以下の作曲家より任意の練習曲を1曲
(ショパン、リスト、ドビュッシー、ラフマニノフ、スクリャーンビン、プロコフィエフ、ストラヴィンスキー、シマノフスキ、バルトーク、リゲティ、間宮芳生)
- B J.Haydn、W.A.Mozart、L.V.Beethoven いずれかのソナタより任意の作品の第1楽章
- C ロマン派もしくは近現代の作品より任意の1曲(練習曲以外の作品に限る)

鍵盤楽器(電子オルガン)

●専門試験:指定課題曲の演奏

以下の条件の3曲を演奏してください。曲名や使用機種等は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

- ①クラシック作品を1曲演奏。時代、演奏時間は不問。編曲についても市販の既成か自編曲かは不問。
- ②ポピュラー音楽作品を1曲演奏。ポピュラー音楽に類すれば、ジャンル、演奏時間は不問。編曲についても市販の既成か自編曲かは不問。
- ③自作を含む自編曲作品を1曲演奏。ジャンル、演奏時間は不問。

〈使用機種〉ヤマハELS-02C、ELS-01C

弦楽器

●専門試験:指定課題曲の演奏

次の課題を演奏すること。伴奏の有無は任意。楽譜の持ち込み可。

楽器名および楽曲は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

ヴァイオリン
1. 音階/調号(♯・♭3つまでの長調・短調)を当日指定し、3オクターブ演奏する。(形式任意) 2. P.Rode: Capricen J.Dont: 24 Etüden und Capricen op.35 N.Paganini: 24 Caprices の中から任意の1曲を選択し演奏する。 3. W.A.Mozart: Konzert für Violin Nr.3.4.5.の中から1曲選択し第1楽章(カデンツ付き)のみ演奏する。(当日演奏箇所を指定する) 4. ロマン派以降の任意の協奏曲より第1楽章(版の指定なし)
ヴィオラ
1. 音階/調号(♯・♭3つまでの長調・短調)を当日指定し、3オクターブ演奏する (形式任意) 2. Kreutzer: 42 Studies Rode: 24 Capricen の中から任意の1曲を選択し演奏する。 3. K.Stamitz: Konzert D-dur op.1 第1楽章 カデンツを含む(版の指定なし)
チェロ
1. 音階/調号(♯・♭3つまでの長調・短調)を当日指定し、3オクターブ演奏する(形式任意) 2. J.L.Duport: The 21 Famous Exercises より、任意の1曲を演奏する。 3. J.Haydn: Konzert Nr.1 C-dur 第1楽章 カデンツ含む(版の指定なし)
コントラバス
1. 音階/調号(♯・♭3つまでの長調・短調)を当日指定し、3オクターブ演奏する(形式任意) 2. J.Hrabe: 86 Etudes よりNo.15.22.27.28番の中から任意の1曲を演奏する。 3. A.Capuzzi: Contrabass Concerto D Major より第1楽章(版の指定なし)
ハープ
1. R.N.C.Bochsa: Célèbres Etudes Cinquante Etudes op.34 2巻よりNo.30 2. 任意の自由曲1曲

注意 ・伴奏者については自身で用意する、もしくは大学側で用意した伴奏者でも可。大学側での伴奏者を希望する場合は、出願時に楽譜を提出すること。

管楽器

●専門試験：指定課題曲の演奏

次の課題を演奏すること。伴奏の有無は任意。楽譜の持ち込み可。

楽器名および楽曲は「実技曲目記入用紙」（様式は本学Webサイトより出力してください。）に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

フルート
- 音階／各調(長調・短調)を当日指定し、2オクターブ演奏する(形式 スラー) - 次の3つの練習曲集より任意の1曲を選択し演奏する。 E.Köhler : Medium Difficult Exercises op.33 Book 2 J.Andersen : 24 Etudes op.21 A.B.Fürstenau : Bouquet des Tons op.125 - G.Fauré : Fantasia op.79 - J.S.Bach : Sonate E-dur BWV.1035 より第1, 2楽章 ※すべて版の指定はしない。
オーボエ
- 音階／各調(長調・短調)を当日指定し演奏する(形式 スラー) - W.Ferling:48 Études No.1.8.21.22.23.24.25 より当日指定する。 - J.Haydn : Konzert C-dur より第1楽章 カデンツ含む(Breitkopf版)
クラリネット
- R.Eichler Scales for Clarinet より1番各調(長調・短調)を当日指定し演奏する(形式 スラー) - C.Rose:32 Etudes よりNo.15～24の中から当日指定する。 - 下記の2曲より1曲を選択し演奏する。 C.M.v.Weber : Concertino in E ♭ major op.26 (版の指定なし) C.M.v.Weber : Konzert Nr.1 f-moll op.73 より 第1楽章(パールマン・カデンツ含む)
ファゴット
- 音階／各調(長調・短調)を当日指定し、2オクターブ演奏する(形式 スラー) - Weissenborn:Etudes op.8 2巻 No.1～15の中から当日2曲指定する。 - K.Stamiz : Konzert F-dur für Fagott 第1楽章 カデンツ含む(版の指定なし)
バスクラリネット
- R.Eichler Scales for Clarinet より1番各調(長調・短調)を当日指定し演奏する(形式 スラー) - C.Rose:32 Etudes よりNo.15～24の中から当日指定する。 - 下記の2曲より1曲を選択し演奏する(版の指定なし) Wilfried Westerlinck : Look, a Bass Clarinet in My Garden Henri Rabaud :Solo De Concours
サクソフォーン
※アルトサクソフォーンで受験のこと - サクソフォーンのためのトレーニングブック(須川展也編、音楽之友社)51,52頁の音型を使用し、スラーで演奏する。繰り返しなし。 - M.Mule:QUARANTE-HUIT ETUDES.d'après FERLING [48の練習曲] より 1,2,4,5,6,9,13,14,17,18,番より当日2曲指定する。 - A.Glazounov : Concerto en mi bémol 練習番号16 番まで(Leduc 版)
トランペット
- 音階／各調(長調・短調)を当日指定し、2オクターブ演奏する(形式 スラー) - C.kopprasch:60 Selected Studies for Trumpet No.8.13.14.15.17.18.19.21.32の中から当日2曲指定する。 - 下記の2曲より1曲を選択し演奏する。 C.Höhne:Slavische Fantasie für Cornet a pistons (版の指定なし) C.saint-Saëns : Fantasie en mi bémol のいずれかを選択して演奏する
ホルン
- 音階／各調(長調・短調)を当日指定し、2オクターブ演奏する(形式 スラー) - C.kopprasch:60 Selected Studies for French Horn よりNo.1～28の中から2曲当日指定する。 - 下記の2曲より1曲を選択し演奏する。(カデンツなし) W.A.Mozart : Konzert für Horn Nr.3 Es-dur K.447 第1楽章(版の指定なし) W.A.Mozart : Konzert für Horn Nr.4 Es-dur K.495 第1楽章(版の指定なし)
トロンボーン
- 音階／各調(長調・短調)を当日指定し、2オクターブ演奏する(形式 スラー) - C.kopprasch:60 Selected Studies for Trombone よりNo.1～35の中から当日2曲指定する。 - F.David:Concertino in E ♭ op.4 第1,2楽章(Zimmermann版)

選抜方法詳細2(音楽領域)

バストロンボーン
1. 音階／各調(長調・短調)を当日指定し、2オクターブ演奏する(形式 スラー) 2. C.kopprasch:60 Selected Studies for Trombone よりNo.1～35の中から当日2曲指定する。 3. F.David:Concertino in E ♭ op.4 第1,2楽章(Zimmermann版)
ユーフォニアム
1. 音階／各調(長調・短調)を当日指定し、2オクターブ演奏する(形式 スラー) 2. C.kopprasch:60 Selected Studies for Trombone よりNo.10～30の中から当日2曲指定する。 3. 下記の2曲より1曲を選択し演奏する。 A.Capuzzi : Andante and Rondo(版の指定なし) P.V.De la Nux : Solo de Concours pour Trombone et piano(Leduc 版)のいずれかを選択して演奏する。
テューバ
1. 音階／各調(長調・短調)を当日指定し、2オクターブ演奏する(形式 スラー) 2. C.kopprasch:60 Selected Studies for Tuba よりNo.3～26の中から当日2曲指定する。 3. A.Levd Jew : Konzert Nr.1 für Tuba (Hoffmeister 版)

注意 ●伴奏者については自身で用意する、もしくは大学側で用意した伴奏者でも可。大学側での伴奏者を希望する場合は、出願時に楽譜を提出すること。

打楽器

●専門試験:指定課題曲の演奏

次の課題を演奏すること。伴奏はなしとする。楽譜の持ち込み可。

楽器名および楽曲は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

スネアドラム(小太鼓)
1. 基礎打ち(1.2.5.7.9 打ちおよびロングロールより当日指定する) 2. C.Wilcoxon : The All-American Drummer 150 Rudimental solos よりNo.1～10、31～40の中から当日2曲指定する。 3. 任意の自由曲1曲
マリンバ
1. 音階／各調(長調・短調)を当日指定し、3オクターブ演奏する(形式自由) 2. J.S.Bach : Violin Partita No.3 in E BWV.1006 より“Preiudio”(版の指定なし) 3. 任意の自由曲1曲

作曲

●専門試験:作品提出および口頭で説明

受験者自身が作曲したスタイルの異なる3作品(1作品10分以内)の音源と楽譜(スコア)を出願時に提出すること。

試験当日は、15分程度で作品について口頭で説明してもらいます。

音源は WAV ファイル、楽譜(スコア)は PDF ファイル とし、USB メモリで提出すること。

なお、「作品提出記入用紙」(様式は本学 Web サイトより出力してください。)は、1作品ごとに記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

声楽コース
鍵盤楽器コース
弦管打コース
ウインドアカデミーコース

エキスパート入学試験

出願書類等	①出願確認票 ②調査書 ③活動報告書* (様式は不問。本学所定の様式を活用しても可) ④プログラム表 (任意様式) ※これまでの活動歴、受賞歴 (声楽コース、弦管打コースは部活動歴も含む)、演奏グレード等を明確に記述のうえ提出すること。
選抜方法	リサイタル形式のコンサートの実施 (300点) (条件) ・年代の異なる様々な時代の作曲家の作品3曲以上 (電子オルガンについては自作曲1曲を必ず含む) を組み合わせたプログラムを組んで実施すること。 ※提出されたプログラムの中から当日演奏する曲目を指定する場合があります。 ・伴奏者を必要とする場合は各自同伴のこと。 ・楽譜の持ち込みは不可 (暗譜で演奏)
選抜ポイント	技術的要素に加え、表現力や楽曲の理解度・習熟度またリサイタルとして相応しい楽曲構成になっているかなど、総合的に判断します。
試験当日持参物	①受験票 ②筆記用具

ポップス・ロック&パフォーマンスコース

エキスパート入学試験

出願書類等	①出願確認票 ②調査書 ③活動報告書 (様式は不問。本学所定の様式を活用しても可) ④プログラム表 (任意様式)
選抜方法	2つ以上の音楽ジャンル作品を組み合わせたパフォーマンスの実施 (30分程度・300点) (条件) ・パフォーマンス内容はすべて受験者自身がプロデュースのうえ、プログラムを作成し提出するとともに3分程度で口述すること。 ・楽譜の持ち込みは不可 (暗譜で演奏)
選抜ポイント	技術的要素に加え、表現力、プロデュース能力やプレゼンテーション能力など多角的に判断します。
試験当日持参物	①受験票 ②筆記用具 ③パフォーマンスに必要な音源 (USBメモリ等)

ダンスパフォーマンスコース
声優アクティングコース

エキスパート入学試験

出願書類等	①出願確認票 ②調査書 ③活動報告書 (様式は不問。本学所定の様式を活用しても可) ④プログラム表 (任意様式)
選抜方法	受験者自身がプロデュースしたパフォーマンスの実施 (30分程度・300点) (条件) ・パフォーマンス内容はすべて受験者自身がプロデュースのうえ、プログラムを作成し提出すること。
選抜ポイント	技術的要素に加え、表現力、プロデュース力やプレゼンテーション能力などを多角的に判断します。
試験当日持参物	①受験票 ②筆記用具 ③パフォーマンスに必要な音源 (USBメモリ等)、衣装 (服装)、上履き、台本 (原稿) 等

サウンドメディア・コンポジションコース

エキスパート入学試験

出願書類等	①出願確認票 ②調査書 ③活動報告書(様式は不問。本学所定の様式を活用しても可) ④作品(作曲の場合は楽譜(スコア)も提出) ⑤作品提出記入用紙(本学所定様式)
選抜方法	作品提出(作曲、録音、音響)および口頭で説明(15分程度・300点) (条件) ・受験者自身の作品(作曲、録音、音響)を出願時に提出すること。 ・作曲の場合、演奏時間30分程度の単一作品または複数作品を楽譜(スコア)のPDFファイルとともに提出し、その作品について15分程度で口頭で説明してもらいます。 ・録音、音響の場合、30分程度の作品を提出のうえ、その作品について15分程度で口頭で説明してもらいます。 ・作品のファイル形式は、動画の場合MP4またはMOV、音源の場合WAVとし、USBメモリで提出すること。
選抜ポイント	作品を構成するための技術的要素に加え、表現力、プロデュース能力やプレゼンテーション能力などを多角的に判断します。
試験当日持参物	①受験票 ②筆記用具

ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース

エキスパート入学試験

出願書類等	①出願確認票 ②調査書 ③活動報告書(様式は不問。本学所定の様式を活用しても可) ④企画制作したプロジェクトの報告書
選抜方法	受験者自身が企画制作したステージや舞台に関するプロジェクトの報告書提出および口頭で説明(15分・300点) (条件) ・受験者自身が企画制作したステージや舞台に関するプロジェクトの報告書を出願時に提出のうえ、試験当日にその内容の意図について15分程度で口頭で説明してもらいます。
選抜ポイント	企画力、表現力、プロデュース能力やプレゼンテーション能力などを多角的に判断します。
試験当日持参物	①受験票 ②筆記用具

音楽ケアデザインコース

エキスパート入学試験

出願書類等	①出願確認票 ②調査書 ③活動報告書(様式は不問。本学所定の様式を活用しても可)
選抜方法	臨床即興演奏(3曲程度)および口頭で説明(演奏20分+説明約10分・300点) (条件) ・本コースの専門性に沿った臨床即興演奏を相応しい楽器を用いて20分以内で3曲程度行い、その内容の意図について10分程度で口頭で説明してもらいます。
選抜ポイント	技術的要素に加え、臨床的演奏の意図の明確さや、音楽療法、ケアについての知識の豊富さ、療法、ケアに関わる姿勢などを総合的に判断します。
試験当日持参物	①受験票 ②筆記用具 ③楽器(※ピアノとギターは貸出可)

音楽総合コース

エキスパート入学試験

出願書類等	プロフェッショナルアーティストコースを除く全コースのうちいずれか1つのコースの課題を選択(300点) ※出願書類、選抜方法、試験当日持参物、選抜ポイントは選択したコースに準じる
選抜方法	
選抜ポイント	
試験当日持参物	

〈選抜に関する注意事項〉

*活動報告書(様式は不問。本学所定の様式を活用しても可)について

これまでの活動歴、受賞歴(声楽コース、弦管打コースは部活動歴も含む)、演奏グレード等を明確に記述のうえ提出してください。

*原則として楽器は各自持参してください。ただしピアノ、電子オルガン(ヤマハ ELS-02C、ELS-01C)、コントラバス、ハープ、チューバ、マリンバ、ドラムス、スネアドラム(小太鼓)、ティンパニ、アンプ等は本学で用意します。

*その他、楽器の貸し出し等については、本学業務部総務チーム(演奏) [TEL:0568-24-5141]までお問い合わせください。

*学内にある練習室(東キャンパス5号館1F)が使用できます。利用可能期間は、試験当日の8:00~9:00までとなります。利用を希望する場合は、出願後に本学広報部学生募集チーム [TEL:0568-24-0318]まで電話でご連絡ください。

選抜方法詳細3

(音楽領域)

3年次編入学試験

声楽コース

3年次編入学試験

●専門試験：専攻実技

外国歌曲を1曲(下表の外国歌曲群から1曲選択)、および日本歌曲を1曲(下表の日本歌曲群から1曲選択)の、計2曲を選択し、「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。試験当日は選択した計2曲を演奏すること

外国歌曲群	作曲者
1. Widmung	R.Schumann
2. An die Nachtigall	J.Brahms
3. Quando ti rivedro	S.Donaudy
4. Dormi,bella	G.B.Bassani

日本歌曲群	作曲者
1. からたちの花	山田耕筰
2. 鐘が鳴ります	山田耕筰
3. ひぐらし	團伊玖磨
4. アマリリス	中田喜直

- 注意
- ・歌詞は全て原語で歌唱すること
 - ・調は自由とし、演奏はすべて暗譜のこと
 - ・出願後の曲目変更は認めません。
 - ・「声楽曲伴奏楽譜」の提出について
上記以外の調で受験する場合は、当該曲目の「声楽曲伴奏楽譜」を出願時に提出すること
(提出楽譜については、以下の楽譜の提出方法を参照のこと)
 - ・伴奏者は同伴のこと

声楽曲伴奏楽譜の提出方法 下記楽譜の提出方法を参照してください。

- ①各ページをA4判縦とする
- ②各ページが全開するよう横一連に綴じる
- ③表紙の裏から伴奏楽譜を1ページとする
- ④表紙が上になるように折りたたむ
- ⑤手書きの楽譜は、黒のペンまたはボールペンで正確に書く

鍵盤楽器コース(ピアノ)

3年次編入学試験

●専門試験：専攻実技

次の(イ) (ロ) あわせて2曲を「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。(出願後の変更は認めません。)試験当日は2曲を演奏すること。演奏はすべて繰り返しなしで、暗譜とする。

(イ) 課題曲 バッハの平均律クラヴィーア曲集第1巻、第2巻より任意の1曲(プレリュードとフーガ)。

(ロ) 自由曲1曲

鍵盤楽器コース(電子オルガン)

3年次編入学試験

●専門試験：専攻実技

次の曲を電子オルガンで演奏すること

自由曲 1曲

曲名および使用機種は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。なお、演奏は暗譜とします。また出願後の曲目変更は認めません。

レジストレーションは自由。ただし、試験場内での設定はできないのであらかじめ作成して記録したメディア(USBメモリ等)を用意すること。この場合、自分で作成したものに限定しない。MDRの使用範囲はレジストデータとレジストチェンジまでとする。

〈使用機種〉 ヤマハ ELS-02C、ELS-01C

弦管打コース

3年次編入学試験

●専門試験：専攻実技

「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。

a 弦楽器	ヴァイオリン ヴィオラ(ヴァイオリンにて受験を認める) チェロ コントラバス ハープ ギター	(1) 任意の楽曲
b 木管楽器	フルート オーボエ クラリネット バスクラリネット ファゴット サクソフォン	(1) 音階 各調より当日指定(形式任意) (2) 任意の楽曲または練習曲
c 金管楽器	トランペット ホルン トロンボーン バストロンボーン ユーフォニアム チューバ	(1) 音階 各調より当日指定(形式任意) (2) 任意の楽曲または練習曲
d 打楽器	スネアドラム(小太鼓)	(1) 5、7、9、11、13、17等のストロークロール 2、5、7打ち等を含む任意の曲 (2) マリンバによる簡単な音階
	マリンバ	(1) マリンバ等による音階。調は当日指定 (2) 任意の楽曲 (3) スネアドラム(小太鼓)による任意の楽曲

原則として楽器は各自持参のこと。ただし、コントラバス、ハープ、スネアドラム(小太鼓)、マリンバは本学で用意する。

伴奏者を必要とする場合は各自同伴のこと。

楽譜の持ち込み可。

ウインドアカデミーコース

3年次編入学試験

●専門試験:指定実技〔楽器演奏、指揮実技〕、または小論文から1つを選択する。

指定実技	楽器演奏	弦管打楽器による演奏。楽譜の持ち込み可。 自由曲1曲を演奏する(即興演奏、自作の曲でも可)。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏のCD(マイナスイワン [※])を各自用意すること(予備として、同じ伴奏音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)。
	指揮実技	次の2曲の課題曲から、当日指定された1曲について冒頭から指揮を行う。課題曲楽譜は各自用意すること。 演奏は、ピアノ1台(連弾)とする。なお、演奏者は本学で準備します。 ▼L.V. ベートーヴェン 交響曲第1番ハ長調 Op.21 1楽章 ▼W.A. モーツァルト アイネ・クライネ・ナハトムジーク ト長調 K.525 1楽章
小論文		課題は当日出題。1,200字程度とする。

- ・指定実技〔楽器演奏、指揮実技〕、小論文から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- ・楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

※「マイナスイワン」=自分の演奏パートの音声が入っていない音源

ポップス・ロック&パフォーマンスコース

3年次編入学試験

●専門試験:指定実技〔楽器演奏、ヴォーカル〕、または小論文から1つを選択する。

指定実技	楽器演奏	任意の楽器による自由曲1曲(即興演奏、自作品の演奏も可)。楽譜の持ち込み可。 出願時に「実技曲目記入用紙」を提出すること。原則として楽器は各自持参のこと。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏あるいはセッション形式の、CD(マイナスイワン [※])を各自用意すること(予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)。ただし、ピアノ、電子オルガン(ヤマハ ELS-02C、ELS-01C)、コントラバス、ハープ、チューバ、マリンバ、ドラムス、スネアドラム(小太鼓)、ティンパニ、アンプ等は本学で用意します。
	ヴォーカル	自由曲を1曲演奏する。楽譜の持ち込み可。 出願時に「実技曲目記入用紙」を提出すること。ヴォーカル伴奏の、CD(マイナスイワン [※])を各自用意すること(予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)。ピアノ伴奏で受験する者は、伴奏楽譜を出願時に提出すること。伴奏楽譜の提出については、「声楽曲伴奏楽譜の提出方法」を参照のこと。伴奏者は本学で準備します。また、弾き語りで受験する者は、楽譜の提出は不要です。
小論文		課題は当日出題。1,200字程度とする。

- ・指定実技〔楽器演奏、ヴォーカル〕から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- ・ヴォーカルを選択する場合は曲目を、楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。
- ・電子オルガンを使用する場合は、ヤマハELS-02C、ELS-01Cとし、使用機種名も「実技曲目記入用紙」に記入してください。
- ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。

※「マイナスイワン」=自分の演奏パートの音声が入っていない音源

ダンスパフォーマンスコース

3年次編入学試験

●専門試験:指定実技〔ダンスパート〕

ダンスパートとは、その場で振付される3分程度の簡単なステップをリズムカルに踏むことによって、リズム感と躍動感、更には即応性と即興性を審査し、ダンサーとしての適性を見るために行うものです。

この試験は、複数名の受験者からなるグループで行います。

注意 ダンスパート試験のための動きやすい服装と上履きを持参のこと

声優アクティングコース

3年次編入学試験

●専門試験:指定実技(表現力)

以下の課題をすべて行ってください。

注意 試験当日の原稿配付はありません。必要な場合は各自持参すること。

①自己紹介(氏名など)(約1分)

②台詞(詳細は以下を参照)

③ナレーション(詳細は以下を参照)

声優アクティングコース入学試験 表現力 課題

●台詞

次の台本を演じてください。
設定は、親が倒れた連絡を受けて慌てて病院に駆けつけたが間に合わなかったシーンです。
(台本は暗記しても、持って演じて構いません)
(女性が男役を演じて構いません)

【男役】

うそ… 何で…
昨日まであんなに元気だったのに… 何でだよ…
やだ… やだよ! 目を覚ましてくれよ!
お願いだから起きて… 起きてくれ…
(泣き)

俺… 俺… 母さんにひどいこと言っただけ…
朝、母さんに嘘つきって言っちゃった…
最後の言葉が嘘つきなんて…

そんな… そんな…
ごめん! ごめん… ごめんなさい… 母さんごめんなさい…
(泣き)

【女役】

うそ… 何で…
昨日まであんなに元気だったのに… 何で…
やだ… やだよ! 目を覚ましてよ!
お願い起きて… 起きて…
(泣き)

私… 私… お父さんにひどいこと言っちゃった…
朝、お父さんに嘘つきって言っちゃった…
最後の言葉が嘘つきなんて…

そんな… そんな…
ごめんなさい! ごめんなさい… ごめんなさい… ごめん…
(泣き)

●ナレーション

次のナレーションを朗読してください。
(台本を見ながら構いません)

私たちが住む聖なる大地、美しい星、地球。
その地球が今、「地球温暖化」によって危機的状況に面しています。
このまま地球温暖化が進めば、生態系が変わり、砂漠化が進み、自然がなくなり、
人類はもちろんだ、美しい地球も破壊され無くなってしまいます。
我々人類は、地球を、生命を守るため、地球温暖化防止に向けて動かなければならないのです。
今、一人一人の思いが地球を救う。
ストップ地球温暖化。

サウンドメディア・コンポジションコース

3年次編入学試験

- 専門試験:指定課題(事前提出作品)、または小論文から1つを選択する。

指定課題	事前提出作品	自分で創作した音楽作品(オリジナル作品、編曲作品)を出願書類とともにUSBメモリで提出する。 楽曲の長さは5分程度とし、作品のファイル形式はWAVファイルとする。 「作品提出記入用紙」とともに提出すること。
	小論文	課題は当日出題。1,200字程度とする。

- ・指定課題(事前提出作品)、または小論文から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。

ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース

3年次編入学試験

- 専門試験:小論文

課題は当日出題。1,200字程度とする。

音楽ケアデザインコース

3年次編入学試験

●専門試験：指定課題(歌唱、楽器演奏)、または小論文から1つを選択する。

指定課題	歌唱	自由曲1曲。楽譜の持ち込み可。 出願時に「実技曲目記入用紙」を提出すること。歌唱伴奏の、CD(マイナスイオン*)を用意すること(予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)。ピアノ伴奏を必要とする者は、伴奏楽譜を出願時に提出すること。 伴奏楽譜の提出については、「声楽曲伴奏楽譜の提出方法」を参照のこと。伴奏者は本学で準備します。 また、弾き語りを受験する者は、楽譜の提出は不要です。
	楽器演奏	任意の楽器による自由曲1曲(即興演奏、自作品の演奏も可)。楽譜の持ち込み可。 出願時に「実技曲目記入用紙」を提出すること。原則として楽器は各自持参のこと。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏あるいはセッション形式の、CD(マイナスイオン*)を各自用意すること(予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)。ただし、ピアノ、電子オルガン(ヤマハ ELS-02C、ELS-01C)、コントラバス、ハーブ、チューバ、マリンバ、ドラムス、スネアドラム(小太鼓)、ティンパニ、アンプ等は本学で用意します。
小論文		課題は当日出題。1,200字程度とする。

- ・指定課題(歌唱、楽器演奏)、または小論文から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- ・楽器演奏を選択する者は、楽器名をインターネット出願時に登録してください。
- ・なお電子オルガンについては、ヤマハ ELS-02C、ELS-01Cとし、使用機種名を明記すること

※「マイナスイオン」=自分の演奏パートの音声が入っていない音源

〈選抜に関する注意事項〉

- *原則として楽器は各自持参してください。ただしピアノ、電子オルガン(ヤマハ ELS-02C、ELS-01C)、コントラバス、ハーブ、チューバ、マリンバ、ドラムス、スネアドラム(小太鼓)、ティンパニ、アンプ等は本学で用意します。
- *その他、楽器の貸し出し等については、本学業務部総務チーム(演奏) [TEL:0568-24-5141] までお問い合わせください。
- *学内にある練習室(東キャンパス5号館1F)が使用できます。利用可能期間は、試験当日の8:00~9:00までとなります。利用を希望する場合は、出願後に本学広報部学生募集チーム [TEL:0568-24-0318] まで電話でご連絡ください。

名古屋芸術大学 英語 資格・検定試験とCEFR対照表

一般入学試験の「学科試験(英語)」試験を受験する場合に、CEFR基準のスコアを保持する者は、出願時に「活動報告書」でスコアおよび英語力向上のための主体的活動履歴などを提出すれば、所定の配点を付し「学科試験(英語)」の受験を免除することが可能です。CEFRスコア以上得点を獲得したい場合は「学科試験(英語)」を受験することにより、高得点のもので合否判定を行います。

資格・検定試験	CEFR	A2	B1	B2	C1	C2
ケンブリッジ英語検定		120-139 A2 Key B1 Preliminary	140-159 A2 Key B1 Preliminary B2 First	160-179 B1 Preliminary B2 First C1 Advanced	180-199 B2 First C1 Advanced C2 Proficiency	200-230 C1 Advanced C2 Proficiency
実用英語技能検定		1700-1949 準2級・準2級プラス・2級	1950-2299 2級・準1級	2300-2599 1級・準1級	2600-3299 1級	—
GTEC		680-929 Core, Basic, Advanced, CBT	930-1179 2級・準1級	1180-1349 Advanced, CBT	1350-1400 CBT	—
IELTS		—	4.0-5.0	5.5-6.5	7.0-8.0	8.5-9.0
TEAP		135-224	225-308	309-374	375-400	—
TEAP CBT		235-415	420-595	600-795	800	—
TOEFL iBT		—	42-71	72-94	95-120	—
TOEIC L&R TOEIC S&W		625-1145	1150-1555	1560-1840	1845-1990	—
◎本学英語得点獲得率		70% (100点満点中 70点)	80% (100点満点中 80点)	90% (100点満点中 90点)	100% (100点満点中 100点)	100% (100点満点中 100点)

※ただし、TOEIC L & R / TOEIC S & W については、TOEIC S & W のスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。

※各資格・検定の合格証明書、スコアレポートなどのコピーの提出が必要です。(検定・試験のスコアまたは等級に有効期限がある場合は、当該検定・試験実施団体が定める有効期限に準じます。)

「プラスα加点」について

「活動報告書」の提出で、最大50点を加点します。

高校3年次に至るまでの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定があり、かつ「プラスα（最大50点）」の加点を希望する場合、「活動報告書」を提出することにより、最大50点を加点するものです。

「活動報告書」の様式は本学Webサイトからダウンロードし印刷してください。

※受賞歴、資格・検定等については、第三者により作成された証明できる書類やそのコピーを添付してください。

※以下は一例です。志望する学部・領域・コースの各分野に関する活動履歴や受賞歴、資格・検定等を得点化します。

音楽領域		
音楽に関する大会やコンクール表彰	国際、全国	最大50点
	ブロック	最大30点
	都道府県等	最大10点
音楽に関する部活動や課外クラブ	部長経験	10点
	副部長経験	5点
音楽に関する個人指導歴（音楽教室等）	3年以上指導を受けている場合	最大10点
「音楽」履修状況 (高等学校で芸術科の選択科目で音楽が設置されている場合のみ)	該当教科で著しく優秀な成績を納めた場合	最大20点
ヤマハ音楽能力検定	2～5級	最大50点
カワイグレード検定	1～5級	最大50点
音楽検定	1～3級	最大50点

〔対象入試〕総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入試)、一般推薦入試

舞台芸術領域		
演劇、ダンス、音楽、その他、舞台芸術に関わる経験やコンクール実績など		最大50点
演劇やダンス、音楽に関する部活動や課外クラブ	役職経験など	最大10点
CEFRスコア保持者 ^{※1}	B2以上	50点
留学経験		最大50点

〔対象入試〕総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入試、基礎学力検査型入試、オンライン入試)、一般推薦入試

美術領域		
美術・デザインに関する大会やコンクール表彰、および公共展、検定		最大50点
美術・デザインに関する部活動や課外クラブ	部長経験	10点
	副部長経験	5点
「美術」「工芸」履修状況 (高等学校で芸術科の選択科目で美術または工芸が設置されている場合のみ)	当該教科で著しく優秀な成績を納めた場合	最大20点

〔対象入試〕一般推薦入試

デザイン領域		
美術・デザインに関する大会やコンクール表彰、および公共展、検定		最大50点
美術・デザインに関する部活動や課外クラブ	部長経験	10点
	副部長経験	5点
美術・デザインに関する個人指導歴(画塾等)	過去3年間で2年以上指導を受けている場合	30点
「美術」「工芸」履修状況 (高等学校で芸術科の選択科目で美術または工芸が設置されている場合のみ)	該当教科で著しく優秀な成績を納めた場合	20点

〔対象入試〕一般推薦入試

芸術教養領域		
まちづくり、ボランティア、国際交流、イベントのプロデュースに関わった経験など		最大50点
CEFRスコア保持者 ^{※1}	C2	50点
	C1	
	B2	40点
	B1	30点
	A2	20点
ICT、パソコンに関する資格・検定		最大50点
留学経験		最大50点
大会、コンクール表彰 (分野不問)	国際、全国	50点
	ブロック	30点
	都道府県等	10点
部活動や課外クラブ (分野不問)	部長経験	10点
	副部長経験	5点

〔対象入試〕総合型選抜(実技・プレゼン・小論文型入試、オンライン入試)、一般推薦入試

子ども学科		
CEFRスコア保持者 ^{※1}	C2	50点
	C1	
	B2	40点
	B1	30点
	A2	20点
社会(奉仕)活動(分野不問) (NPO、NGO、自治体等のプロジェクト参加など)		最大50点
留学経験		最大50点
ICT、パソコンに関する資格・検定		最大50点
大会、コンクール表彰 (分野不問)	国際、全国	50点
	ブロック	30点
	都道府県等	10点
部活動や課外クラブ (分野不問)	部長経験	10点
	副部長経験	5点
個人指導歴 (ピアノや体操教室等)	3年以上指導を受けている場合	最大30点
中学、高校において幼稚園、保育園、小学校における「職場体験」への参加		10点
幼稚園や保育園・小学校等の指導に関わる特技など (音楽や身体表現、詩、俳句、短歌、造形・図工、語学、ICTスキルなど)		最大50点

〔対象入試〕(実技・プレゼン・小論文型入試、基礎学力検査型入試、オンライン入試)、一般推薦入試

※1 CEFRスコアについては、「名古屋芸術大学 英語 資格・検定試験とCEFR対照表」をご参照ください。(英語得点獲得率の得点とは異なりますのでご注意ください。)

※2 舞台芸術領域のエキスパート入試は、外国語に関する能力についてのみ対象

採点基準・評価の観点等

学科・専攻	試験科目	主な採点基準/合格最低条件(学力試験)
全学科領域 共通	志望理由書	- 課題理解＝明示されているテーマの意図を理解し、志望理由が記載されているか - 学修、入学意欲＝志望分野への理解が高く、入学後の学びのイメージができているか - 目的意識＝本学のアドミッション・ポリシーを理解し、将来社会に貢献することを志しているか - 表現力＝正しい文字・語句・文法を用い、自身の考えが述べられているか - 文章の状態＝記述欄の空欄が少なく、意欲を感じさせる分量の記述があるか
芸術学部 芸術学科 音楽領域	実技、表現	- 理解力(読譜力・読解力)＝内容を正しく理解しているか - 基礎力＝基礎的な技術が身についているか - 表現力＝相手に対し、しっかりと伝えられているか - 習熟度＝完成度の高いものになっているか
	小論文	- 課題の理解力＝課題を適切に理解して記述されているか - 芸術への志向性＝志望コースの専門性への基礎的な理解と高い意欲を持ち合わせているか - 基礎的な学力＝段落や文字の間違いがなく、文章の構成が整っているか - 自分の意見の表現力＝自分自身の考えが十分述べられているか
	作品提出	- 構成力＝オリジナリティにあふれた個性的な作品になっているか - 完成度＝基本をしっかりと押さえた魅力ある作品になっているか
	基礎学力検査 学科試験	領域内の受験者全員の平均点の1/3以上に達しているか (選抜対象者の得点が平均点を上回っていた場合は、上位者から選抜するものとする)
芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域	小論文	- 課題の理解力 - 論理的および批判的思考力 - 独自性＝自分なりの考えが十分に述べられているか - 基礎学力＝語彙力、文章力等において基礎的な力を身に付けているか - 舞台芸術全般に対する興味関心
	企画書	- 課題の理解力：課題を正しく理解できているか - 論理的思考：必要事項を論理的に組み立てて企画書を作成できているか - 社会と舞台芸術の関係性に対する理解：社会における舞台芸術のあり方に対して自分なりの考え方を持っているか - 舞台芸術に対する知識：舞台芸術全般に対する基本的な知識を身につけているか
	基礎学力検査 学科試験	領域内の受験者全員の平均点の1/3以上に達しているか (選抜対象者の得点が平均点を上回っていた場合は、上位者から選抜するものとする)
芸術学部 芸術学科 美術領域	自己持参作品による プレゼンテーション、 オンラインによる自己作品の プレゼンテーション	- 完成度＝持参作品や作品写真ファイル(ポートフォリオ)が、説得力のある内容であるか - 表現力＝自由な発想でアイデアを効果的に表現できているか - 美術に対する気持ちは入学後の学習意欲や作品制作に対する熱意を備えているか
	小論文	- 課題の理解力＝課題を適切に理解して記述されているか - 文章の基礎力＝誤字脱字、論文の構成は整っているか - 表現力＝自分なりの考えが十分に述べられているか - 美術に対する気持ちは美術を学ぶための意欲や関心を備えているか
	鉛筆デッサン	- 観察力＝モチーフを的確に把握・理解しているか - 描写力＝形、光、色、立体感、質感等を描写するために必要な技術があるか - 表現力・構成力＝空間への意識を持ち、モチーフを効果的に構成する基礎的な表現力があるか
	基礎学力検査 学科試験	領域内の受験者全員の平均点の1/3以上に達しているか (選抜対象者の得点が平均点を上回っていた場合は、上位者から選抜するものとする)

※体験授業型入学試験、エキスパート入学試験および教育学部大学入学共通テスト利用型特待入学試験については該当ページを参照

学科・専攻	試験科目	主な採点基準/合格最低条件(学力試験)
芸術学部 芸術学科 デザイン領域	自己持参作品による プレゼンテーション	・完成度＝持参作品(ポートフォリオ)の完成が高く、説得力のある内容であるか ・表現力＝自由な発想でアイデアを効果的に表現できているか ・デザインへの思考＝デザイン領域で学ぶための意欲や関心を備えているか
	鉛筆デッサン	・理解力＝出題内容を的確に把握・理解しているか ・観察力・描写力＝構図、形、動き、光、量感等を描写することに必要な技術が優れているか ・表現力・構成力＝空間への意識を持ち、モチーフを効果的に構成する基礎的な表現力があるか
	構想表現テスト (先端メディア表現コース)	・理解力＝出題内容を的確に把握・理解しているか ・構想力＝制作された作品は説得力ある内容であるか ・独創性＝独自の視点、感覚を持っているか
	文章表現テスト (文芸・ライティングコース)	・理解力＝出題内容を的確に把握・理解しているか ・表現力＝柔軟な発想で文章表現ができているか ・完成度＝誤字脱字はないか。文章全体がまとまっているか
	小論文	・課題の理解力＝課題を適切に理解して記述されているか ・論文構成の基礎力＝論文の構成は整っているか ・基礎的な学力＝段落や文字の間違いはないか ・表現力＝自分なりの考えが十分に述べられているか ・デザインへの思考＝デザイン領域で学ぶための意欲や関心を備えているか
	基礎学力検査 学科試験	・領域内の受験者全員の平均点の1/3以上に達しているか (選抜対象者の得点が平均点を上回っていた場合は、上位者から選抜するものとする)
芸術学部 芸術学科 芸術教養領域	小論文	・質問を理解して答えているか ・日本語として分かりやすく正しい表現になっているか ・答えの内容がアドミッション・ポリシーに基づいており、かつ独創的で興味深い
	基礎学力検査 学科試験	・領域内の受験者全員の平均点の1/3以上に達しているか (選抜対象者の得点が平均点を上回っていた場合は、上位者から選抜するものとする)
教育学部 子ども学科	小論文	・課題の理解力＝課題を適切に理解して記述されているか ・論文構成の基礎力＝論文の構成は整っているか ・基礎的な学力＝段落や文字の間違いはないか ・自分の意見の表現力＝自分なりの考えが十分に述べられているか ・教育・保育のセンス＝教育者・保育者になるための意欲や関心を備えているか
	プレゼンテーション	・表現力＝聞き手に伝わる工夫ができているか ・構成力＝内容が理解しやすく整理され、一貫性があるか ・情熱・意欲＝教育や保育に対する熱意や取り組む姿勢が伝わってくるか
	基礎学力検査 学科試験	・学科内の受験者の平均点の1/3以上に達しているか (選抜対象者の得点が平均点を上回っていた場合は、上位者から選抜するものとする)

※体験授業型入学試験、エキスパート入学試験および教育学部大学入学共通テスト利用型特待入学試験については該当ページを参照

各種情報提供(過去問題、入試結果)

名古屋芸術大学受験生サイト「入試情報」

昨年度の入試結果、および昨年度の入試問題(小論文、鉛筆デッサン、学科試験、エキスパート入学試験の課題)、面接時の質問事項を掲載しております。

www.nua.ac.jp/examinee/entrance/

問い合わせ先



名古屋芸術大学

NAGOYA UNIVERSITY OF THE ARTS

東キャンパス

〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地

西キャンパス

〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西沼65番地

詳しいお問い合わせについてはこちらへお電話ください

広報部 学生募集チーム

TEL [0568]24-0318

受付時間 9:00～17:00[土日祝日除く]